

**西東京市市民意識調査
報告書**

平成 24 年 9 月
西東京市

《 目 次 》

I 調査の概要	1
1. 調査目的.....	1
2. 調査項目.....	1
3. 調査仕様.....	1
4. 回収数・回収率.....	1
5. 調査結果の補足説明.....	2
6. 回答者の基本属性.....	5
II 調査結果の概要	9
1. 西東京市のまちづくり全般について.....	9
2. 市政に対して思うことについて.....	10
3. 地域活動と市政とのかかわりについて.....	10
4. 本庁舎の統合整備について.....	11
5. 防災対策について.....	12
III 調査結果	13
1. 西東京市のまちづくり全般について.....	13
2. 市政に対して思うことについて.....	33
3. 地域活動と市政とのかかわりについて.....	72
4. 本庁舎の統合整備について.....	93
5. 防災対策について.....	97
IV 調査票	101
V サマリー	115

I 調査の概要

1. 調査目的

本調査は、平成 21 年の西東京市総合計画（後期基本計画）策定以降のまちづくりの推進及び平成 26 年度からの新たな総合計画の策定作業を進めるにあたり、統計的手法によって、社会状況や市民ニーズの変化に柔軟に対応していくために、市政に対する市民全体の考え方、後期基本計画の推進状況に対する評価（満足度・重要度）を把握し、その結果を今後のまちづくりを進める上での基礎資料として活用し、計画のより効果的な推進に役立てることを目的とした。

2. 調査項目

- (1) 西東京市のまちづくり全般について
- (2) 市政に対して思うことについて
- (3) 地域活動と市政とのかかわりについて
- (4) 本庁舎の統合整備について
- (5) 防災対策について
- (6) 基本属性

3. 調査仕様

- (1) 調査地域 西東京市全域
- (2) 調査対象 西東京市住民基本台帳に登録された 18 歳以上の男女個人
- (3) 標本数 5,000
- (4) 抽出方法 住民基本台帳より、人口構成比に配慮し無作為抽出とした
- (5) 調査方法 郵送配布・郵送回収
 - ①調査期間 調査票発送 平成 24 年 5 月 16 日(水)
 - ②調査票投函期限 平成 24 年 5 月 31 日(木)
 - ③集計対象 平成 24 年 6 月 15 日(金)到着分

4. 回収数・回収率

- (1) 回収数 2,414 票（回収率 48.3%）
- (2) 有効回答数 2,408 票（有効回収率 48.2%）

5. 調査結果の補足説明

(1) 調査結果の見方

①報告書中の問番号および設問は、調査票の問番号および設問をそのまま示している。また、本文やグラフ・数表上の選択肢の表記は、語句を簡略化している場合がある（詳細については、調査票参照のこと）。

②調査結果の数値は回答率（％）で示している。％の母数は、その質問に回答した数または分類別（男性等）の数で、「サンプル数」または「n」「TOTAL」で表している。

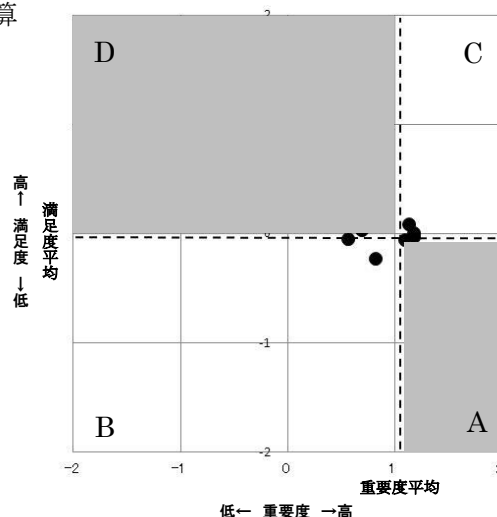
③割合は小数点第2位で四捨五入し、小数点第1位まで示している。よって、「〇は1つだけ」などの質問であっても、回答比率の合計値が100.0%にならない場合がある。

④調査結果表の属性別数値が「〇」に囲まれて記載されているものは、TOTALに対し5ポイント以上占める割合が高かったことを、数値に「△」が付与されているものは、TOTALに対し5ポイント以上占める割合が低かったことを表している。

⑤段階評価を行った設問では、各選択肢に設定した（+2点）から（-2点）までの得点の合計を回答者数で割って求めた平均ポイントを算出している。

⑥「満足度」と「重要度」の平均ポイントを用いて、CS（Customer Satisfaction＝顧客満足）分析を実施している。

CS分析では、全ての設問項目の平均ポイントから座標軸を設定し、各項目間の相対的な関係を次の4つの方向性（ゾーン）でグラフ上に整理している（図表参照）。



<p>D：維持分野</p> <p>現状においては、相対的な関係では満足度が高いものの、今後の重要度は低く評価されている。よって、現状維持で実施するか、取り組みの見直しなども考えられる分野である。</p>	<p>C：重点維持分野</p> <p>現状においては、相対的な関係では満足度を感じている市民が多く、重要度も高く位置づけられている。よって、今後もこの水準を保つことが望ましく、現状維持で取り組む方向で検討したい分野である。</p>
<p>B：改善分野</p> <p>現状においては、市民が評価できる段階に至っていなかったり、相対的にみて満足度も重要度も低く位置づけられている。よって、周知を徹底したり、実施方法や予算、内容等を見直し、改善等の検討が期待される分野である。</p>	<p>A：重点改善分野</p> <p>現状においては、市民が評価できる段階に至っていなかったり、相対的にみて満足度は低いという評価であるが、今後の重要度は高く評価されている。よって、当該項目への着手や推進により、満足度が改善していくことが期待される分野である。</p>

(2) 調査結果の経年比較分析

これまで、第1回調査を平成13年、第2回調査を平成19年、第3回調査を平成22年に実施している。そのため、本調査においては下記の設問について、平成13年、平成19年、平成22年調査結果との比較分析を実施し、報告書に掲載している。なお、時代潮流を踏まえ、平成24年調査より設問形式や選択肢内容の変更が行われている項目もあるため、留意が必要である。

	平成13年調査概要	平成19年調査概要	平成22年調査概要	平成24年調査概要
①調査地域	西東京市全域			
②調査対象	西東京市住民基本台帳に登録された18歳以上の男女個人			
③標本数	15,000	5,000	5,000	5,000
④抽出方法	住民基本台帳より、人口構成比に配慮し無作為抽出とした			
⑤調査方法	郵送配布・郵送回収			
⑥調査期間	平成13年11月22日 ～平成13年12月6日	平成19年7月26日 ～平成19年8月8日	平成22年5月15日 ～平成22年5月31日	平成24年5月16日 ～平成24年5月31日
⑦有効回答数・ 有効回収率	5,767票・38.4%	2,418票・48.4%	2,626票・52.5%	2,408票・48.2%

【継続経年比較分析項目】

	項目	調査票該当項目			
		平成13年	平成19年	平成22年	平成24年
①	身近な生活環境の住み心地	問1	問4	問4	問4
②	継続居住意向	問3	問6	問6	問6
③	転出希望事由	問3付問1	問7	問7	問7
④	居住地域に必要なもの	問2	問8	問8	問8
⑤	地域活動への参加状況と今後の参加意向	問4	問11	問11	問11
⑥	地域活動内容別の参加状況と今後の参加意向問	4付問1	問12	問12	問12
⑦	地域活動に参加したくない(やめた い)事由	問4付問2	問13	問13	問13
⑧	市政への関心	問5	問14	問14	問14
⑨	市政の情報源	問6	問15	問15	問15
⑩	市から得たい情報の内容	問7	問16	問16	問16

(3) 集計分析項目

本調査では、設問毎の単純集計のほか、属性項目及び設問選択肢と各設問とのクロス集計分析を行った。その結果、特に有用であると考えられる下記の集計結果を報告書に掲載している。

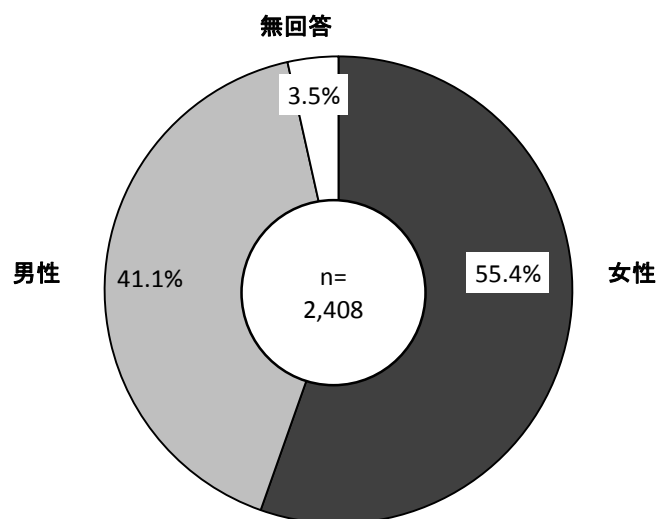
【集計分析項目】

凡例：●＝報告書掲載

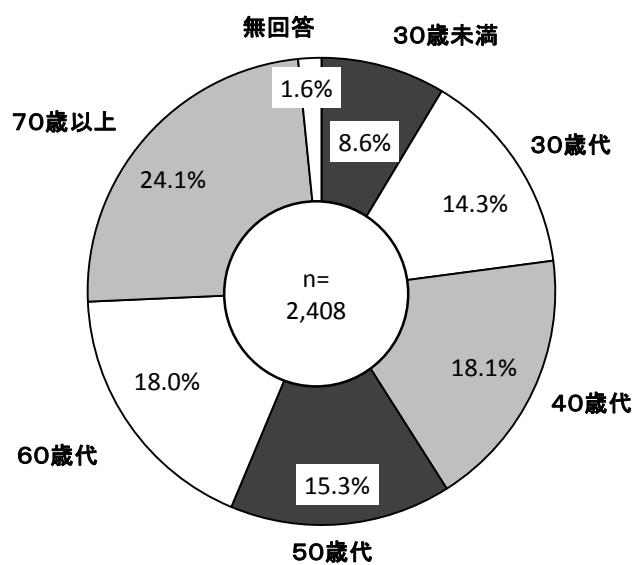
設問	集計項目	単 純 集 計	経 年 比 較 分 析	C S 分 析	クロス集計												
					性 ・ 年 代	居 住 年 数	職 業	住 居 形 態	世 帯 構 成	愛 着 度	居 住 満 足 度	継 続 居 住 意 向	市 政 満 足 度	市 政 関 心 度	市 民 活 動 意 向		
属性項目		●															
自由記述		●															
西東京市のまちづくり全般について																	
問1	西東京市への愛着度		●		●	●											
問2	合併効果 良かった点		●		●	●											
問3	合併効果 もう一步と感じる点		●		●	●											
問4	身近な生活環境の住み心地		●							●							
問5	身近な生活環境の評価・重要度	●	●	●													
問6	継続居住意向		●							●	●						
問7	転出希望事由		●		●												
問8	居住地域に必要なもの		●		●												
市政に対して思うことについて																	
問9	市政全般への評価		●		●							●					
問10	施策の評価・重要度	●	●	●													
地域活動と市政とのかかわりについて																	
問11	地域活動への参加状況と今後の参加意向		●		●	●											
問12	地域活動内容別の参加状況と今後の参加意向		●		●												
問13	地域活動に参加したくない(やめたい)事由		●		●												
問14	市政への関心		●		●												
問15	市政の情報源		●		●				●								
問16	市から得たい情報の内容		●		●				●								
問17	市民活動への興味		●		●												
問18	市民活動参加状況		●		●												
問19	市政への参加方法		●		●	●											
本庁舎の統合整備について																	
問20	現在の2庁舎体制の評価				●	●											
問21	現在の2庁舎体制の満足、不満				●	●											
問22	庁舎の統合整備の重視点				●	●											
防災対策について																	
問23	災害発生時の心配				●	●											
問24	災害発生時の備えの準備				●	●											
問25	市から得たい防災情報				●	●											

6. 回答者の基本属性

(1) 性別



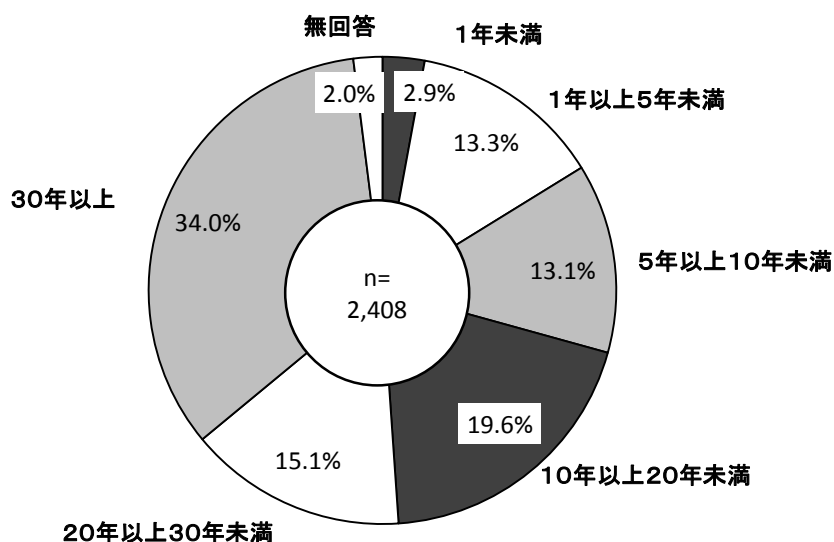
(2) 年齢



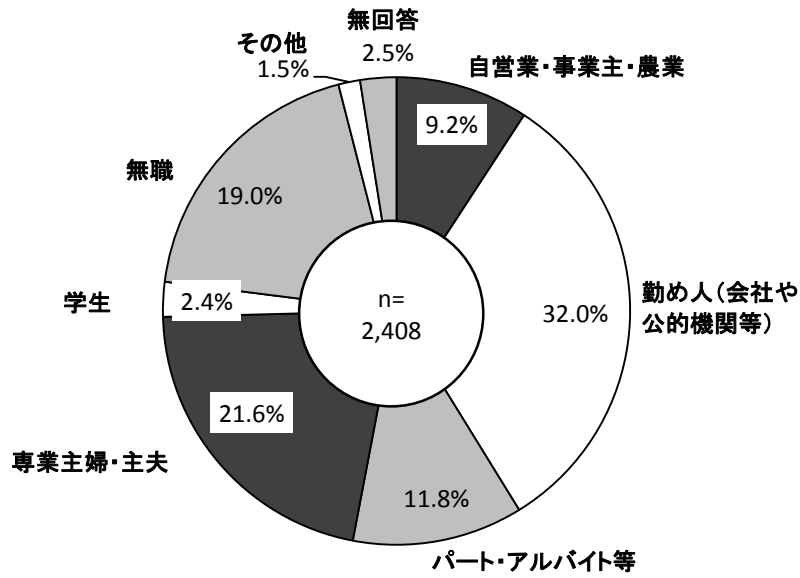
(3) 居住地域

町名/丁目	一丁目	二丁目	三丁目	四丁目	五丁目	六丁目	七丁目	無回答	合計
田無町	11	18	19	21	21	15	29	12	146
南町	16	25	22	17	17	21		14	132
西原町	16	7	22	36	10			12	103
緑町	11	24	10					4	49
谷戸町	32	76	36					28	172
北原町	23	12	10					6	51
向台町	34	25	42	49	8	18		17	193
芝久保町	61	50	32	52	27			17	239
新町	31	6	10	20	23	7		11	108
柳沢	18	32	17	4	27	13		21	132
東伏見	10	9	9	12	12	1		12	65
保谷町	9	10	24	11	32	36		10	132
富士町	25	28	11	29	7	6		18	124
中町	5	11	13	14	21	13		15	92
東町	12	12	22	12	16	5		9	88
泉町	18	27	11	7	16	15		14	108
住吉町	15	10	16	11	5	7		16	80
ひばりが丘	23	29	24	14				4	94
ひばりが丘北	12	11	9	3				9	44
栄町	24	16	12					8	60
北町	5	17	8	3	14	2		5	54
下保谷	13	12	23	18	26			3	95
無回答								47	47

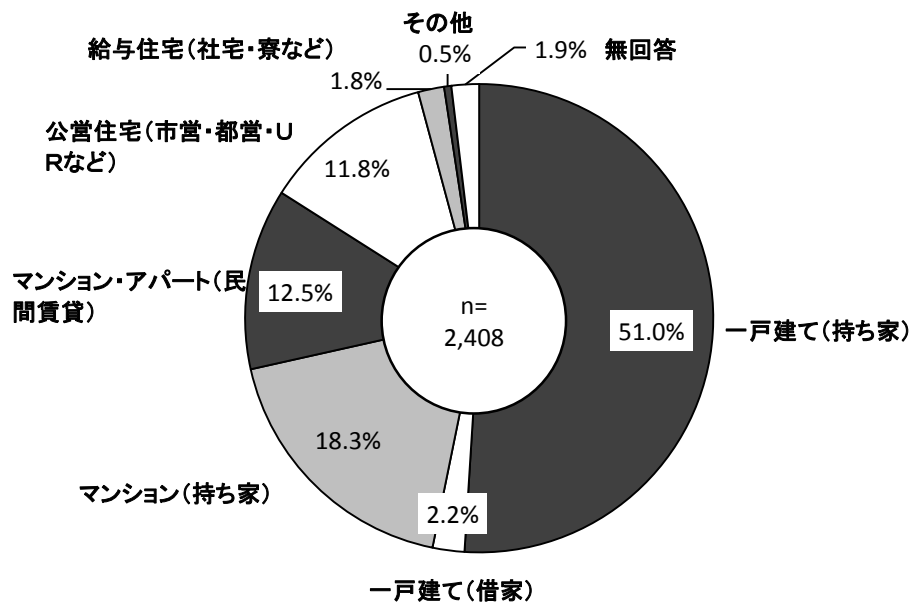
(4) 市域居住年数



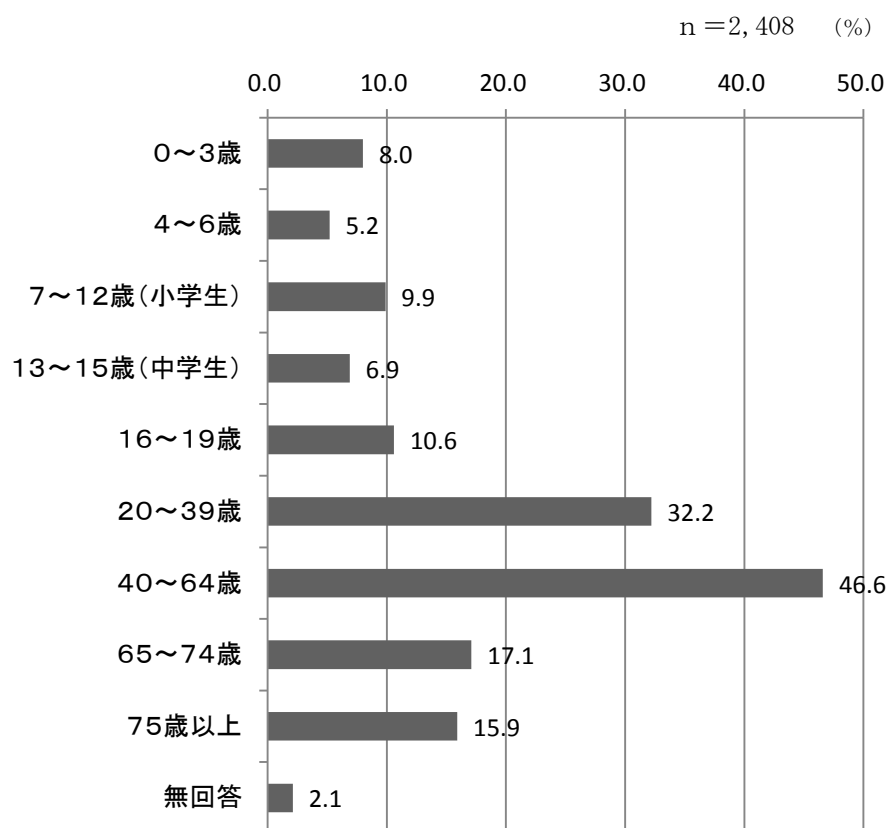
(5) 職業



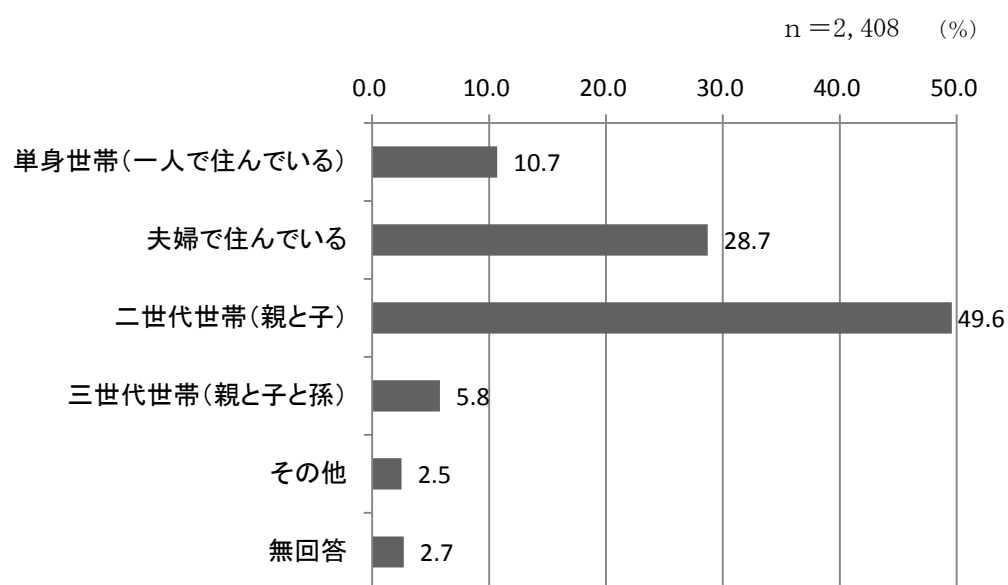
(6) 居住形態



(7) 同居家族年齢



(8) 世帯構成



II 調査結果の概要

1. 西東京市のまちづくり全般について

(1) 西東京市への愛着度

愛着を「感じている」は32.0%、「どちらかというと感じている」は36.5%で、合わせて68.5%となっている。一方、「どちらかというと感じていない」は8.7%、「感じていない」は5.1%で、合わせて13.8%となっている。

(2) 合併効果__良かった点

「はなバスの運行など、交通の便が良くなった」が25.6%で最も多く、続いて「駅周辺整備などの大規模なまちづくりが促進された」が24.1%となっている。

(3) 合併効果__もう一步と感じる点

「市としての一体感を感じられない」が27.8%で最も多く、続いて「公共料金などの市民負担が増えた」が18.1%となっている。

(4) 身近な生活環境の住み心地

「満足している」は16.9%、「やや満足している」は47.5%で、合わせて64.4%となっている。一方、「やや不満である」は17.1%、「不満である」は5.3%で、合わせて22.4%となっている。

(5) 身近な生活環境の評価・重要度

現在の身近な生活環境の「改善度」平均ポイントでは、「鉄道・バスなどの公共交通の利便性」が0.58ポイントで最も高くなっている。

今後の身近な生活環境の「重要度」平均ポイントでは、「防犯・防災などの生活安全対策」が1.69ポイントで最も高く、続いて「医療サービスの受けやすさ」が1.64ポイントとなっている。

(6) 継続居住意向

「これからも住み続けたい」は43.3%、「当分は住み続けたい」は32.9%で、合わせて76.2%となっている。一方、「できれば市外に転出したい」は6.5%、「市外に転出する」は1.2%で、合わせて7.7%となっている。

(7) 転出希望事由

継続居住意向で「できれば市外に転出したい」「市外に転出する」と回答した187人の転出希望事由として「交通が不便」が40.1%で最も多く、続いて「道路等の都市基盤が整っていない」が34.8%となっている。

(8) 居住地域に必要なもの

「保健・医療施設」が24.3%で最も多く、続いて「高齢者福祉施設」が23.3%、「スーパー（大規模小売店舗）」が21.9%、「街路灯（防犯灯）」が21.6%となっている。

2. 市政に対して思うことについて

(1) 市政全般への評価

「満足している」は4.4%、「やや満足している」は26.9%で、合わせて31.3%となっている。一方、「やや不満である」は21.3%、「不満である」は9.3%で、合わせて30.6%となっている。

(2) 市政に対する分野別の評価・重要度

現在の分野別の「満足度」平均ポイントでは、「芸術文化」が0.12ポイントで最も高く、続いて「行政運営」が0.08ポイントとなっている。また、施策毎の「満足度」平均ポイントでは、「ごみの減量化やリサイクルの推進」が0.33ポイントで最も高く、「自転車の利用しやすいまちづくり」が-0.93ポイントで最も低くなっている。

今後の分野別の「重要度」平均ポイントでは、「まちづくり」が1.30ポイントで最も高く、続いて「子ども」が1.18ポイントとなっている。また、施策毎の「重要度」平均ポイントでは、「大規模地震の防災対策」が1.64ポイントで最も高く、「NPO活動に対する支援」が0.40ポイントで最も低くなっている。

3. 地域活動と市政とのかかわりについて

(1) 地域活動への参加状況と今後の参加意向

「現在参加しており、今後も続けたい」は21.6%、「現在参加しているが、今後はやめたい」は2.5%で、現在参加しているのは24.1%となっている。一方、「現在参加していないが、今後は参加したい」は24.4%、「現在参加しておらず、今後も参加しない」は35.6%で、現在参加していない方は60.0%となっている。

(2) 地域活動内容別の参加状況と今後の参加意向

現在参加している活動内容は、「スポーツ・レクリエーション活動」が36.8%で最も多く、続いて「自治会・町内会など」が33.7%となっている。今後、参加したい地域活動の内容は、「スポーツ・レクリエーション活動」が41.3%で最も多く、続いて「芸術・文化活動」が33.5%となっている。

(3) 地域活動に参加したくない（やめたい）事由

「時間がないから」が35.2%で最も多く、続いて「関心がないから」が19.5%、「参加による負担が大きいから」が12.4%、「わずらわしいから」が10.1%となっている。

(4) 市政への関心

「関心がある」は14.5%、「ある程度関心がある」は50.6%で、合わせて65.1%となっている。一方、「あまり関心がない」は20.6%、「関心がない」は3.8%で、合わせて24.4%となっている。

(5) 市政の情報源

「市報（広報西東京）」が88.2%で最も多く、続いて「市議会報」が23.5%、「市のホームページ」が22.4%となっている。

(6) 市から得たい情報の内容

「医療・保健などの健康に関する情報」が68.8%で最も多く、続いて「ごみ収集などの生活情報」が57.7%、「防犯・防災に関する情報」が53.8%となっている。

(7) 市民活動への興味

「市民活動に興味がある」が32.8%、「市民活動に興味はない」61.9%となっている。

(8) 市民活動参加状況

「参加したことがある」が8.5%、「参加したことはない」が88.2%となっている。

(9) 市政への参加方法

「アンケート調査や投票を通じて意見を表明する」が55.3%で最も多く、続いて「逐次、インターネットや電話、窓口などで意見を述べる」が28.9%となっている。

4. 本庁舎の統合整備について

(1) 現在の2庁舎体制の評価

「満足している」は17.4%、「やや満足している」は25.2%で、合わせて42.6%となっている。一方、「やや不満である」は18.4%、「不満である」は14.1%で、合わせて32.5%となっている。

(2) 現在の2庁舎体制の満足、不満

「庁舎にかかる維持管理経費や職員配置等のコストの増大」が31.9%で最も多く、続いて「どちらの庁舎に行ってもいいのかわかりにくい」が28.5%となっている。

(3) 庁舎の統合整備の重視点

「市民サービスの向上（手続きや相談の一元化等）」が53.7%で最も多く、続いて「行政コストの効率化（維持管理コスト、職員配置の効率化）」が53.0%となっている。

5. 防災対策について

(1) 災害発生時の心配

「水道や電気等のライフラインの確保」が 82.1%で最も多く、続いて「家族の安否の確認方法」が 74.7%、「食料品等の確保」が 69.4%となっている。

(2) 災害発生時の備えの準備

「食料品・飲料水・防災グッズの準備」が 63.0%で最も多く、続いて「避難場所ルートの確認」が 35.2%、「家具の固定・ガラスの拡散対策」が 34.4%となっている。

(3) 市から得たい防災情報

「食料等の備蓄について」が 63.9%で最も多く、続いて「災害時に関する情報提供や広報について」が 62.5%、「災害時の医療救護体制について」が 54.8%となっている。

III 調査結果

1. 西東京市のまちづくり全般について

【問1】西東京市が誕生して10余年が経ちましたが、あなたは、西東京市に愛着を感じていますか。(〇は1つだけ)

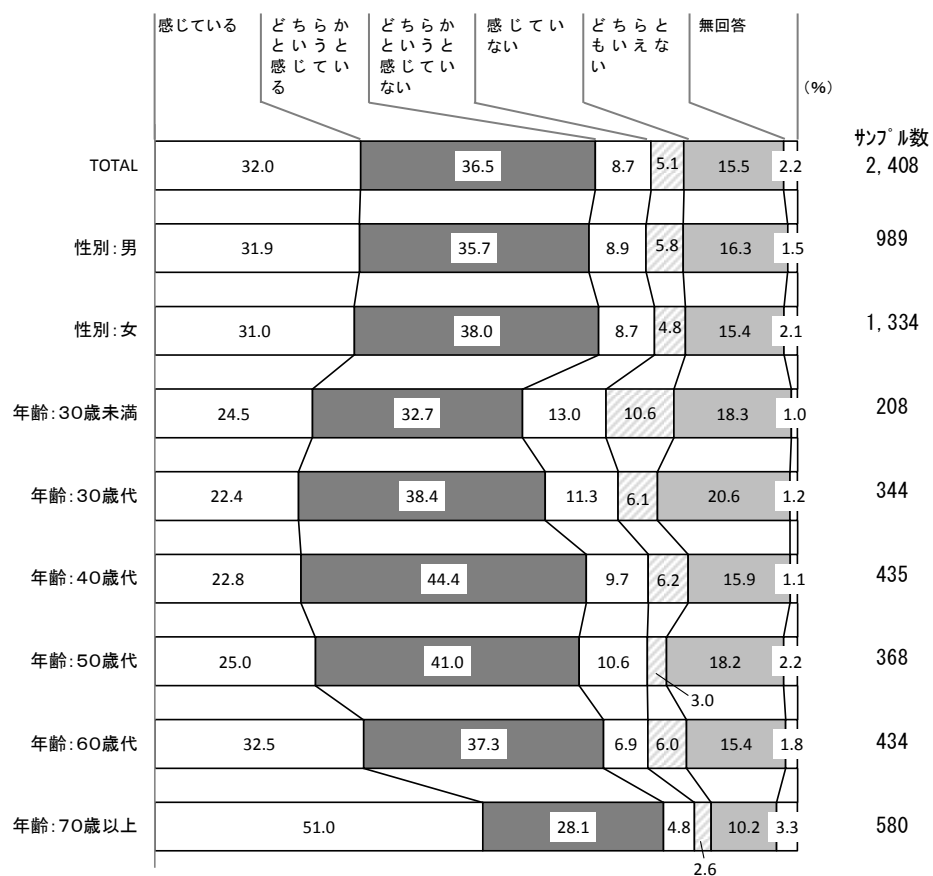
西東京市に愛着を感じているかについては、「どちらかというと感じている」が36.5%で最も多く、続いて「感じている」が32.0%となっており、合わせて68.5%が愛着を感じているとなっている。

性別で見ると、「女性」に比べ、「男性」で愛着を「感じている」がやや多くなっている(男性31.9%、女性31.0%)。

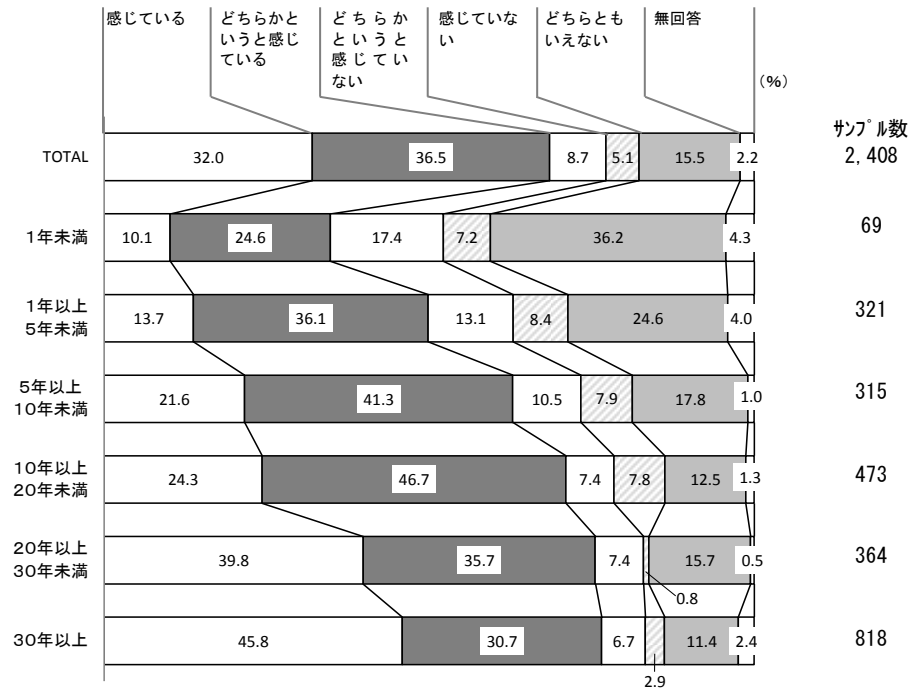
年代で見ると、年齢が高くなるにつれて、愛着を「感じている」が概ね多くなっている。

居住年数別に見ると、居住年数が増すにつれて、愛着を「感じている」が多く、居住年数が「30年以上」では、45.8%となっている。

<性・年代別>



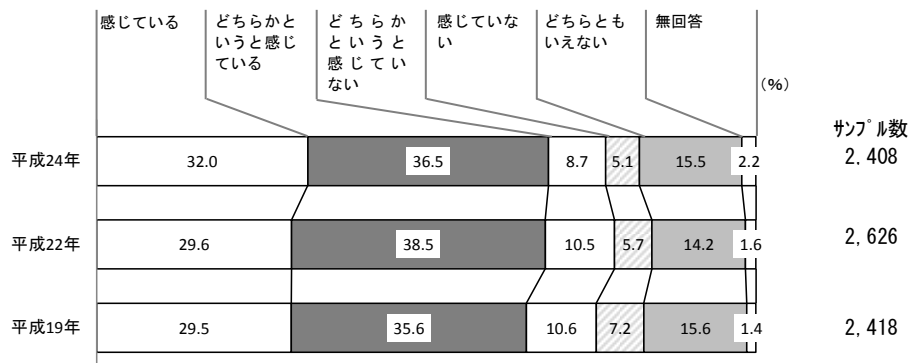
<居住年数別>



<経年比較>

平成24年調査は「感じている」「どちらかというと感じている」を合わせると68.5%であり、平成22年調査（「感じている」29.6%、「どちらかというと感じている」38.5%）より0.4ポイント多くなっている。

また、平成24年調査は「感じていない」「どちらかというと感じていない」を合わせると13.8%であり、平成22年調査の「感じていない」「どちらかというと感じていない」と合わせると16.2%となり、平成24年調査と22年調査を比較すると、2.4ポイント少なくなっている。

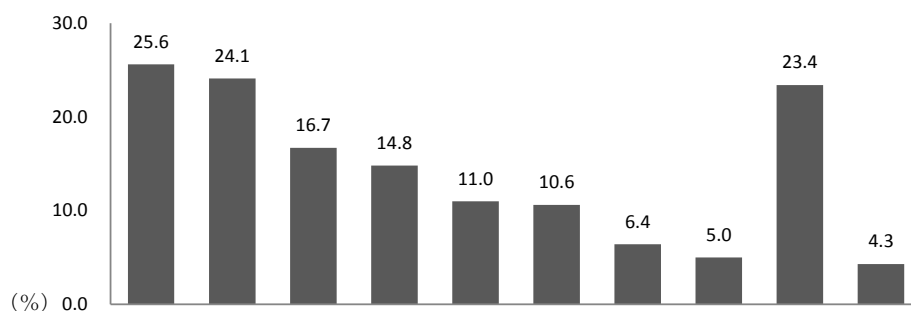


【問2】西東京市となって、主に良かったと感じることは何ですか。(〇は2つまで)

合併によって良かったと感じることでは、「はなバスの運行など、交通の便がよくなった」が25.6%で最も多く、続いて「駅周辺整備などの大規模なまちづくりが促進された」が24.1%となっている。

年代別に見ると、「はなバスの運行など、交通の便がよくなった」は、年代が高くなるにつれ多くなっている。

<性・年代別>



*性別・年齢	n	5	4	2	6	1	7	3	8	9	10
		便がはなバスの運行など、交通の	ち駅周辺整備などの大規模なま	ま市の知名度・認知度が高	新西東京いこの森公園などの	盛田無になつた	サ電子化・効率化が進み、行政	心が合併を契機として行政への関	その他	から西東京市になる前のことが分	無回答
0 TOTAL	2,408	25.6	24.1	16.7	14.8	11.0	10.6	6.4	5.0	23.4	4.3
1 性別: 男	989	23.2	23.8	19.4	14.2	11.8	10.0	7.3	4.9	23.0	4.7
2 性別: 女	1,334	26.9	24.4	14.5	15.1	10.6	10.8	5.5	4.9	24.6	3.5
3 年齢: 30歳未満	208	△ 18.3	△ 23.1	△ 10.6	△ 9.6	△ 7.7	△ 5.3	△ 1.4	△ 5.3	△ 43.3	△ 1.9
4 年齢: 30歳代	344	△ 18.3	△ 14.2	△ 9.9	△ 9.3	△ 3.5	△ 6.1	△ 3.2	△ 3.8	△ 48.8	△ 3.8
5 年齢: 40歳代	435	△ 22.5	△ 20.7	△ 11.3	△ 15.2	△ 12.0	△ 7.1	△ 4.1	△ 6.7	△ 30.1	△ 4.1
6 年齢: 50歳代	368	△ 22.8	△ 26.9	△ 19.3	△ 13.9	△ 10.6	△ 11.4	△ 4.3	△ 4.3	△ 17.9	△ 6.0
7 年齢: 60歳代	434	△ 31.8	△ 27.9	△ 20.0	△ 18.9	△ 9.9	△ 14.1	△ 8.8	△ 5.5	△ 11.8	△ 3.9
8 年齢: 70歳以上	580	△ 32.2	△ 28.6	△ 23.1	△ 16.7	△ 17.6	△ 14.5	△ 11.0	△ 4.0	△ 9.0	△ 3.8

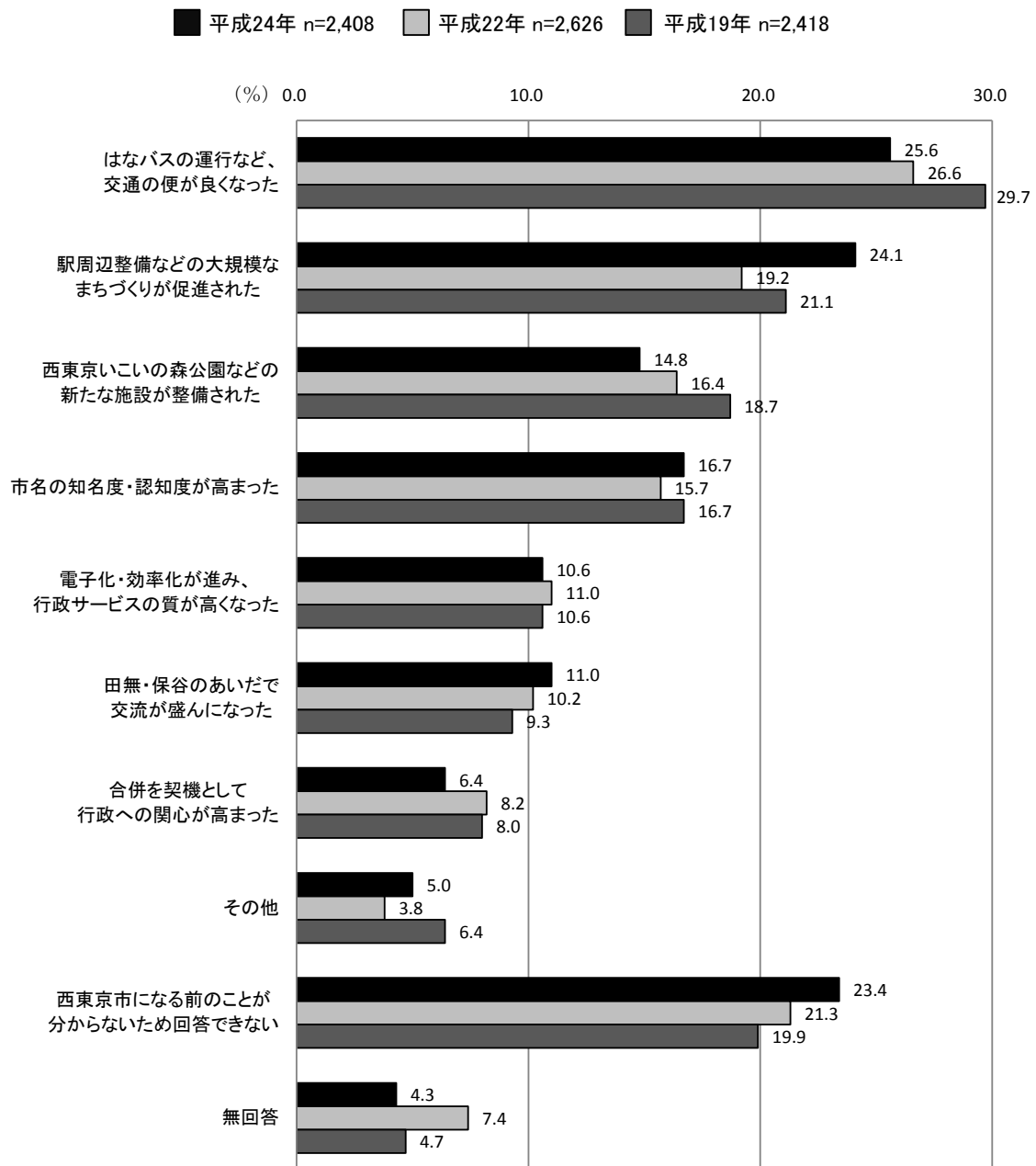
<居住年数別>

1 5年未満	390	△ 8.7	△ 10.3	△ 5.1	△ 3.8	△ 1.8	△ 5.4	△ 1.8	△ 2.6	△ 70.5	△ 2.3
2 5年以上10年未満	315	△ 9.8	△ 9.2	△ 7.9	△ 7.6	△ 5.1	△ 5.1	△ 1.9	△ 2.5	△ 62.5	△ 2.9
3 10年以上	1,655	△ 32.6	△ 30.2	△ 21.1	△ 18.6	△ 14.5	△ 12.9	△ 8.3	△ 5.9	△ 5.1	△ 4.7

＜経年比較＞

平成24年調査では、「はなバスの運行など、交通の便がよくなった」が25.6%で最も多くなっており、平成22年調査と比べ1.0ポイント少なくなっている。

次いで、平成24年調査では、「駅周辺整備などの大規模なまちづくりが促進された」が24.1%で平成22年調査と比べ4.9ポイント高くなっている。「西東京いこいの森公園などの新たな施設が整備された」が14.8%で、平成22年調査と比べ1.6ポイント少なくなっている。

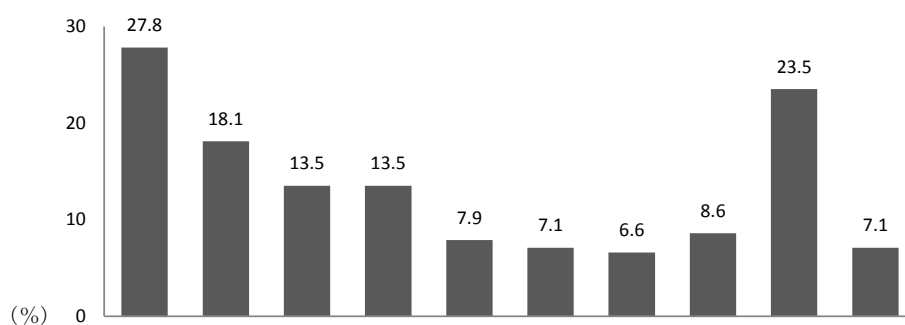


【問3】西東京市となって、もう一步と感じることは何ですか。(〇は2つまで)

合併によって、もう一步と感じることでは、「市としての一体感を感じられない」が27.8%で最も多い。年代別で見ると「60歳代」が最も多く35.0%で、一番少ない14.8%の「30歳代」と比較すると、20.2ポイントの差となっている。

また、平均18.1%と二番目に多い「公共料金などの市民負担が増えた」でも、年代別では「60歳代」が22.8%と最も多く、一番少ない「30歳代」の13.0%とは、9.8ポイントの差となっている。

＜性・年代別＞



*性別・年齢	n	1	5	7	2	6	3	4	8	9	10
		な市としての一体感を感じられない	え公共料金などの市民負担が増えた	の駅周辺などの中心部と周辺部の地域格差が広がった	前行政窓口への物理的距離が以前より遠くなった	れた地域の個性や文化、伝統が薄れた	な市役所が身近に感じられなくなった	行政サービスの質が低下した	その他	から西東京市になる前のことが分からないため回答できない	無回答
0 TOTAL	2,408	27.8	18.1	13.5	13.5	7.9	7.1	6.6	8.6	23.5	7.1
1 性別:男	989	28.9	19.9	11.8	11.3	8.1	6.8	8.4	10.3	23.1	6.6
2 性別:女	1,334	26.9	16.3	14.5	14.8	7.5	7.1	5.4	7.5	24.8	6.8
3 年齢:30歳未満	208	△ 19.7	△ 13.0	△ 7.2	△ 8.2	6.3	6.3	4.8	6.7	○ 43.3	3.8
4 年齢:30歳代	344	△ 14.8	14.0	9.9	9.6	2.9	2.9	3.2	10.5	○ 47.7	4.1
5 年齢:40歳代	435	25.7	16.3	10.1	13.1	3.9	4.8	7.8	11.0	○ 29.0	6.9
6 年齢:50歳代	368	○ 33.4	20.1	9.2	13.3	10.1	7.6	10.1	8.7	△ 16.0	4.6
7 年齢:60歳代	434	○ 35.0	22.8	16.4	13.1	9.9	9.4	6.9	7.1	△ 13.8	7.8
8 年齢:70歳以上	580	○ 30.5	17.9	○ 21.0	18.4	10.9	9.3	6.0	7.6	△ 10.7	10.7

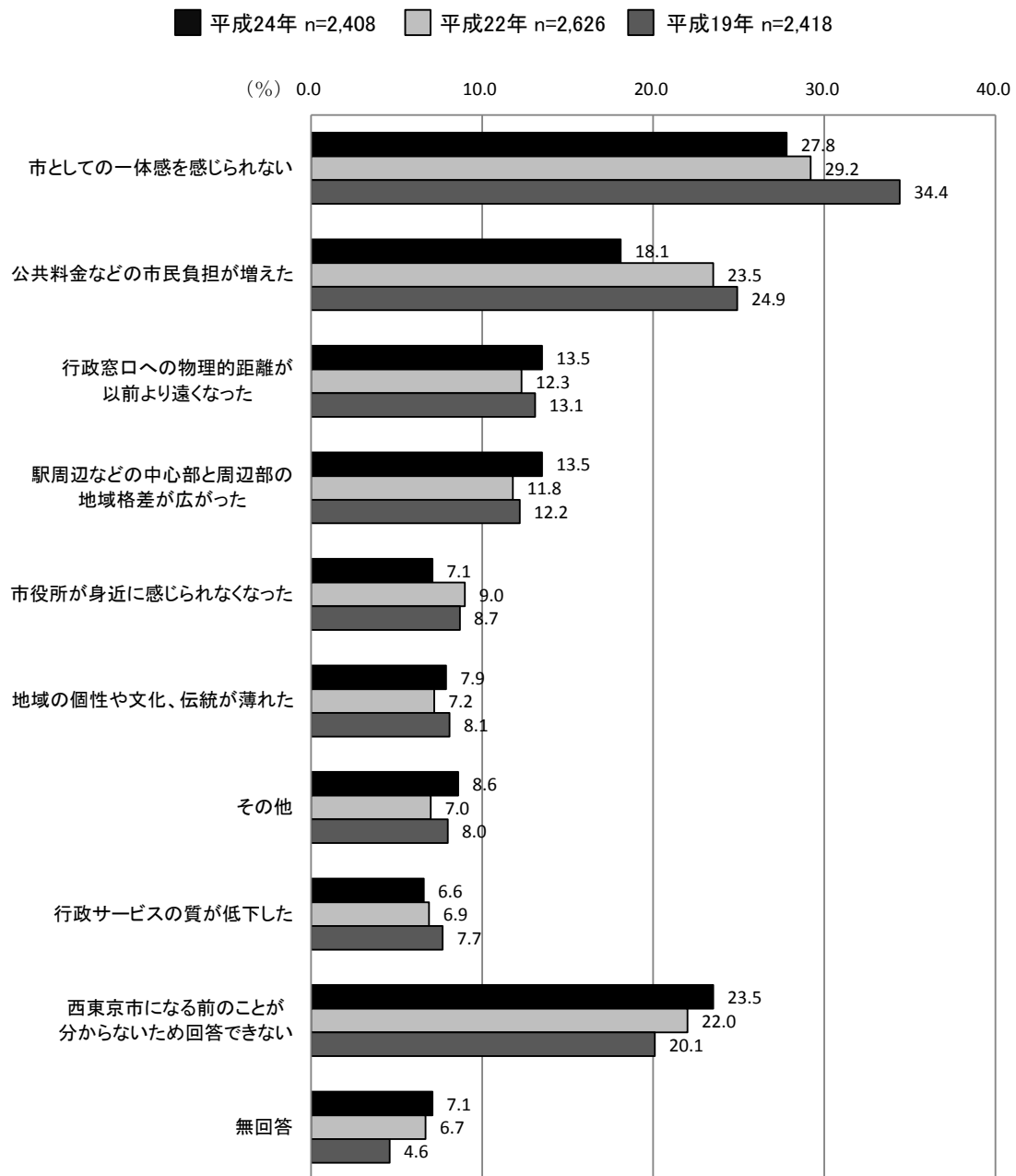
＜居住年数別＞

1 5年未満	390	△ 7.4	△ 5.1	△ 4.9	△ 5.4	△ 1.5	△ 2.1	△ 1.3	5.6	○ 73.3	3.1
2 5年以上10年未満	315	△ 13.0	△ 11.1	△ 5.4	△ 7.9	△ 2.2	△ 1.6	6.3	△ 3.5	○ 57.5	5.1
3 10年以上	1,655	○ 35.3	22.1	16.9	16.4	10.3	9.3	8.0	10.4	△ 5.6	8.2

<経年比較>

平成24年調査では、「市としての一体感を感じられない」が27.8%で最も多くなっており、平成22年調査と比べ1.4ポイント少なくなっている。

次いで、平成24年調査では、「公共料金などの市民負担が増えた」が18.1%で平成22年調査と比べ5.4ポイント少なく、「行政窓口への物理的距離が以前より遠くなった」が13.5%で、平成22年調査と比べ1.2ポイント多くなっている。

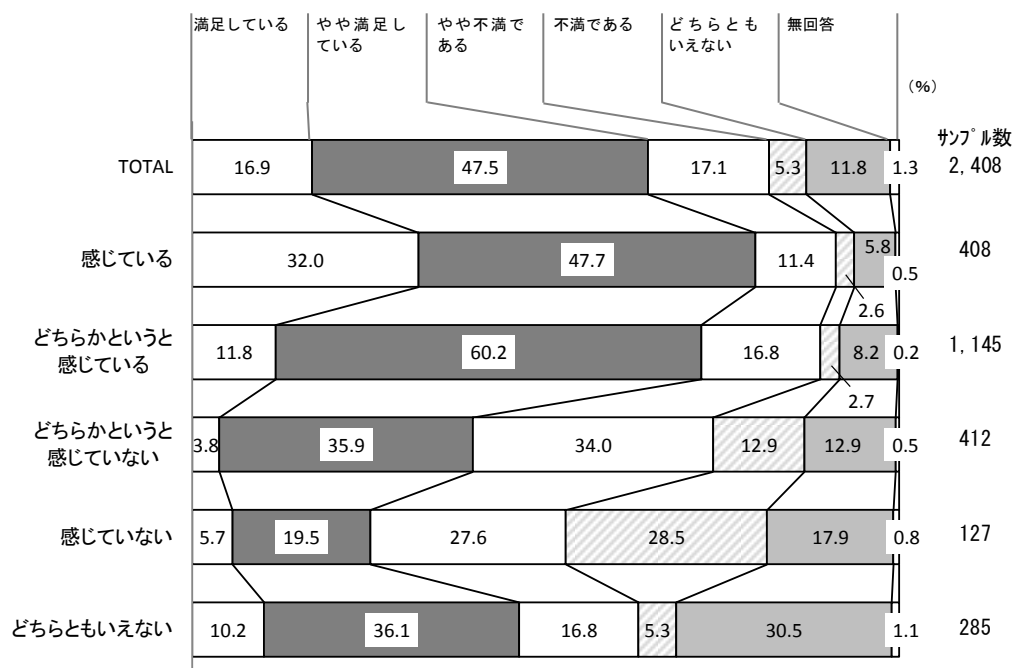


【問4】身近な生活環境について、あなたは、日ごろの生活の中で住み心地についてどのように感じていらっしゃいますか。(〇は1つだけ)

身近な生活環境の住み心地では、「やや満足している」が最も多く47.5%、続いて「やや不満である」が17.1%となっている。「満足している」(16.9%)、「やや満足している」(47.5%)を合わせると64.4%となっている。

西東京市への愛着度別に見ると、愛着度が高いほど、「満足している」「やや満足している」が多くなっており、愛着を「感じている」では、「満足している」が32.0%、「やや満足している」が47.7%で、合わせて79.7%となっている。一方、愛着を「感じていない」では「満足している」が5.7%、「やや満足している」が19.5%で、合わせて25.2%となっており、愛着度別では最も少なくなっている。

<愛着度別>

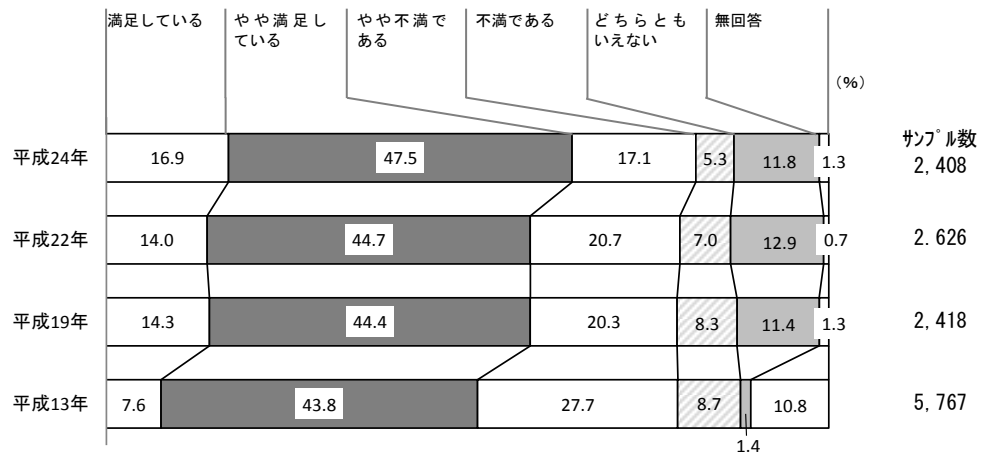


<経年比較>

平成24年調査では、「満足している」が16.9%、「やや満足している」が47.5%で合わせて64.4%となっており、平成22年調査と比べ、5.7ポイント多くなっている（平成22年調査「満足している」14.0%、「やや満足している」44.7%、合計58.7%）。

また、「やや不満である」が17.1%、「不満である」が5.3%で、合わせて22.4%となっており、平成22年調査と比べ、5.3ポイント少なくなっている。（平成22年調査「やや不満である」20.7%、「不満である」7.0%、合計27.7%）。

平成24年調査では、「どちらともいえない」が5.3%であり、平成22年調査と比べ、1.7ポイント少なくなっている。



【問5】以下に示す身近な生活環境について、10年前と比較した現在の状況をあなたはどのように感じていらっしゃいますか。また、それはあなたの今後の生活にとって、重要なことですか。(項目ごとに〇は1つずつ)

10年前と比較した現在の身近な生活環境の状況「改善度」平均ポイントでは、「鉄道・バスなどの公共交通の利便性」が0.58ポイントで最も高くなっている。一方、「地元の商店街」は-0.73ポイントとなっており、他の項目に比べポイントが最も低く、第1位とは1.31ポイントの差となっている。

今後の身近な生活環境の「重要度」平均ポイントでは、「防犯・防災などの生活安全対策」が1.69ポイントで最も高く、続いて「医療サービスの受けやすさ」が1.64ポイントとなっている。

<平均ポイント順位>

順位	10年前と比較した現在の状況(改善度)	平均
1	鉄道・バスなどの公共交通の利便性	0.58
2	電話・インターネットなどの通信環境	0.48
3	買い物の利便性	0.38
4	医療サービスの受けやすさ	0.33
5	街並み・景観	0.31
6	芸術や文化にふれる機会、学習する環境	0.21
7	緑や水辺などの自然環境	0.18
8	防犯・防災などの生活安全対策	0.17
9	スポーツに参加する機会、楽しむ環境	0.16
10	誰もが安心して暮らすための福祉環境	0.14
11	安全で歩きやすい道路環境	0.11
12	育児相談・保育園などの育児サポート環境	0.09
13	子どもの教育環境	-0.01
14	夏祭りなどの地域の行事・イベント	-0.08
15	町内会などの自治組織の活動	-0.20
16	就労時間、就労内容などの働く環境	-0.23
17	地元の商店街	-0.73

順位	今後の生活における重要度	平均
1	防犯・防災などの生活安全対策	1.69
2	医療サービスの受けやすさ	1.64
3	安全で歩きやすい道路環境	1.59
4	誰もが安心して暮らすための福祉環境	1.46
5	鉄道・バスなどの公共交通の利便性	1.36
6	買い物の利便性	1.26
7	緑や水辺などの自然環境	1.19
8	子どもの教育環境	1.18
9	街並み・景観	0.94
10	育児相談・保育園などの育児サポート環境	0.93
11	就労時間、就労内容などの働く環境	0.86
12	地元の商店街	0.72
13	電話・インターネットなどの通信環境	0.64
14	芸術や文化にふれる機会、学習する環境	0.57
15	スポーツに参加する機会、楽しむ環境	0.38
16	町内会などの自治組織の活動	0.36
17	夏祭りなどの地域の行事・イベント	0.20

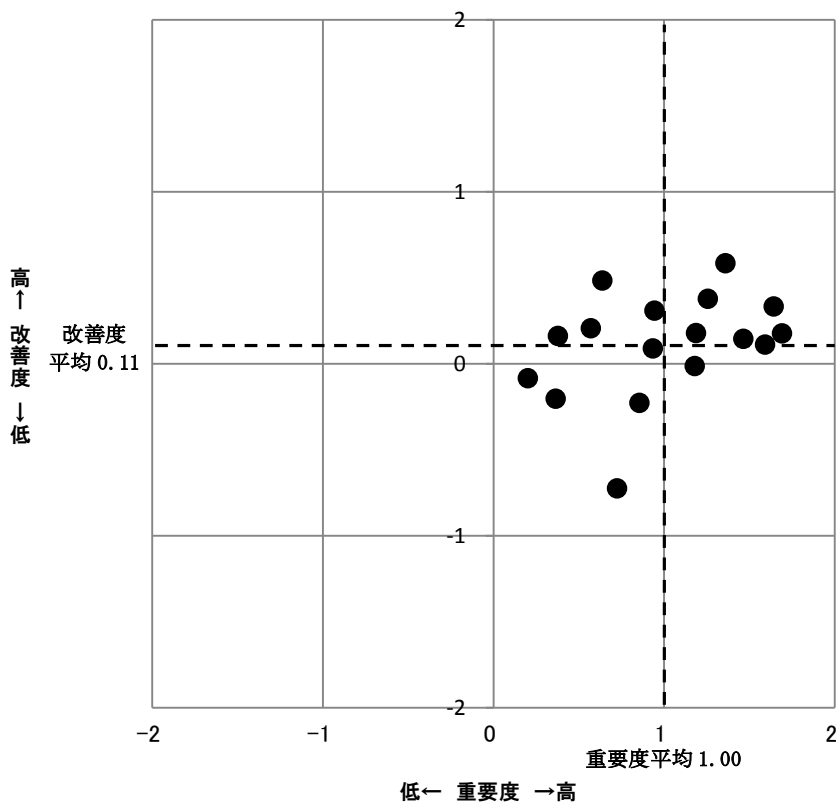
「改善度」をY軸に、「重要度」をX軸にとり、各項目の平均ポイントをプロットすると、改善度は中間に、重要度は高い方に集中している。

また、「改善度」と「重要度」の別に、全ての項目の平均ポイントを元にCS分析の座標軸を求めると、改善度=0.11、重要度=1.00となる。

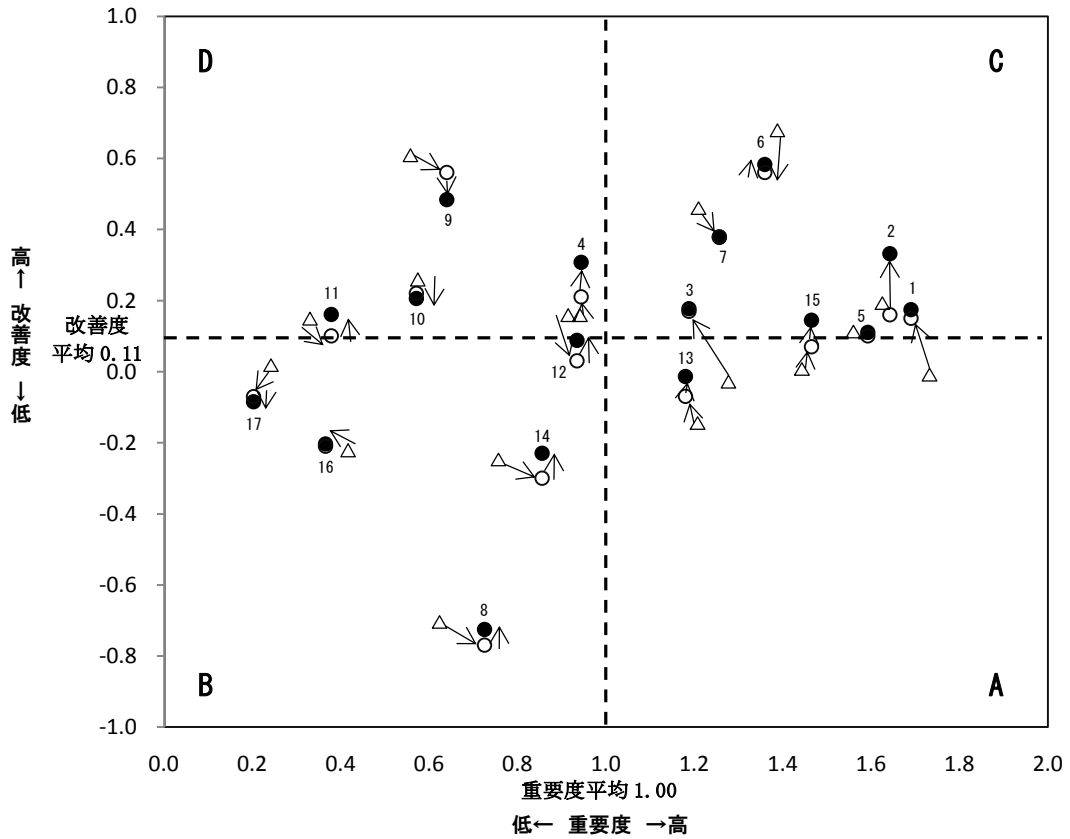
座標軸を元に、各項目間の相対的な関係を4つの方向性(ゾーン)で見ると、「重点改善分野」には、「子どもの教育環境」が分類され、「重点維持分野」には、「防犯・防災などの生活安全対策」「医療サービスの受けやすさ」「緑や水辺などの自然環境」「安全で歩きやすい道路環境」「鉄道・バスなどの公共交通の利便性」「買い物の利便性」「誰もが安心して暮らすための福祉環境」が分類される。

なお、「改善度」の評価については、項目によって、ライフスタイルや家族構成から関わりが少なく、評価をするために十分な情報を得ていないなどの理由から、「分からない」の選択割合が非常に高いものもある点にも注意が必要である。「分からない」が50.0%を超える項目は、「スポーツに参加する機会、楽しむ環境」「芸術や文化にふれる機会、学習する環境」「育児相談・保育園などの育児サポート環境」「子どもの教育環境」「就労時間、就労内容などの働く環境」「町内会などの自治組織の活動」「誰もが安心して暮らすための福祉環境」「夏祭りなどの地域の行事・イベント」である。

<CS分析1>



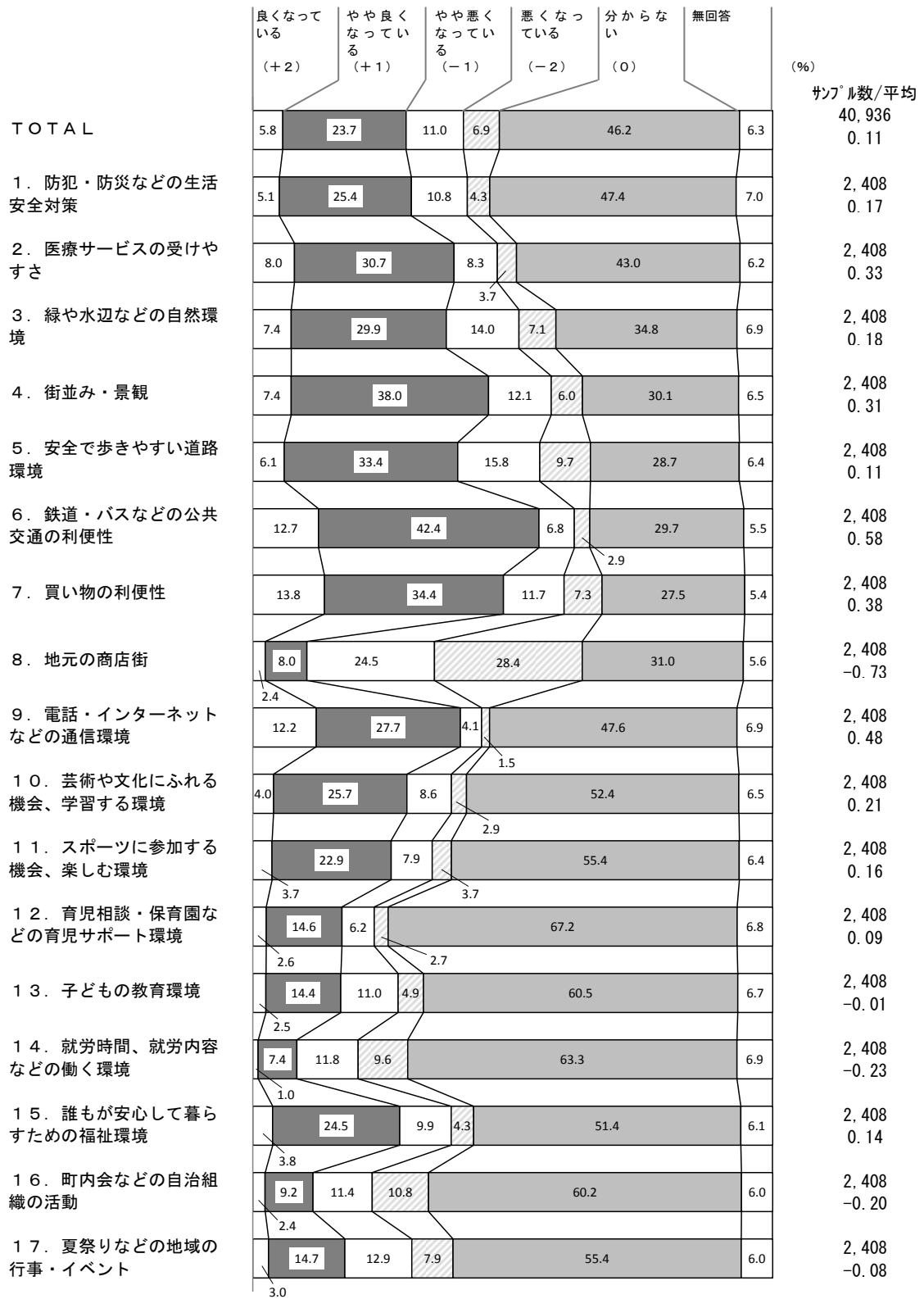
<CS分析2 3カ年比較> ※●は平成24年、○は平成22年、△は平成19年を示す。



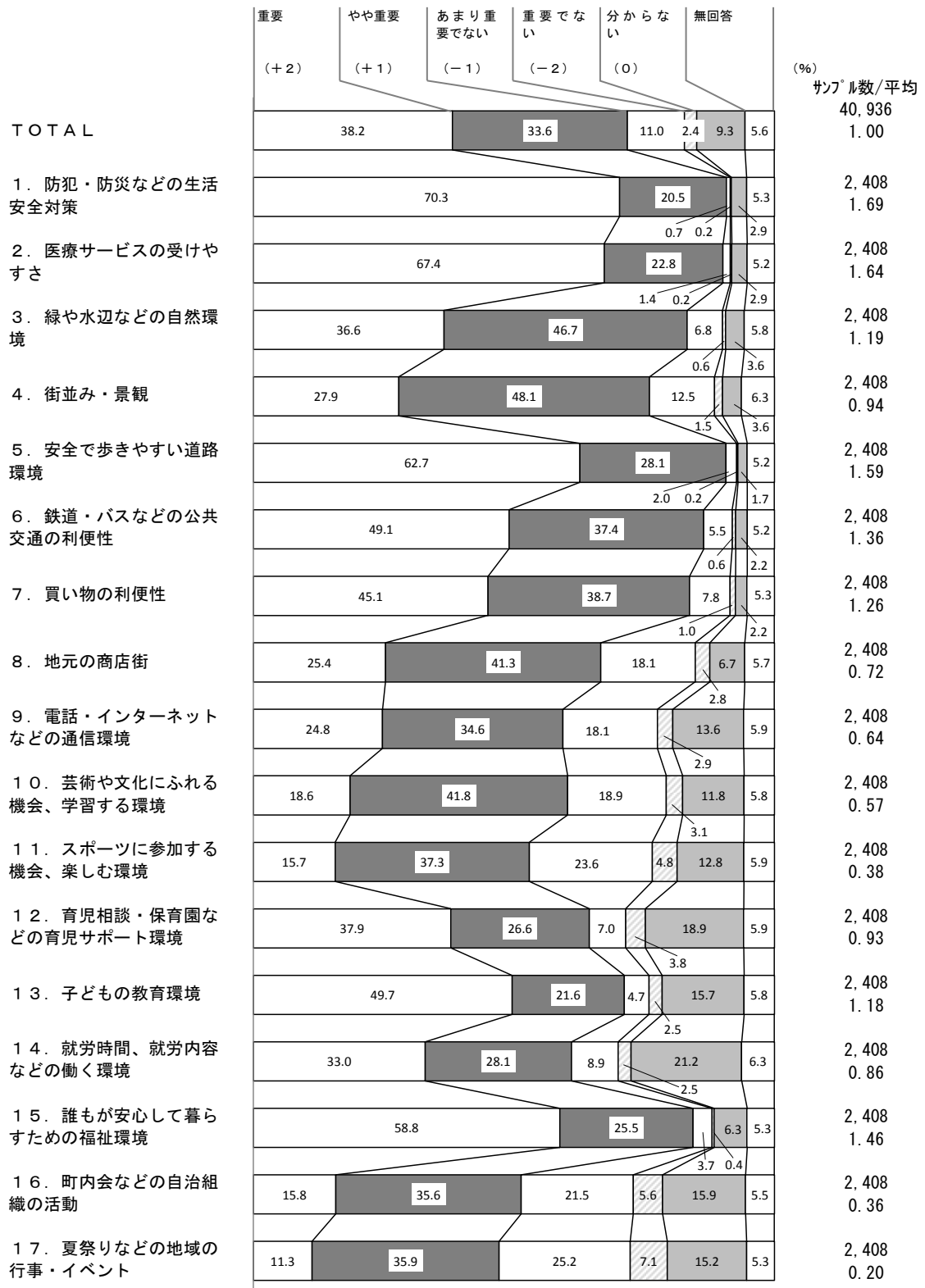
<p>D:維持分野</p> <p>4: 街並み・景観 9: 電話・インターネットなどの通信環境 10: 芸術や文化にふれる機会、学習する環境 11: スポーツに参加する機会、楽しむ環境</p>	<p>C:重点維持分野</p> <p>1: 防犯・防災などの生活安全対策 2: 医療サービスの受けやすさ 3: 緑や水辺などの自然環境 5: 安全で歩きやすい道路環境 6: 鉄道・バスなどの公共交通の利便性 7: 買い物の利便性 15: 誰もが安心して暮らすための福祉環境</p>
<p>B:改善分野</p> <p>8: 地元の商店街 12: 育児相談・保育園などの育児サポート環境 14: 就労時間、就労内容などの働く環境 16: 町内会などの自治組織の活動 17: 夏祭りなどの地域の行事・イベント</p>	<p>A:重点改善分野</p> <p>13: 子どもの教育環境</p>

※「3: 緑や水辺などの自然環境」「5: 安全で歩きやすい道路環境」「10: 芸術や文化にふれる機会、学習する環境」「16: 町内会などの自治組織の活動」については、平成24年と平成19年の数値がほぼ同じであるため、点の位置が重なっている。

<改善度>



<重要度>

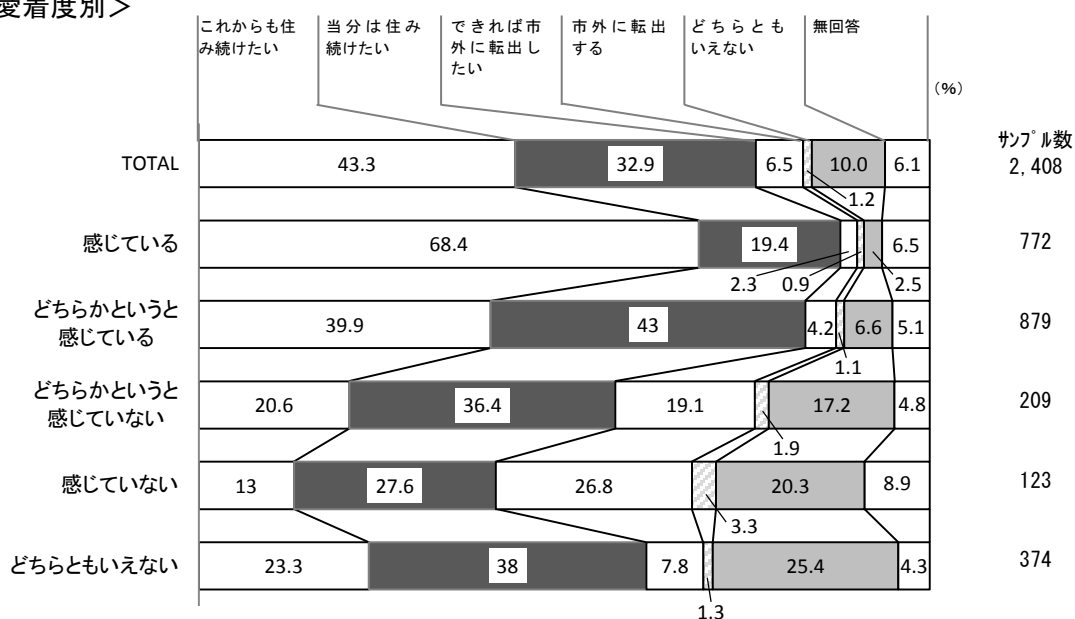


【問6】あなたは、今後も西東京市に住み続けたいですか。(〇は1つだけ)

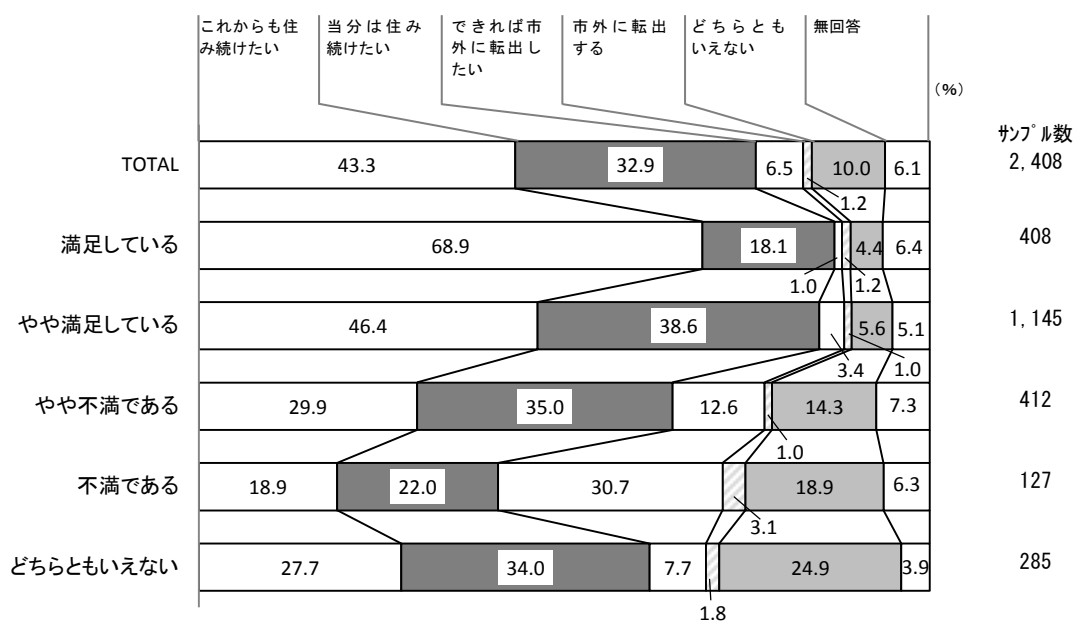
西東京市での継続居住意向では、「これからも住み続けたい」が43.3%で最も多く、続いて「当分は住み続けたい」が32.9%となっている。

西東京市への愛着度別に見ると、「これからも住み続けたい」は愛着を「感じている」で最も多く、68.4%となっている。居住満足度別に見ると「満足している」で最も多く68.9%となっている。

＜愛着度別＞



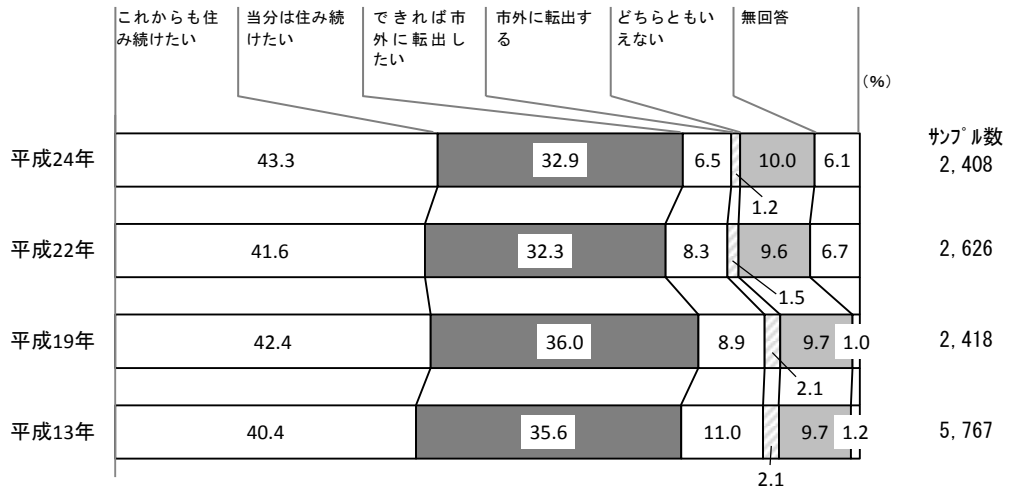
＜居住満足度別＞



<経年比較>

平成24年調査では、「これからも住み続けたい」が43.3%となっており、平成22年調査と比べ1.7ポイント高くなっている。

また、平成24年調査では「できれば市外に転出したい」が6.5%となっており、平成22年調査と比べ1.8ポイント少なくなっている。

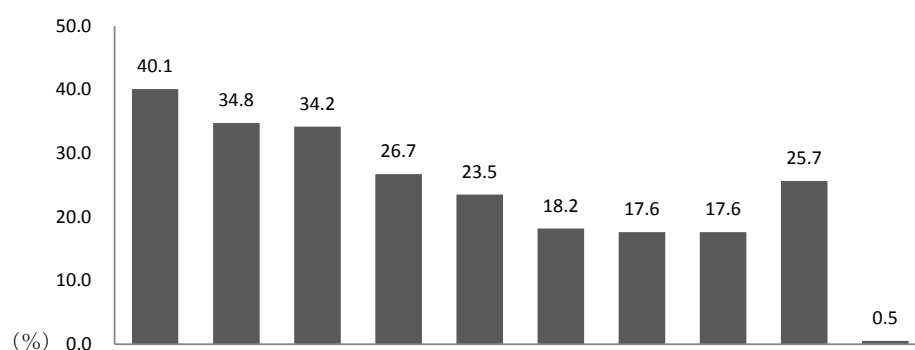


【問7】問6で「3、4」とお答えの方にお聞きします。転出したい（転出する）理由は何ですか。（〇はいくつでも）

問6で「できれば市外に転出したい」「市外に転出する」と回答した方は、187人となっている。転出したい（転出する）理由としては、「交通が不便」が40.1%で最も多く、続いて「道路等の都市基盤が整っていない」が34.8%、「住宅の事情」が34.2%となっている。

年代別に見ると、「交通が不便」は「70歳以上」で最も多く、63.2%となっており、次いで「50歳代」（55.6%）、「40歳代」（40.9%）となっている。

<性・年代別>

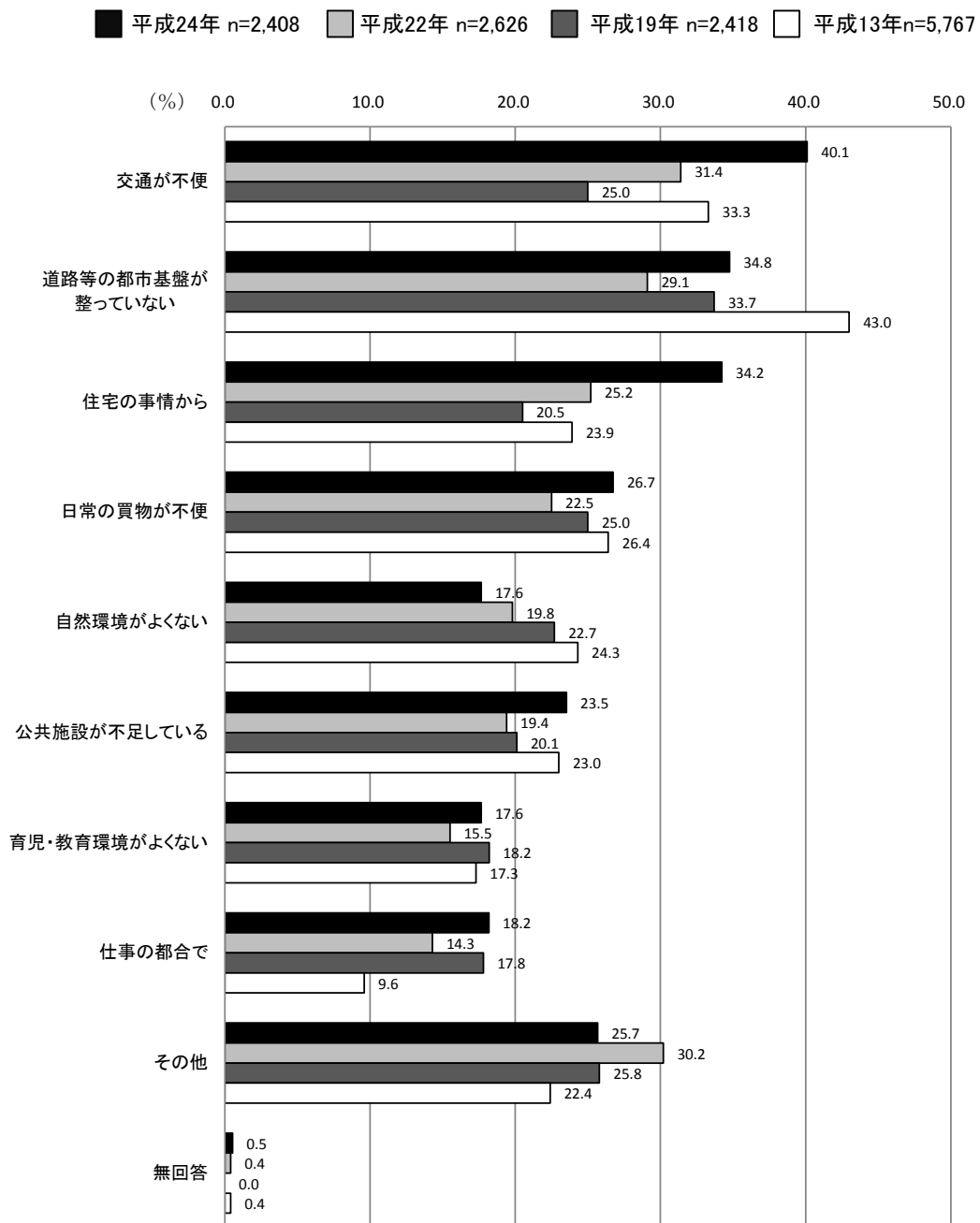


*性別・年齢		n	3 交通が不便	7 道路等の都市基盤が整っていない	1 住宅の事情から	4 日常の買物が不便	8 公共施設が不足している	2 仕事の都合で	5 育児・教育環境がよくない	6 自然環境がよくない	9 その他	10 無回答
0	TOTAL	187	40.1	34.8	34.2	26.7	23.5	18.2	17.6	17.6	25.7	0.5
1	性別:男	90	34.4	42.2	28.9	21.1	21.1	21.1	14.4	18.9	30.0	0.0
2	性別:女	92	46.7	26.1	38.0	31.5	25.0	15.2	20.7	14.1	20.7	1.1
3	年齢:30歳未満	29	37.9	13.8	24.1	37.9	6.9	41.4	13.8	6.9	24.1	0.0
4	年齢:30歳代	40	27.5	30.0	37.5	25.0	17.5	20.0	27.5	17.5	25.0	0.0
5	年齢:40歳代	44	40.9	34.1	9.1	18.2	22.7	11.4	34.1	13.6	36.4	2.3
6	年齢:50歳代	27	55.6	29.6	44.4	37.0	33.3	7.4	7.4	14.8	18.5	0.0
7	年齢:60歳代	25	32.0	32.0	64.0	8.0	28.0	16.0	0.0	24.0	20.0	0.0
8	年齢:70歳以上	19	63.2	84.2	42.1	47.4	42.1	15.8	0.0	31.6	21.1	0.0

<経年比較>

平成24年調査では、「交通が不便」が40.1%で最も多くなっており、平成22年調査と比べて8.7ポイント高くなっている。

次いで、平成24年調査では、「道路等の都市整備が整っていない」が34.8%で平成22年調査と比べ5.7ポイント、「住宅の事情から」が34.2%で、平成22年調査と比べて9.0ポイント高くなっている。

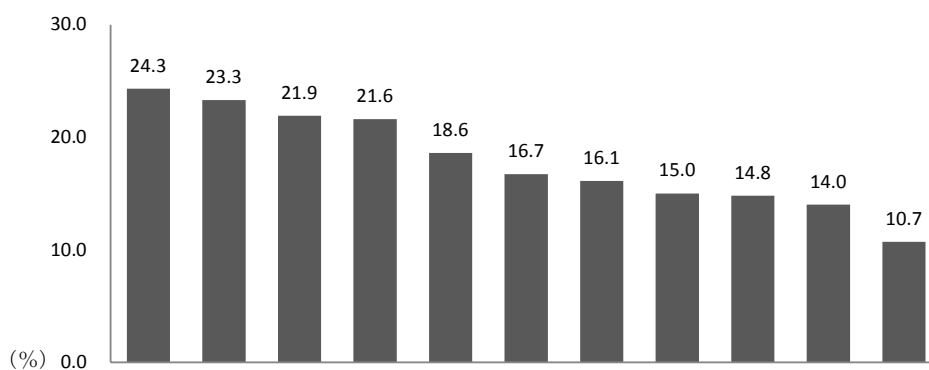


【問8】あなたがお住まいの地域に必要なものは何ですか。(〇は3つまで)

居住地域に必要なものでは、「保健・医療施設」が24.3%で最も多く、続いて「高齢者福祉施設」が23.3%となっている。

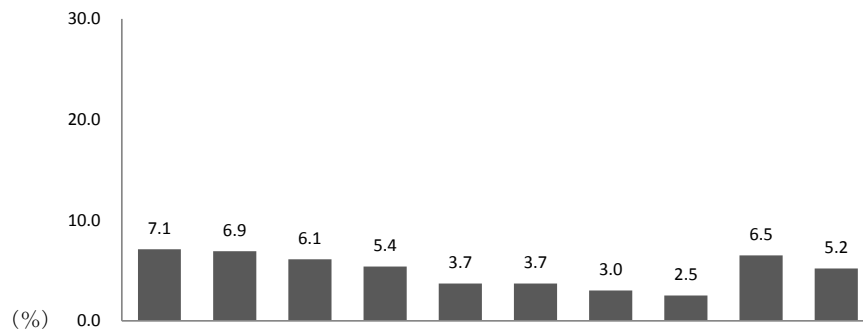
年代別に見ると、「30歳未満」「30歳代」「40歳代」では「スーパー(大型店舗)」、「多目的に使用できる大きな公園・広場」が多く、「60歳代」「70歳以上」では「高齢者福祉施設」が他の年代に比べ多くなっている。

<性・年代別1>



		8	6	17	14	12	2	15	11	3	16	13	
		保健・医療施設	高齢者福祉施設	スーパー(大規模小売店舗)	街路灯(防犯灯)	多目的に使用できる大きな公園・広場	図書館	交番	小さな公園やちょっとした屋外憩い施設	スポーツ施設	商店街	市民が利用できる農園	
*性別・年齢	n												
0	TOTAL	2,408	24.3	23.3	21.9	21.6	18.6	16.7	16.1	15.0	14.8	14.0	10.7
1	性別:男	989	24.0	22.4	21.6	18.5	19.6	16.4	15.3	15.0	17.6	13.7	11.4
2	性別:女	1,334	24.1	23.1	22.2	23.8	18.1	17.4	15.7	15.0	13.2	14.2	10.1
3	年齢:30歳未満	208	△ 16.8	△ 5.8	○ 27.9	25.5	○ 27.9	△ 22.6	△ 7.2	14.9	○ 23.6	11.1	5.8
4	年齢:30歳代	344	20.1	△ 4.9	○ 31.4	24.7	○ 24.7	19.8	11.3	16.6	15.1	12.2	△ 4.9
5	年齢:40歳代	435	24.1	△ 9.0	○ 29.0	25.1	○ 23.4	17.9	17.2	11.3	18.2	14.7	9.2
6	年齢:50歳代	368	25.0	19.3	20.1	23.1	20.4	19.8	16.3	13.0	17.7	14.7	12.8
7	年齢:60歳代	434	26.5	○ 30.0	△ 14.7	18.0	△ 12.9	14.7	19.1	15.2	15.9	13.1	○ 18.2
8	年齢:70歳以上	580	26.4	○ 48.1	△ 14.7	17.2	△ 10.5	△ 11.6	17.8	17.2	△ 6.9	16.2	9.5

<性・年代別 2>



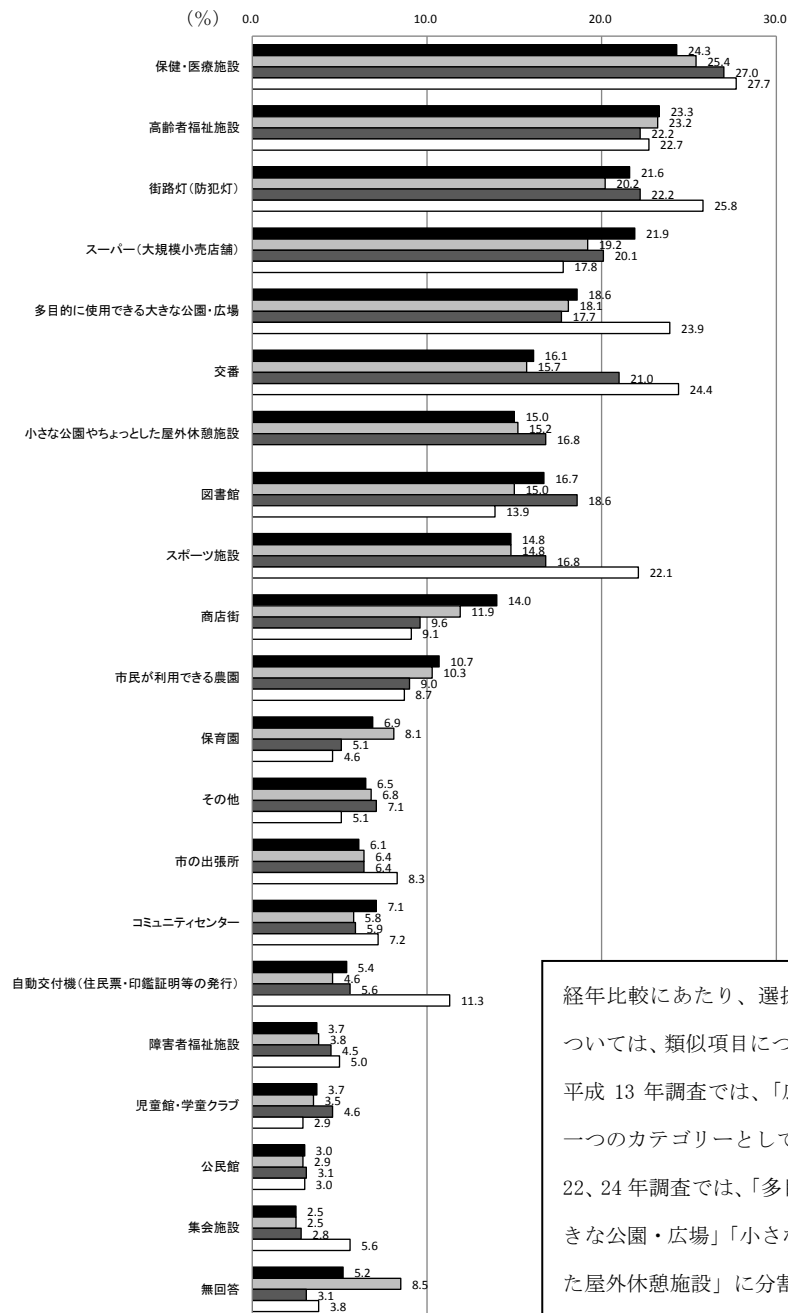
		10 コミュニティセンター	4 保育園	19 市の出張所	18 自動交付機（住民票・印鑑証明等の発行）	5 児童館・学童クラブ	7 障害者福祉施設	1 公民館	9 集会施設	20 その他	21 無回答	
*性別・年齢	n											
0	TOTAL	2,408	7.1	6.9	6.1	5.4	3.7	3.7	3.0	2.5	6.5	5.2
1	性別: 男	989	6.1	6.5	5.4	6.4	2.9	4.7	2.4	2.3	7.0	4.7
2	性別: 女	1,334	7.7	7.3	6.4	4.6	4.3	2.8	3.2	2.5	6.0	4.9
3	年齢: 30歳未満	208	4.8	12.5	2.4	6.3	2.9	1.9	1.0	1.4	8.2	7.2
4	年齢: 30歳代	344	4.1	22.1	4.4	4.7	11.9	2.6	1.5	2.0	6.7	5.2
5	年齢: 40歳代	435	5.7	4.4	5.7	7.1	6.0	0.9	1.4	1.4	10.1	3.2
6	年齢: 50歳代	368	7.3	4.3	5.2	7.3	1.6	3.8	2.2	1.6	4.6	4.9
7	年齢: 60歳代	434	10.4	3.0	5.3	4.6	0.7	5.1	3.2	3.2	5.5	5.3
8	年齢: 70歳以上	580	7.8	2.4	9.3	3.4	0.9	5.9	6.2	3.6	4.5	5.0

<経年比較>

平成 24 年調査では、「保健・医療施設」が 24.3%で最も高くなっているが、平成 22 年調査と比べて 1.1 ポイント少なくなっている。

次いで、平成 24 年調査では、「高齢者福祉施設」が 23.3%で平成 22 年調査と比べ 0.1 ポイント、「街路灯（防犯灯）」が 21.6%で、平成 22 年調査と比べて 1.4 ポイント多くなっている。

■ 平成24年 n=2,408 ■ 平成22年 n=2,626 ■ 平成19年 n=2,418 □ 平成13年n=5,767



経年比較にあたり、選択肢が異なる項目については、類似項目について比較している。平成 13 年調査では、「広場・公園」として一つの 카테고리としてきたが、平成 19、22、24 年調査では、「多目的に使用出来る大きな公園・広場」「小さな公園やちょっとした屋外休憩施設」に分割した。

2. 市政に対して思うことについて

【問9】あなたは、市政全般について、どのようにお考えですか。(〇は1つだけ)

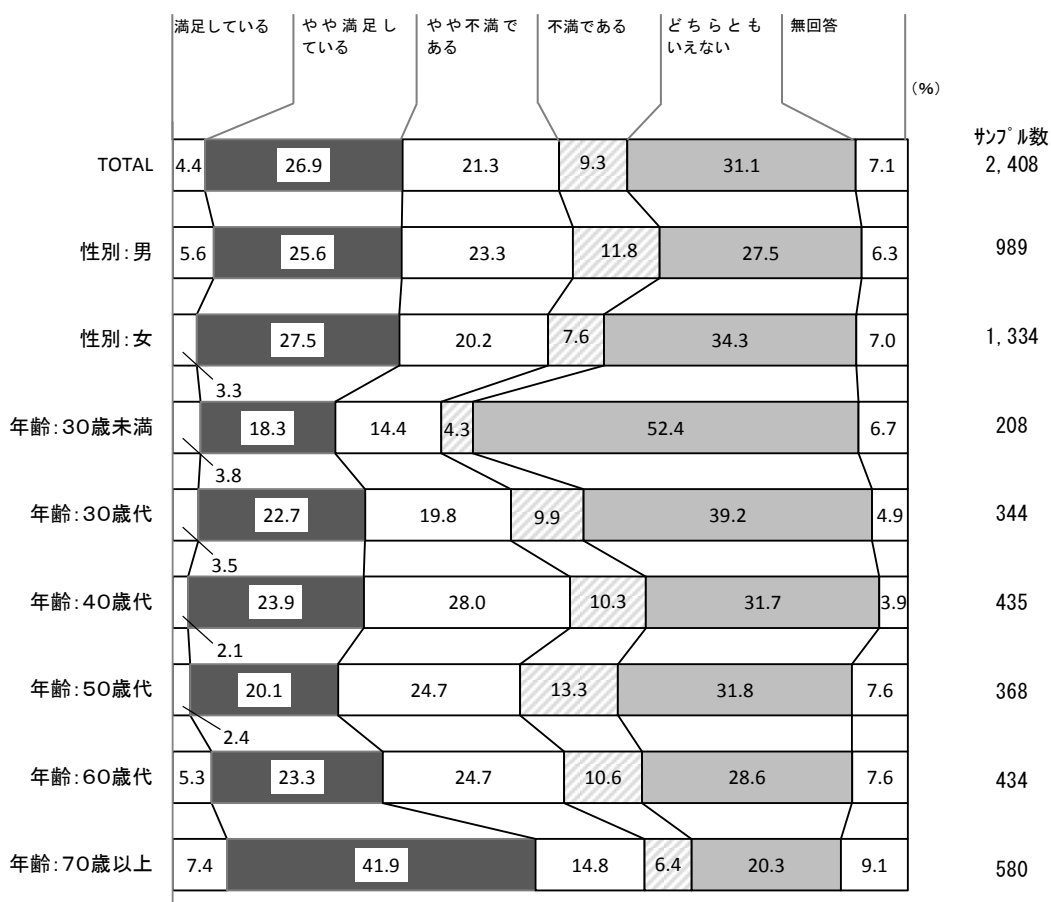
市政全般への評価では、「やや満足している」が26.9%で、「満足している」(4.4%)と合わせると31.3%となっており、「やや不満である」(21.3%)、「不満である」(9.3%)を合わせた30.6%より0.7ポイント高くなっている。

性別で見ると、「男性」のほうが「女性」に比べ、満足している割合が多い(男性は「満足している」(5.6%)「やや満足している」(25.6%)を合わせて31.2%となる。また、女性は「満足している」(3.3%)、「やや満足している」(27.5%)を合わせて30.8%となっている)。

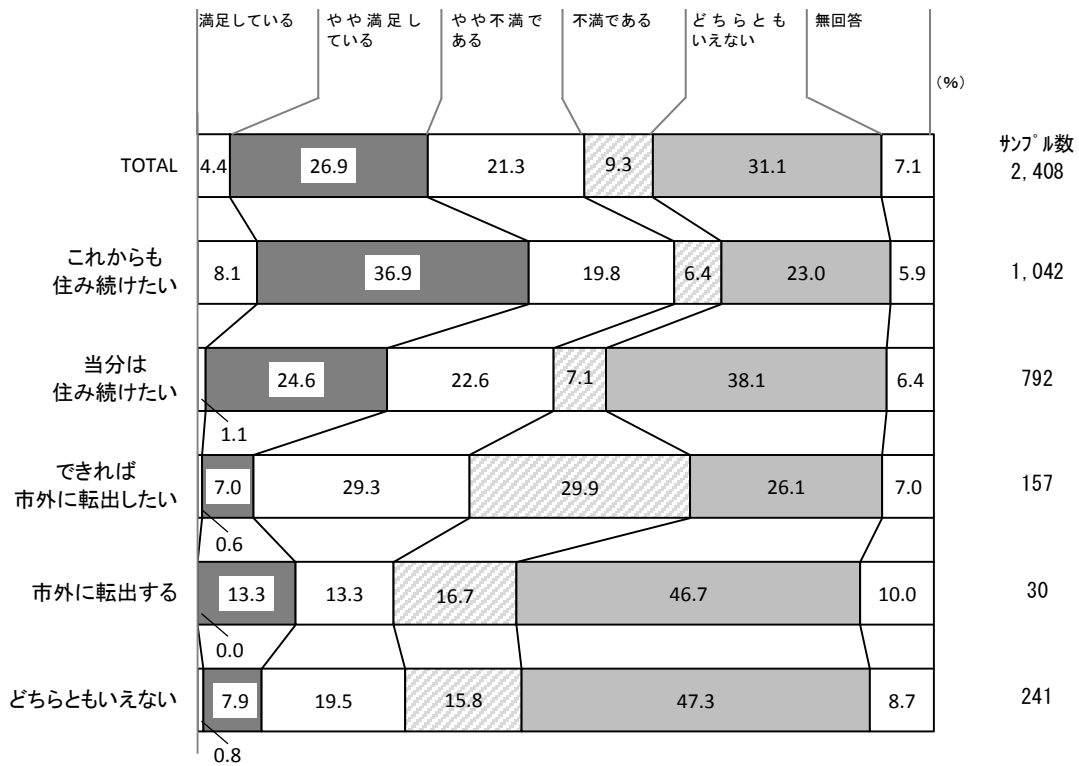
年代別に見ると、年代が高くなるにつれ、満足している割合が多くなっており、70歳以上では「満足している」(7.4%)「やや満足している」(41.9%)を合わせて49.3%となる。

継続居住意向別で見ると、「これからも住み続けたい」と答えた方では、「満足している」(8.1%)、「やや満足している」(36.9%)が最も多く、「できれば市外に転出したい」と答えた方では、「不満である」が29.9%となっている。

<性・年代別>



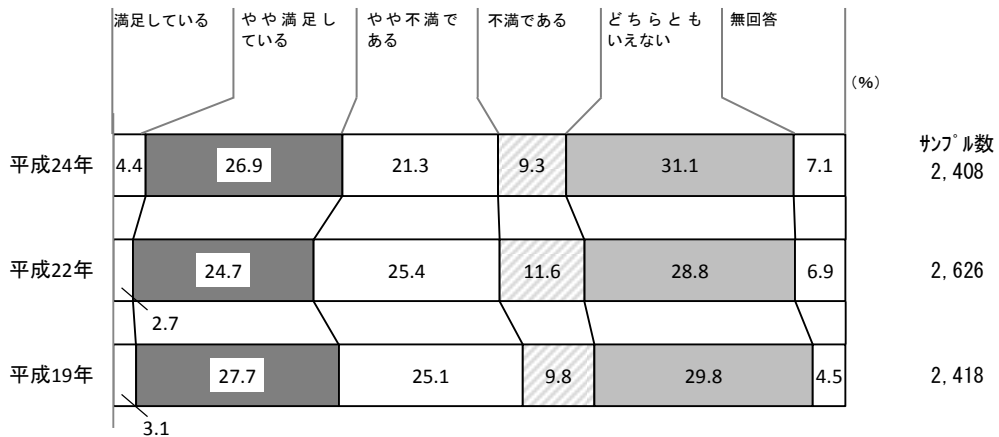
<継続居住意向別>



<経年比較>

平成24年調査では、「満足している」「やや満足している」が合わせて31.3%となっており、平成22年調査（「満足している」「やや満足している」合わせて27.4%）と比べ3.9ポイント多くなっている。

また、平成24年調査では「不満である」「やや不満である」が合わせて30.6%となっており、平成22年調査（「不満である」「やや不満である」合わせて37.0%）と比べ6.4ポイント少なくなっている。



【問 10】あなたは、以下に示した西東京市の市政について「現在の満足度」と「今後の重要度」をどのようにお考えですか。（項目ごと〇は1つずつ）

■分野別

西東京市の市政に対する分野別の「現在の満足度」平均ポイントでは、「芸術文化」が 0.12 ポイントで最も高く、次いで「行政運営」が 0.08 ポイントとなっている。最もポイントが低いのは「まちづくり」の-0.35 ポイントで、第 1 位の「芸術文化」との差は 0.47 ポイントとなっている。

西東京市の市政に対する分野別の「今後の重要度」平均ポイントでは、「まちづくり」が 1.30 ポイントで最も高く、続いて「子ども」「環境」が 1.18 ポイントとなっている。最もポイントが低いのは「市民参加」の 0.57 ポイントで、第 1 位の「まちづくり」との差は 0.73 ポイントとなっている。

「満足度」をY軸に、「重要度」をX軸にとり、各項目の平均ポイントをプロットすると、満足度は中間下よりに、重要度は高い方に集中している。また、「満足度」と「重要度」の別に、全ての項目の平均ポイントを元にC S分析の座標軸を求めると、満足度=-0.10、重要度=1.05となる。

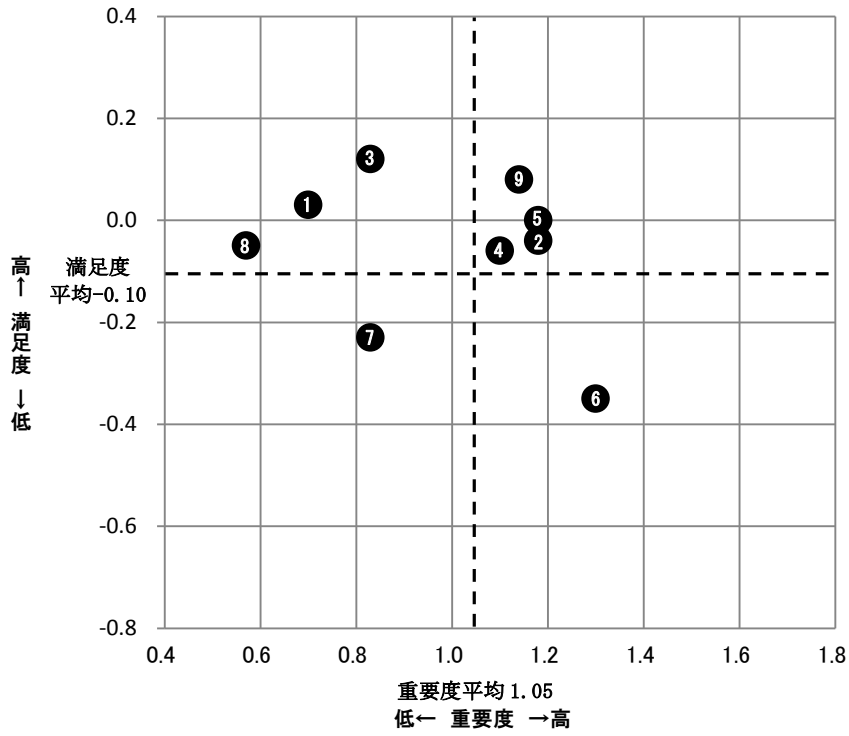
座標軸を元に、各項目間の相対的な関係を4つの方向性（ゾーン）でみると、「重点維持分野」には、「行政運営」「環境」「子ども」「保健福祉」が分類され、「重点改善分野」には、「まちづくり」が分類される。

<平均ポイント順位>

順位	現在の満足度	平均
1	芸術文化	0.12
2	行政運営	0.08
3	社会・平等	0.03
4	環境	0.00
5	子ども	-0.04
6	市民参加	-0.05
7	保健福祉	-0.06
8	産業	-0.23
9	まちづくり	-0.35

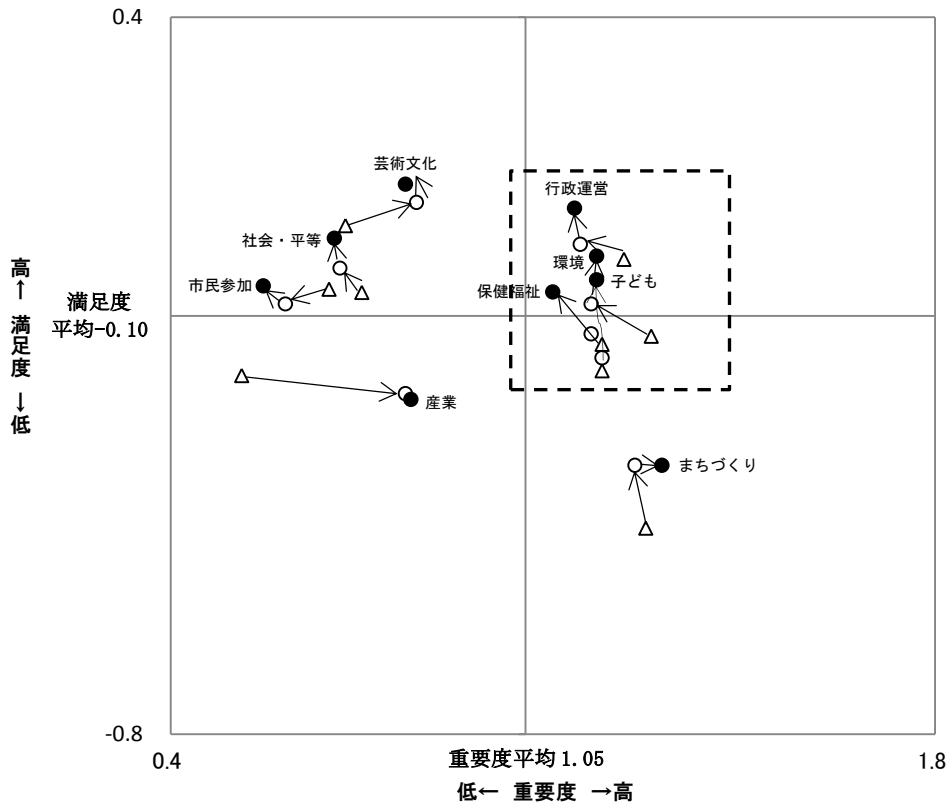
順位	今後の重要度	平均
1	まちづくり	1.30
2	子ども	1.18
2	環境	1.18
4	行政運営	1.14
5	保健福祉	1.10
6	芸術文化	0.83
6	産業	0.83
8	社会・平等	0.70
9	市民参加	0.57

<CS分析>

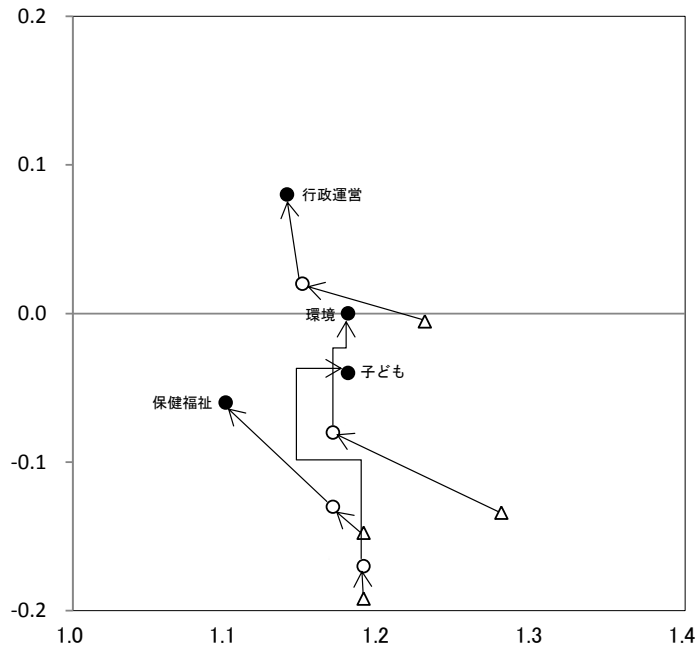


- 1: 社会・平等
- 2: 子ども
- 3: 芸術文化
- 4: 保健福祉
- 5: 環境
- 6: まちづくり
- 7: 産業
- 8: 市民参加
- 9: 行政運営

<CS分析 3カ年比較> ※●は平成24年、○は平成22年、△は平成19年を示す。
 平成24年調査と平成22年調査を比較すると、「産業」を除き満足度については上昇している。
 また、重要度については、「まちづくり」「産業」「環境」の分野において上昇している。



<CS分析2 3カ年比較 点線部拡大図>



■社会・平等

「社会・平等」分野内の「現在の満足度」平均ポイントでは、「平和に関する啓発活動や学習活動の推進」が0.04ポイントで最も高くなっている。「今後の重要度」平均ポイントでは、「人権擁護・教育の推進」が0.98ポイントで最も高くなっている。

CS分析では、「維持分野」に四つの施策全てが分類される。

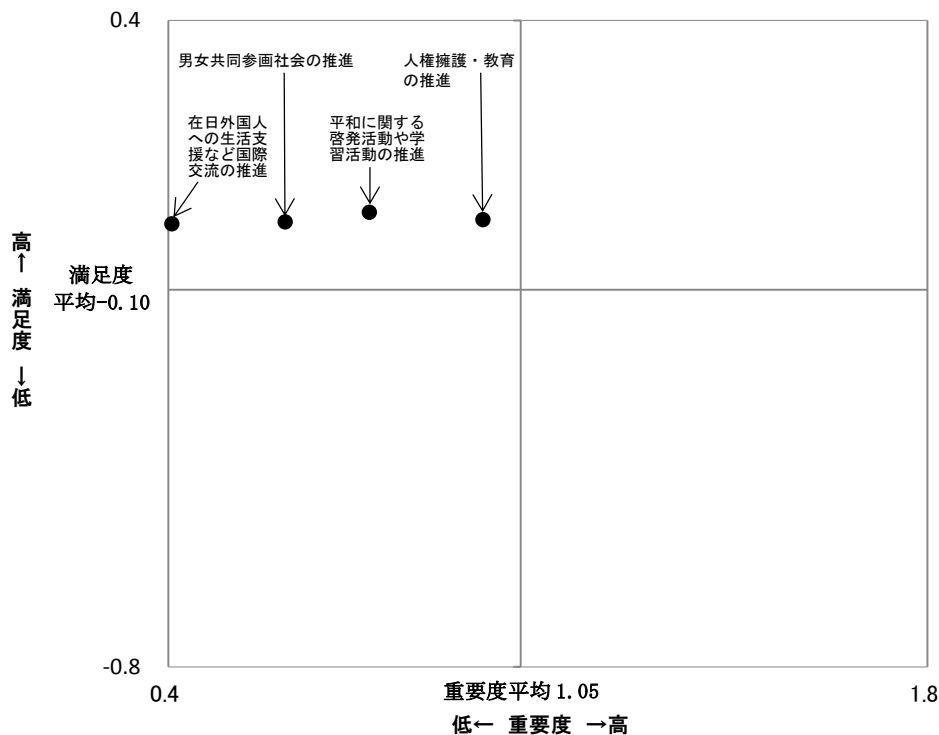
「満足度」の評価については、いずれの項目も「分からない」が50.0%を超えており、「在日外国人への生活支援など国際交流の推進」では68.9%となっている。

<平均ポイント順位>

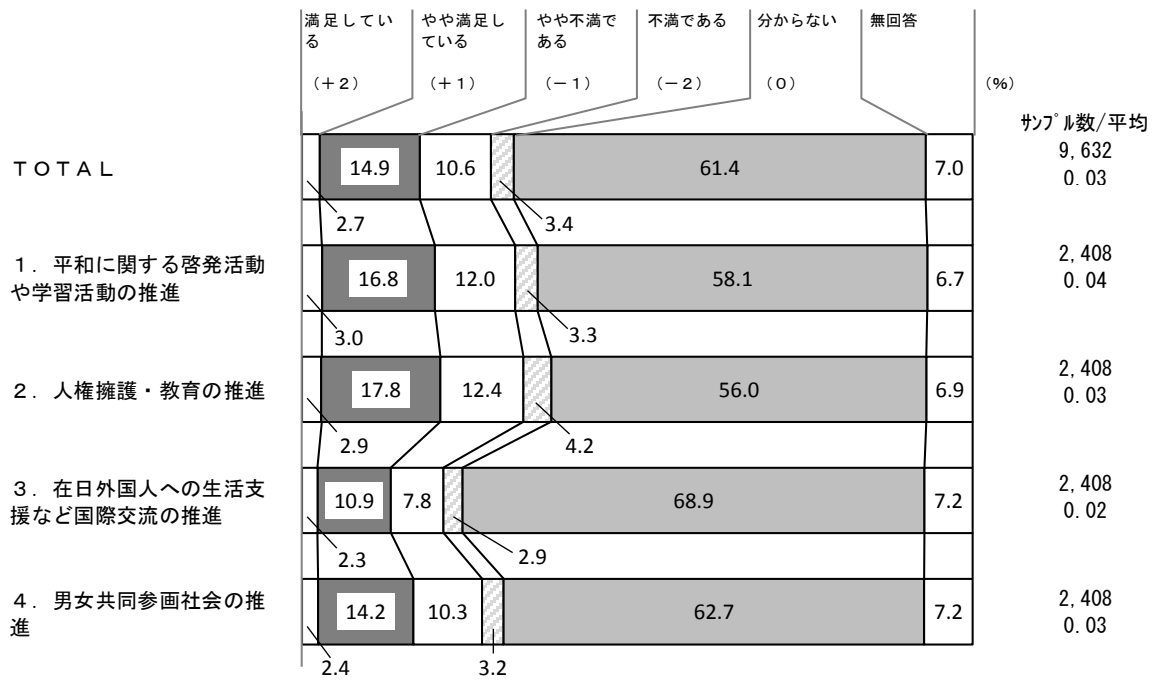
順位	現在の満足度	平均
1	平和に関する啓発活動や学習活動の推進	0.04
2	人権擁護・教育の推進	0.03
2	男女共同参画社会の推進	0.03
4	在日外国人への生活支援など国際交流の推進	0.02

順位	今後の重要度	平均
1	人権擁護・教育の推進	0.98
2	平和に関する啓発活動や学習活動の推進	0.77
3	男女共同参画社会の推進	0.62
4	在日外国人への生活支援など国際交流の推進	0.41

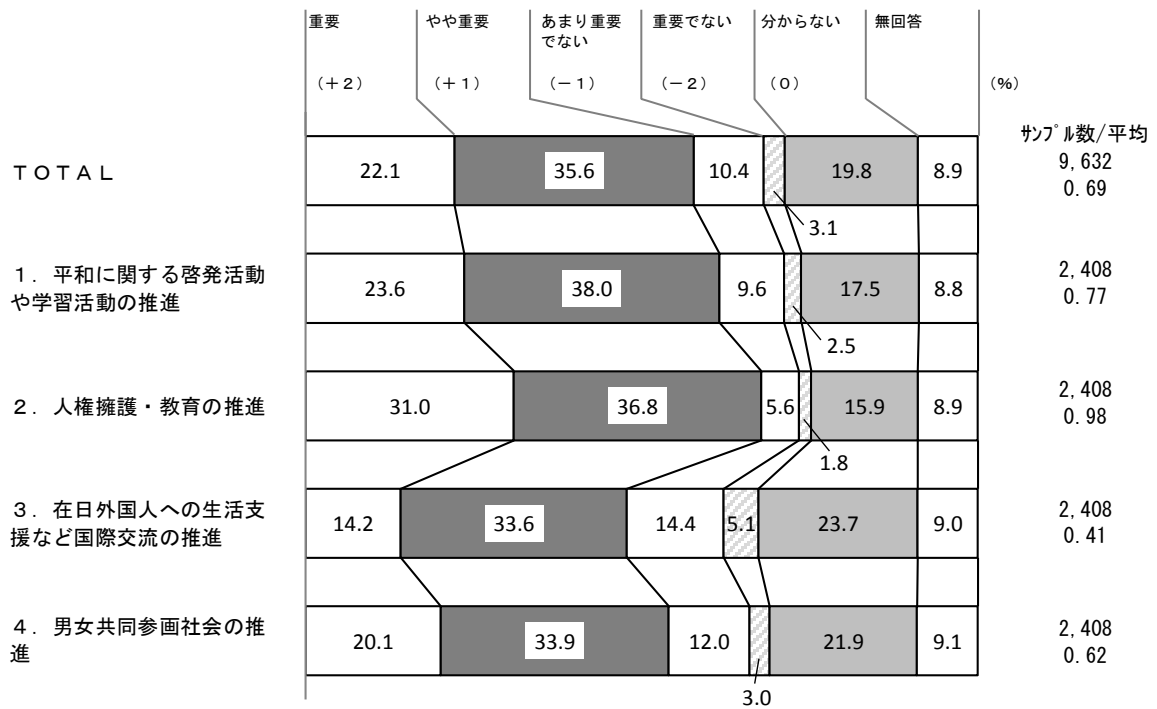
<CS分析>



<満足度>



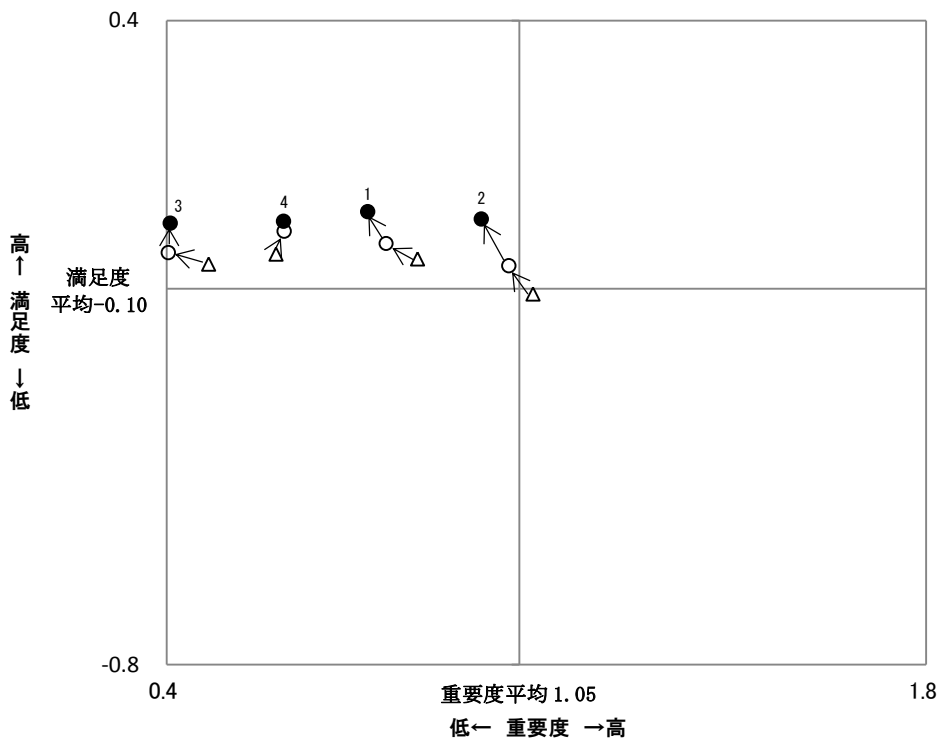
<重要度>



<CS分析 3カ年比較> ※●は平成24年、○は平成22年、△は平成19年を示す。

平成24年調査と平成22年調査を比較すると、満足度については上昇している。

「平和に関する啓発活動や学習活動の推進」は、満足度が-0.02ポイントから0.04ポイントに上昇しているが、重要度は0.80から0.77に下降している。また、「人権擁護・教育の推進」は、満足度が0.06ポイントから0.03ポイントに上昇しているが、重要度は、1.03ポイントから0.98ポイントに下降している。



- 1: 平和に関する啓発活動や学習活動の推進
- 2: 人権擁護・教育の推進
- 3: 在日外国人への生活支援など国際交流の推進
- 4: 男女共同参画社会の推進

■子ども

「子ども」分野内の「現在の満足度」平均ポイントでは、「家庭・地域社会における子どもの権利の尊重」が0.11ポイントで最も高くなっている。「今後の重要度」平均ポイントでは、「市立小・中学校の教育の充実」が1.40ポイントで最も高く、最もポイントの低い「中学校での給食の提供」(0.85)と0.55ポイントの差となっている。

CS分析では、「重点改善分野」に「市立小・中学校の教育の充実」「地域における子どもの居場所づくり」「出産・育児などの子育て支援環境の充実」が分類される。

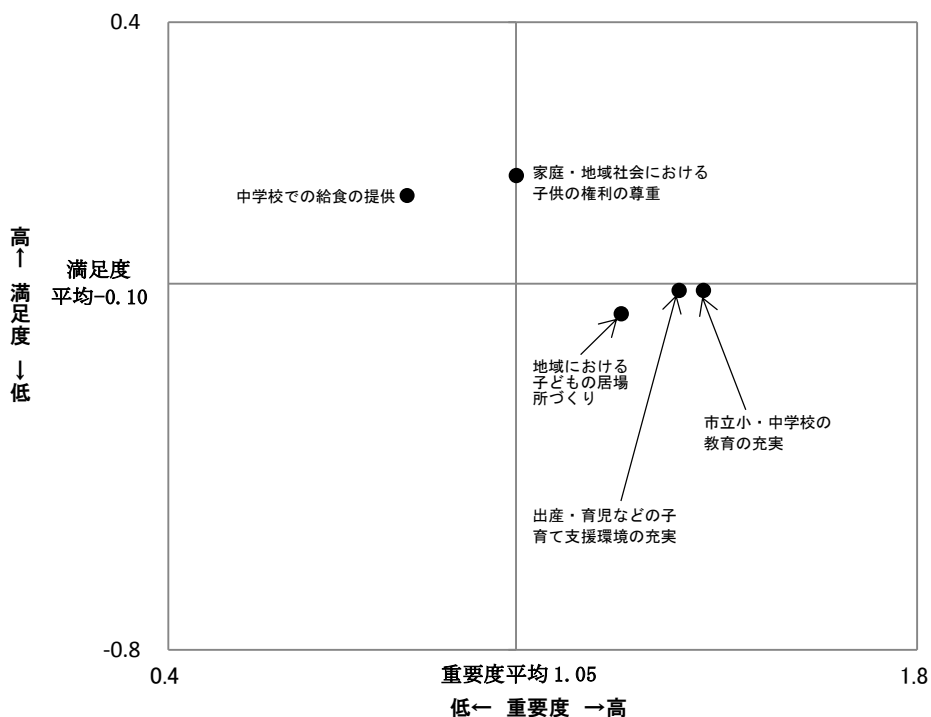
「満足度」の評価については、「家庭・地域社会における子どもの権利の尊重」「中学校での給食の提供」において、「分からない」が50.0%を超えている。

<平均ポイント順位>

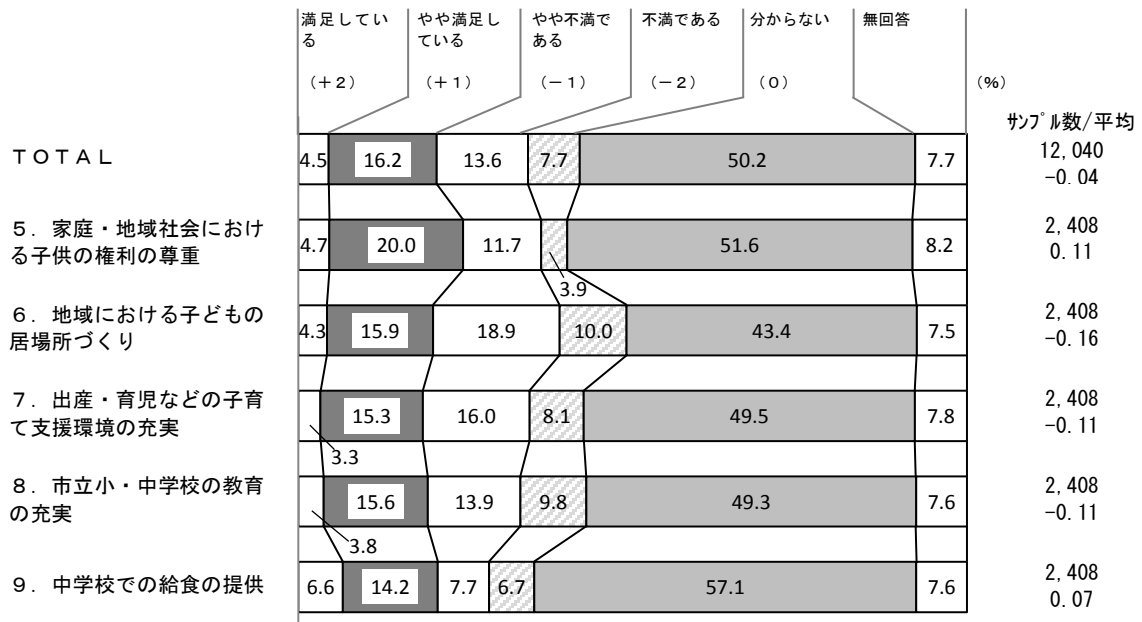
順位	現在の満足度	平均
1	家庭・地域社会における子供の権利の尊重	0.11
2	中学校での給食の提供	0.07
3	出産・育児などの子育て支援環境の充実	-0.11
3	市立小・中学校の教育の充実	-0.11
5	地域における子どもの居場所づくり	-0.16

順位	今後の重要度	平均
1	市立小・中学校の教育の充実	1.40
2	出産・育児などの子育て支援環境の充実	1.36
3	地域における子どもの居場所づくり	1.25
4	家庭・地域社会における子供の権利の尊重	1.05
5	中学校での給食の提供	0.85

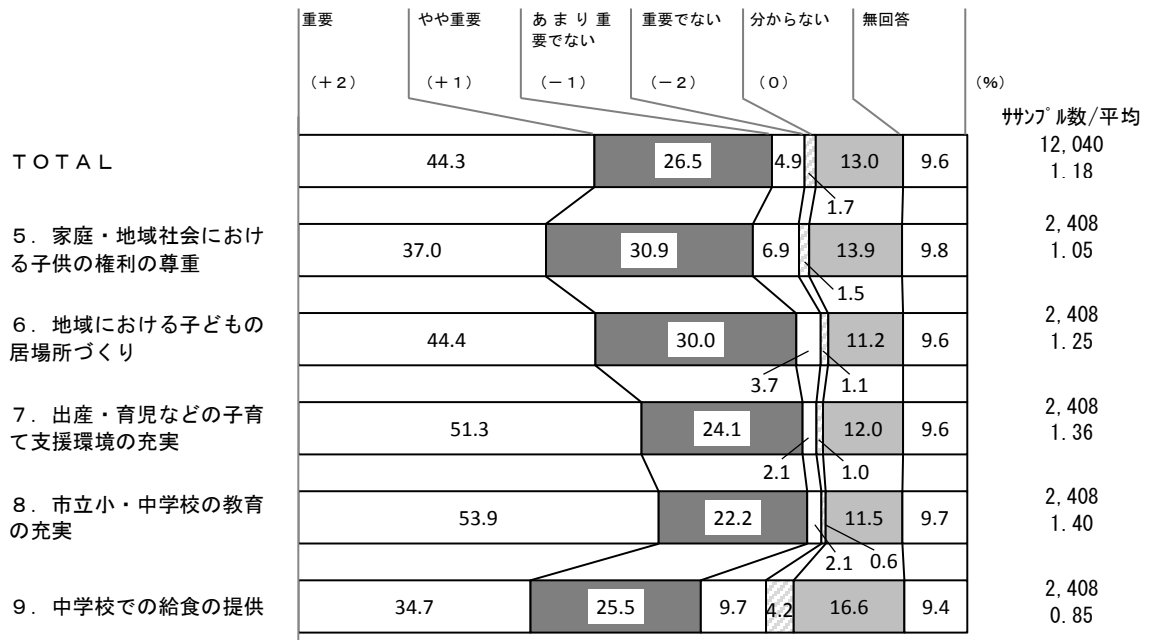
<CS分析>



<満足度>



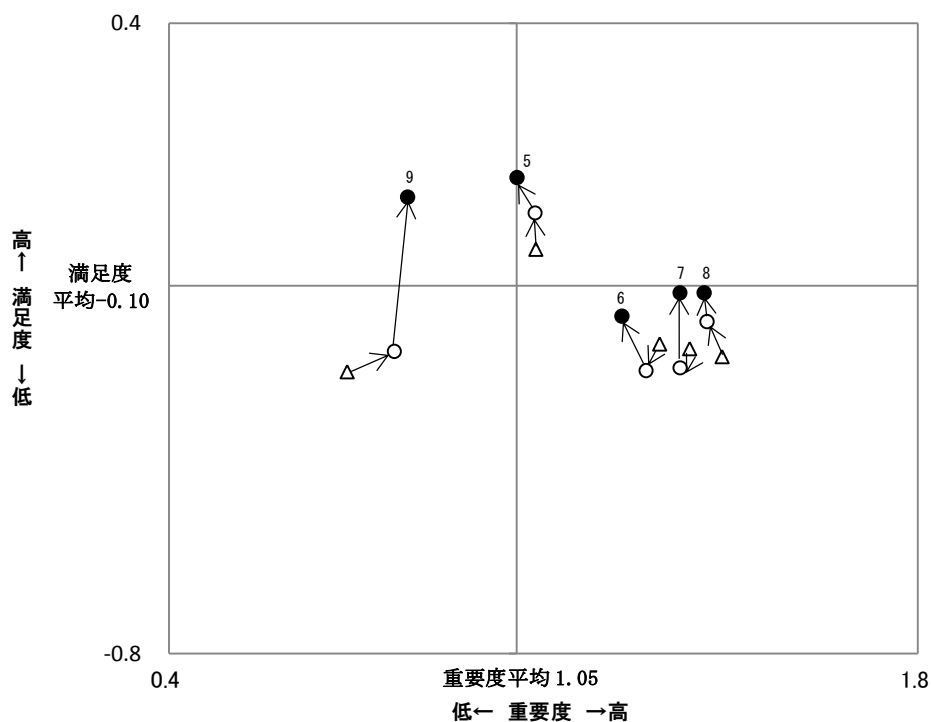
<重要度>



<CS分析 3カ年比較> ※●は平成24年、○は平成22年、△は平成19年を示す。

「中学校での給食の提供」は、満足度が-0.22ポイントから0.07ポイントに、重要度は0.82から0.85に上昇している。

※平成19年調査項目「青少年の健全育成のための社会環境づくり」は平成22年、平成24年調査項目では「地域における子どもの居場所づくり」に修正した。



- 5：家庭・地域社会における子供の権利の尊重
- 6：地域における子どもの居場所づくり
- 7：出産・育児などの子育て支援環境の充実
- 8：市立小・中学校の教育の充実
- 9：中学校での給食の提供

■芸術文化

「芸術文化」分野内の「現在の満足度」平均ポイントでは、「図書館・公民館利用の充実」が0.27ポイントで最も高くなっている。「今後の重要度」平均ポイントにおいても、「図書館・公民館利用の充実」が1.11ポイントで最も高くなっている。

CS分析では、「重点維持分野」に「図書館・公民館利用の充実」が分類され、「維持分野」に「生涯学習活動の充実」「スポーツ活動・イベント機会や施設整備の充実」「市民文化祭などの芸術・文化活動の充実」が分類される。

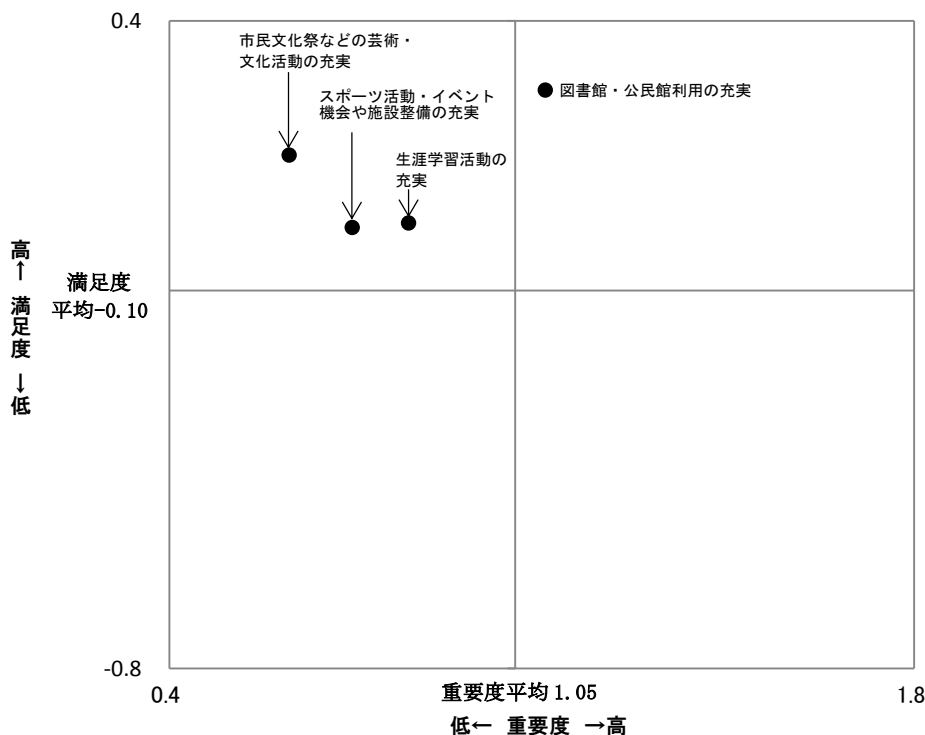
「満足度」の評価については、「図書館・公民館利用の充実」が最も高く、「満足している(10.6%)」「やや満足している(35.8%)」の合計が46.4%となっている。一方、最も低いのは「生涯学習活動の充実」で「満足している(3.8%)」「やや満足している(20.8%)」の合計は24.6%となっている。

<平均ポイント順位>

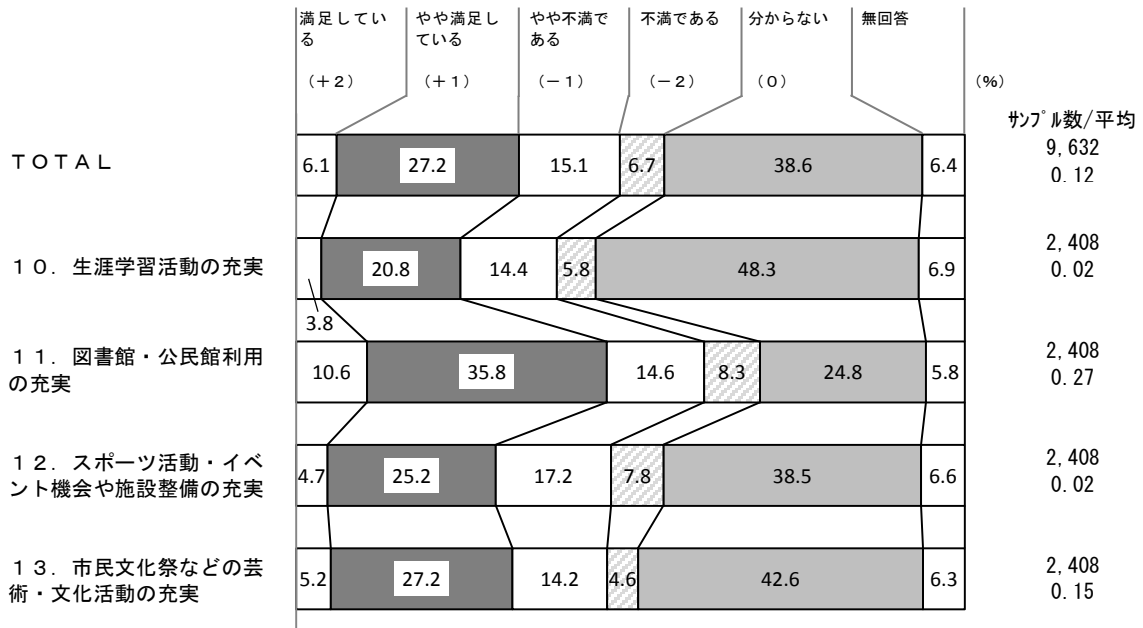
順位	現在の満足度	平均
1	図書館・公民館利用の充実	0.27
2	市民文化祭などの芸術・文化活動の充実	0.15
3	生涯学習活動の充実	0.02
3	スポーツ活動・イベント機会や施設整備の充実	0.02

順位	今後の重要度	平均
1	図書館・公民館利用の充実	1.11
2	生涯学習活動の充実	0.85
3	スポーツ活動・イベント機会や施設整備の充実	0.74
4	市民文化祭などの芸術・文化活動の充実	0.63

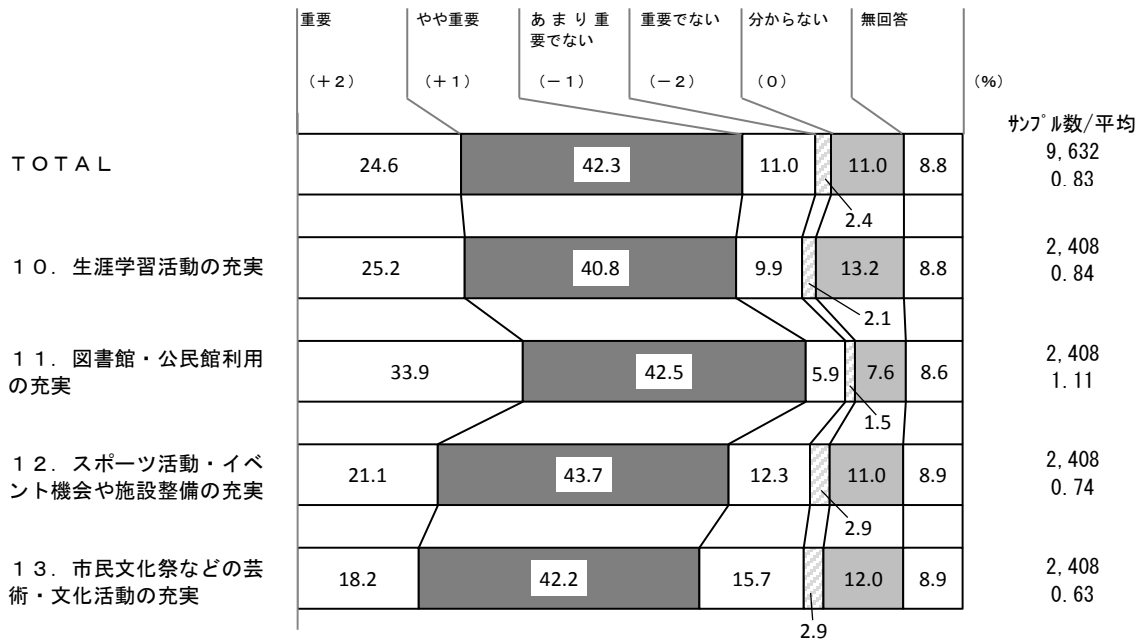
<CS分析>



<満足度>



<重要度>

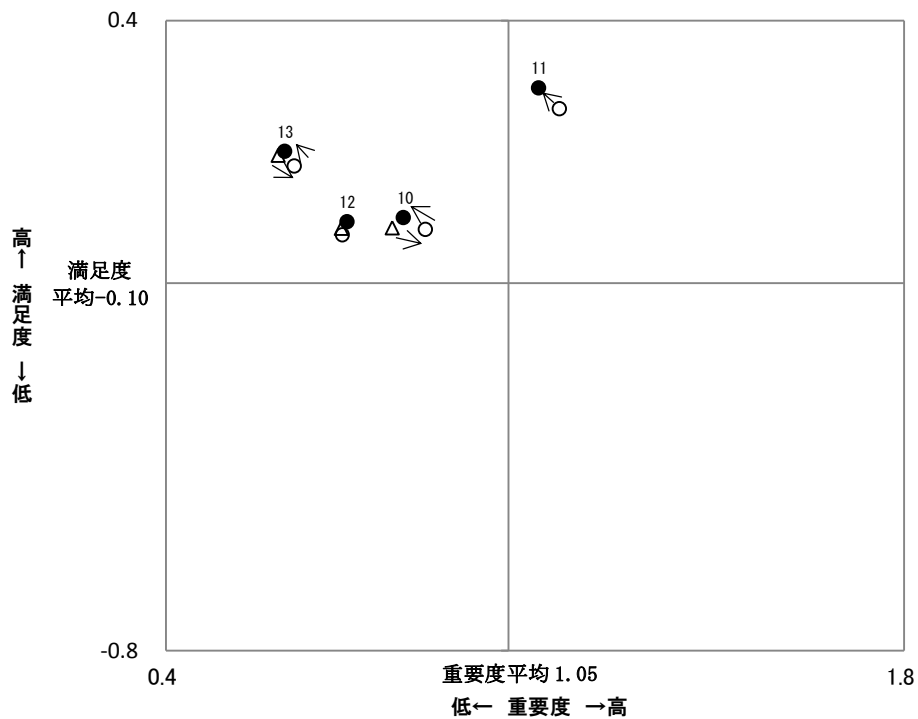


<CS分析 3カ年比較> ※●は平成24年、○は平成22年、△は平成19年を示す。

平成24年調査と平成22年調査を比較すると、満足度については上昇している。

「図書館・公民館利用の充実」は、満足度が0.23ポイントから0.27ポイントに上昇しているが、重要度は1.15ポイントから1.11ポイントに下降している。また、「生涯学習活動の充実」は、満足度が0.00ポイントから0.03ポイントに上昇しているが、重要度は、0.89ポイントから0.85ポイントに下降している。

※「スポーツ活動・イベント機会や施設設備の充実」は平成19年、平成22年、平成24年の数値がほぼ同じであるため重なっているように見える。なお、「図書館・公民館利用の充実」は平成22年新設の設問である。



- 10：生涯学習活動の充実
- 11：図書館・公民館利用の充実
- 12：スポーツ活動・イベント機会や施設整備の充実
- 13：市民文化祭などの芸術・文化活動の充実

■保健福祉

「保健福祉」分野内の「現在の満足度」平均ポイントでは、「健康づくりの支援など保健事業の充実」が0.09ポイントで最も高く、その他の項目はいずれもマイナスポイントとなっている。

「今後の重要度」平均ポイントでは、「地域医療体制の整備」が1.42ポイントで最も高く、最も低い「団塊の世代や高齢者の生きがいがづくりの充実」（0.88ポイント）との差は0.54ポイントとなっている。

CS分析では、「重点維持分野」に「介護予防・サービスなどの高齢者福祉の充実」「地域生活支援などの障害者福祉の充実」が分類され、「重点改善分野」に「地域医療体制の整備」「社会保障制度の運営」が分類される。

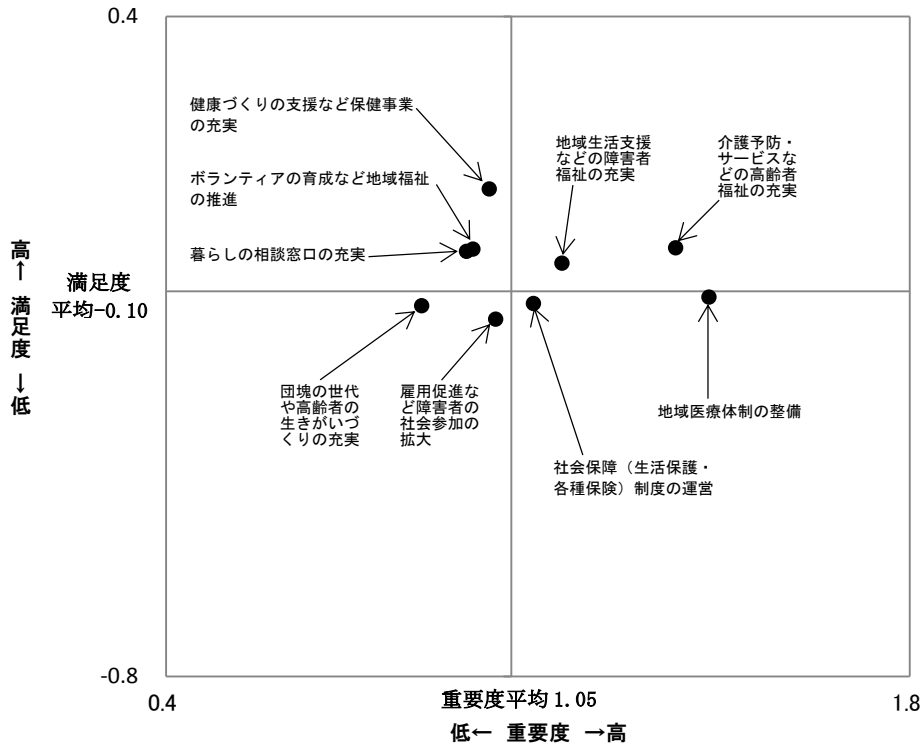
「満足度」の評価については、「健康づくりの支援など保健事業の充実」「地域医療体制の整備」以外の項目において、「分からない」が50.0%を超えている。「重要度」の評価については、「地域医療体制の整備」が52.4%で最も高くなっている。

<平均ポイント順位>

順位	現在の満足度	平均
1	健康づくりの支援など保健事業の充実	0.09
2	ボランティアの育成など地域福祉の推進	-0.02
2	介護予防・サービスなどの高齢者福祉の充実	-0.02
4	暮らしの相談窓口の充実	-0.03
5	地域生活支援などの障害者福祉の充実	-0.05
6	地域医療体制の整備	-0.11
7	社会保障(生活保護・各種保険)制度の運営	-0.12
8	団塊の世代や高齢者の生きがいがづくりの充実	-0.13
9	雇用促進など障害者の社会参加の拡大	-0.15

順位	今後の重要度	平均
1	地域医療体制の整備	1.42
2	介護予防・サービスなどの高齢者福祉の充実	1.36
3	地域生活支援などの障害者福祉の充実	1.15
4	社会保障(生活保護・各種保険)制度の運営	1.09
5	雇用促進など障害者の社会参加の拡大	1.02
6	健康づくりの支援など保健事業の充実	1.01
7	ボランティアの育成など地域福祉の推進	0.98
8	暮らしの相談窓口の充実	0.97
9	団塊の世代や高齢者の生きがいがづくりの充実	0.88

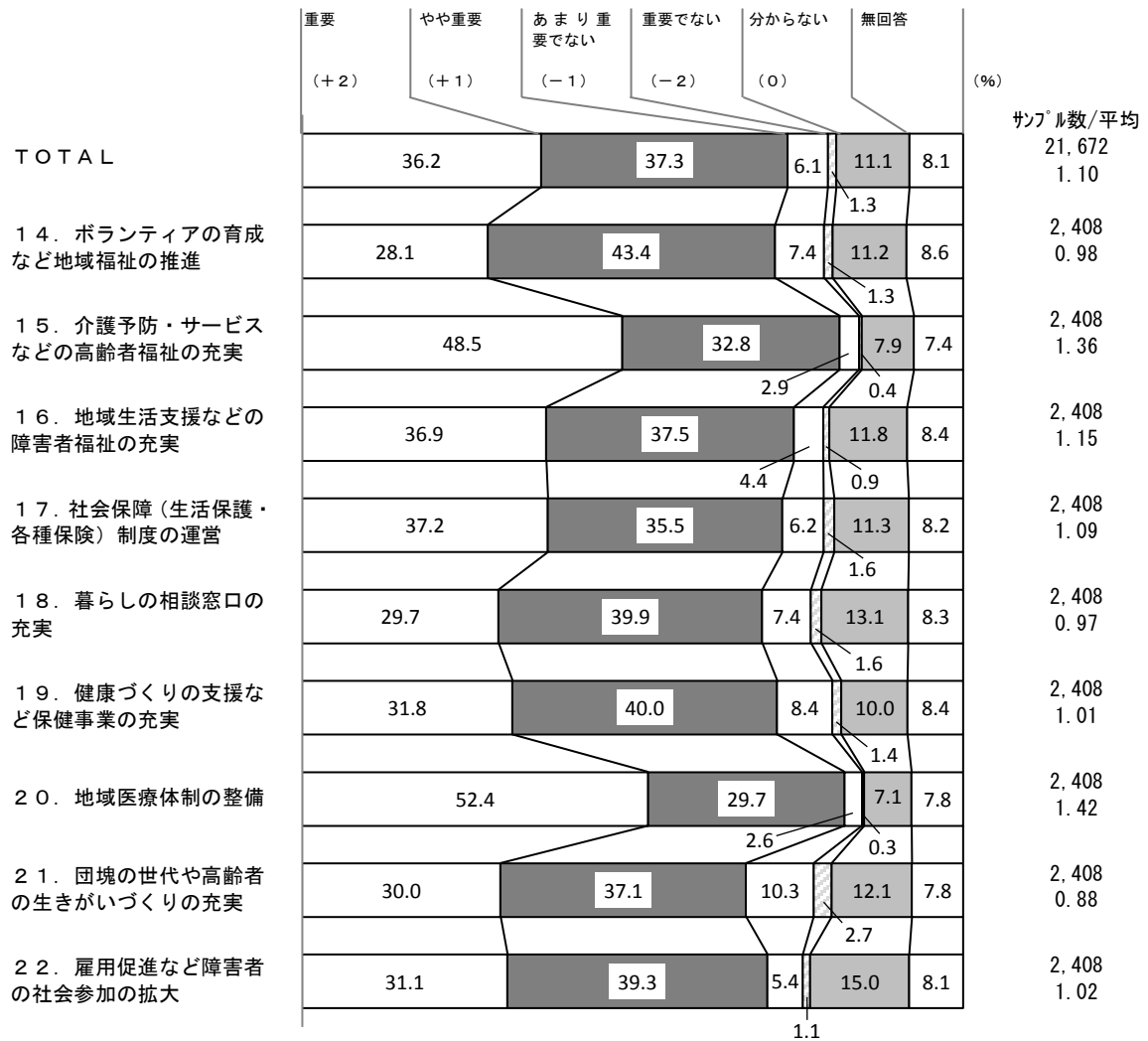
<CS分析>



<満足度>

	満足している (+2)	やや満足している (+1)	やや不満である (-1)	不満である (-2)	分からない (0)	無回答	(%)	サンプル数/平均
TOTAL	15.4	14.1	6.1	55.5	6.2			21,672 -0.06
14. ボランティアの育成 など地域福祉の推進	15.3	14.1	6.1	58.1	6.4			2,408 -0.02
15. 介護予防・サービス などの高齢者福祉の充実	18.1	15.0	6.2	51.2	5.8			2,408 -0.02
16. 地域生活支援などの 障害者福祉の充実	13.5	12.3	5.1	60.3	6.4			2,408 -0.05
17. 社会保障（生活保護・ 各種保険）制度の運営	13.6	12.8	8.6	56.6	6.0			2,408 -0.12
18. 暮らしの相談窓口の 充実	16.0	12.9	5.3	57.1	6.4			2,408 -0.03
19. 健康づくりの支援など 保健事業の充実	22.8	14.3	4.2	48.5	6.3			2,408 0.09
20. 地域医療体制の整備	20.1	18.8	9.2	42.2	6.4			2,408 -0.11
21. 団塊の世代や高齢者の 生きがいづくりの充実	11.6	14.4	6.8	59.1	5.9			2,408 -0.13
22. 雇用促進など障害者の 社会参加の拡大	7.6	12.3	5.9	66.8	6.2			2,408 -0.15

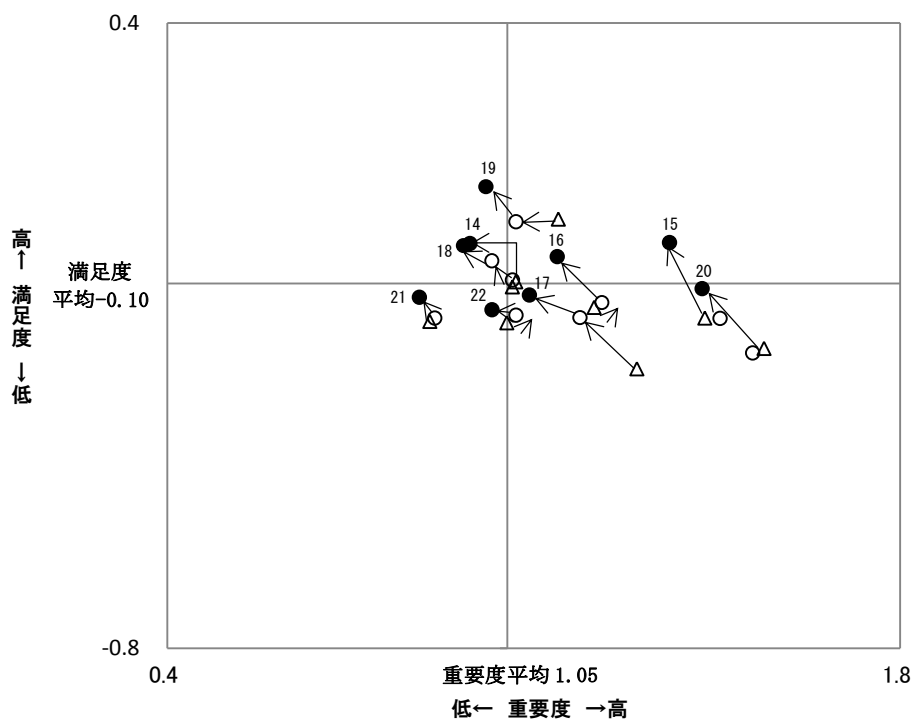
<重要度>



<CS分析 3カ年比較> ※●は平成24年、○は平成22年、△は平成19年を示す。

平成24年調査と平成22年調査を比較すると、全体的に満足度は上昇しているが、重要度は下降している傾向がある。「介護予防・サービスなどの高齢者福祉の充実」は満足度が-0.17ポイントから-0.02ポイントに上昇しているが、重要度が1.46ポイントから1.36ポイントに下降している。「地域医療体制の整備」は満足度が-0.23ポイントから-0.11ポイントに上昇しているが、重要度が1.52ポイントから1.42ポイントに下降している。

※「ボランティアの育成など地域福祉の推進」は平成19年と平成22年の数値がほぼ同じであるため重なっているように見える。



- 14：ボランティアの育成など地域福祉の推進
- 15：介護予防・サービスなどの高齢者福祉の充実
- 16：地域生活支援などの障害者福祉の充実
- 17：社会保障（生活保護・各種保険）制度の運営
- 18：暮らしの相談窓口の充実
- 19：健康づくりの支援など保健事業の充実
- 20：地域医療体制の整備
- 21：団塊の世代や高齢者の生きがいくりの充実
- 22：雇用促進など障害者の社会参加の拡大

■環境

「環境」分野内の「現在の満足度」平均ポイントでは、「ごみの減量化やリサイクルの推進」が0.33ポイントで最も高くなっている。「今後の重要度」平均ポイントでも、「ごみの減量化やリサイクルの推進」が1.46ポイントで最も高くなっている。

CS分析では、「重点維持分野」に「公園・緑地などの保全・活用」「公園の整備や道路・公共施設の緑化推進」「ごみの減量化やリサイクルの推進」「環境汚染の防止など公害対策の推進」が分類され、「重点改善分野」に「省資源・省エネルギーの啓発」「太陽光など自然エネルギーの活用」が分類される。

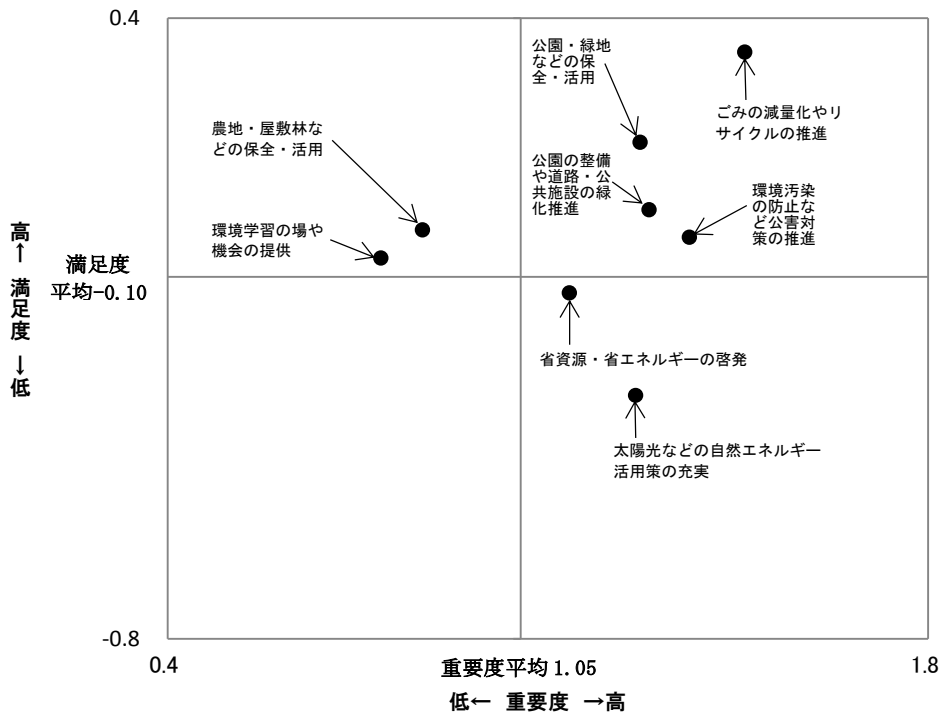
「満足度」の評価については、「太陽光など自然エネルギーの活用」「省資源・省エネルギー」「環境学習の場や機会の提供」で、「分からない」が50.0%を超えている。

<平均ポイント順位>

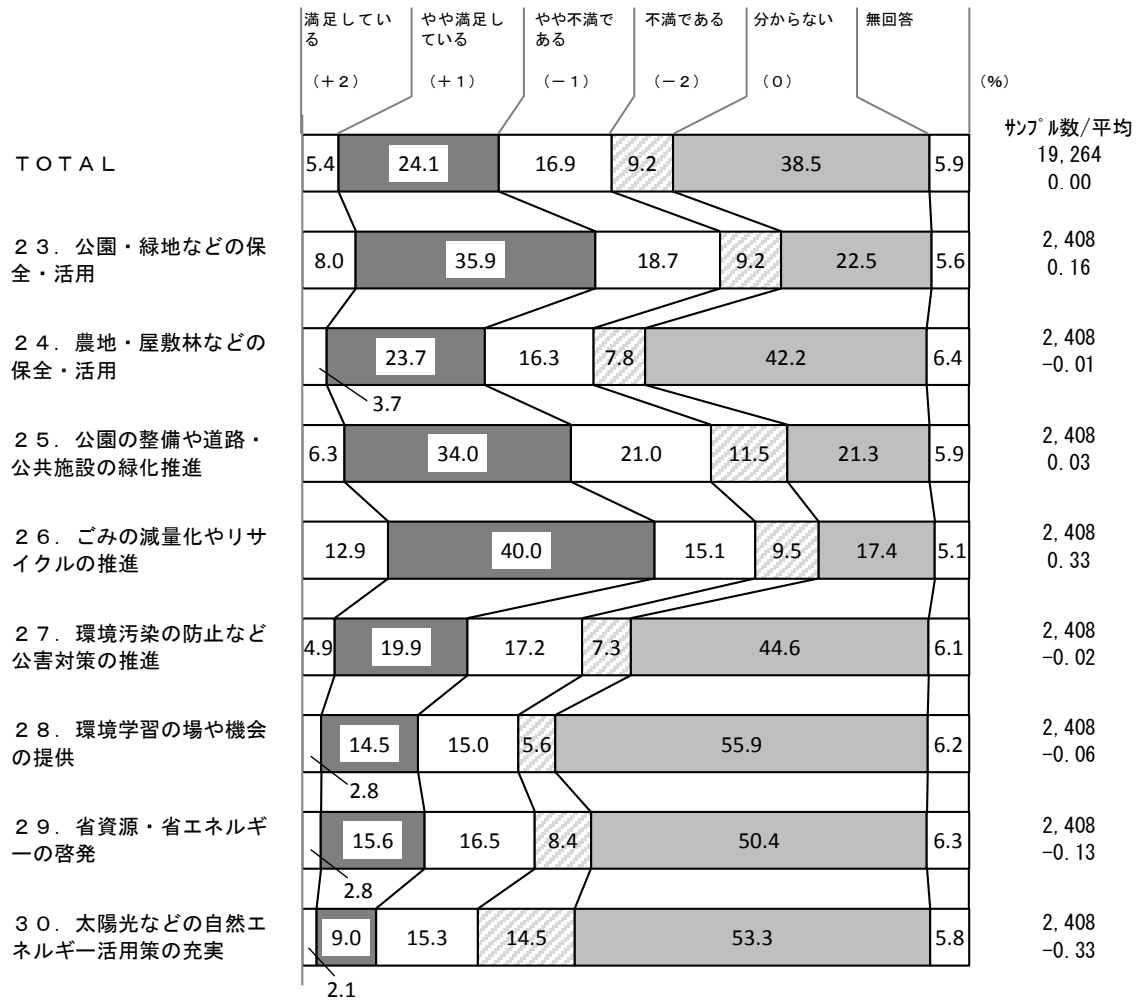
順位	現在の満足度	平均
1	ごみの減量化やリサイクルの推進	0.33
2	公園・緑地などの保全・活用	0.16
3	公園の整備や道路・公共施設の緑化推進	0.03
4	農地・屋敷林などの保全・活用	-0.01
5	環境汚染の防止など公害対策の推進	-0.02
6	環境学習の場や機会の提供	-0.06
7	省資源・省エネルギーの啓発	-0.13
8	太陽光などの自然エネルギー活用策の充実	-0.33

順位	今後の重要度	平均
1	ごみの減量化やリサイクルの推進	1.46
2	環境汚染の防止など公害対策の推進	1.36
3	公園の整備や道路・公共施設の緑化推進	1.29
4	公園・緑地などの保全・活用	1.27
5	太陽光などの自然エネルギー活用策の充実	1.26
6	省資源・省エネルギーの啓発	1.14
7	農地・屋敷林などの保全・活用	0.87
8	環境学習の場や機会の提供	0.79

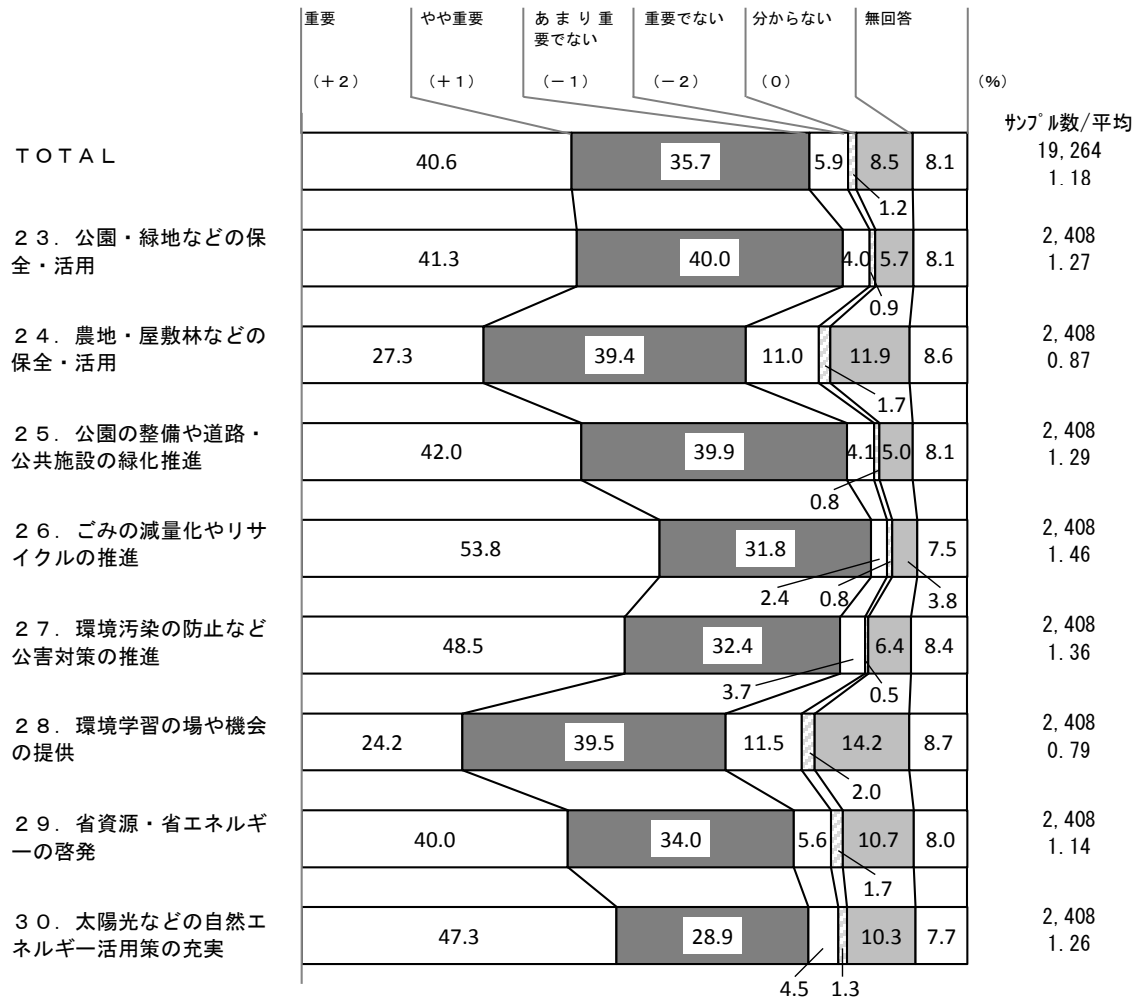
<CS分析>



<満足度>



<重要度>

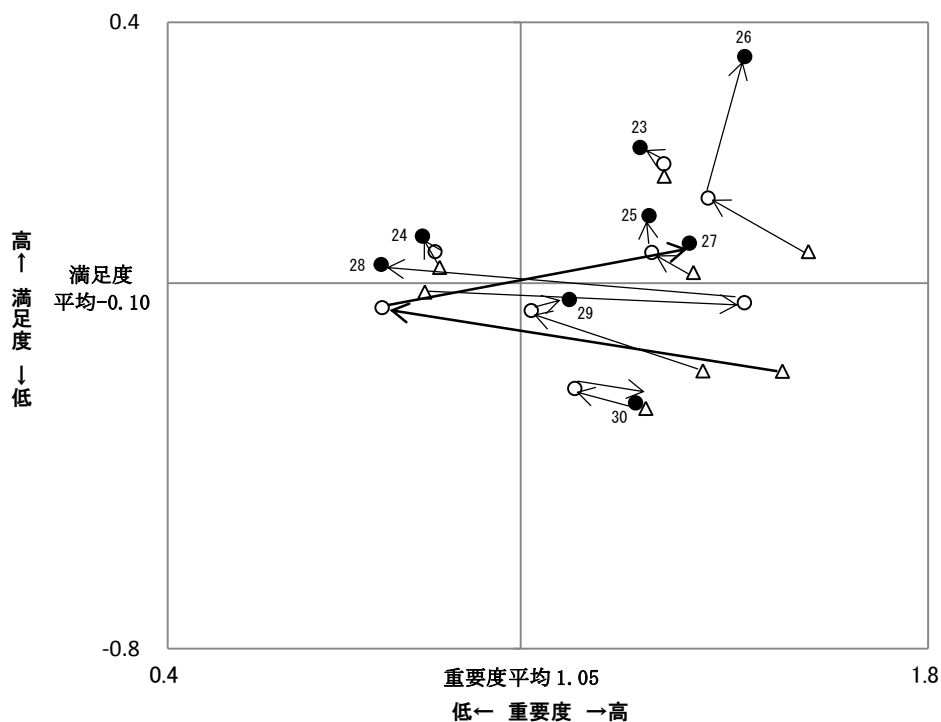


<CS分析 3ヵ年比較> ※●は平成24年、○は平成22年、△は平成19年を示す。

平成24年調査と平成22年調査を比較すると、全体的に満足度は上昇している傾向がある。

「ごみの減量化やリサイクルの推進」は満足度が0.06ポイントから0.33ポイントに上昇し、重要度は1.39ポイントから1.46ポイントに上昇している。

「環境汚染の防止など公害対策の推進」は平成22年調査において重要度が大きく下降したが、平成24年調査においては0.79ポイントから1.36ポイントへ大きく上昇している。一方、「環境学習の場や機会の提供」は平成22年調査において大きく上昇した重要度が、平成24年調査において1.46ポイントから0.79ポイントへ大きく下降している。



- 23：公園・緑地などの保全・活用
- 24：農地・屋敷林などの保全・活用
- 25：公園の整備や道路・公共施設の緑化推進
- 26：ごみの減量化やリサイクルの推進
- 27：環境汚染の防止など公害対策の推進
- 28：環境学習の場や機会の提供
- 29：省資源・省エネルギーの啓発
- 30：太陽光などの自然エネルギー活用策の充実

■まちづくり

「まちづくり」分野内の「現在の満足度」平均ポイントでは、「下水道事業の円滑な推進」が0.20ポイントで最も高くなっており、唯一のプラスポイントとなっている。「今後の重要度」平均ポイントでは、「大規模地震の防災対策」が1.64ポイントで最も高くなっており、最も低い「公共住宅の維持整備」(0.46ポイント)との差は1.18ポイントとなっている。

CS分析では、「重点改善分野」に「段差解消などの歩きやすい道の整備」「円滑な車両交通のための幹線・生活道路の整備」「自転車の利用しやすいまちづくり」「大規模地震の防災対策」「集中豪雨時のいっ水対策」「地域パトロール強化などの防犯対策」「快適で安全な駅周辺の整備」「緊急事態発生時の市の危機管理体制の強化」が分類される。

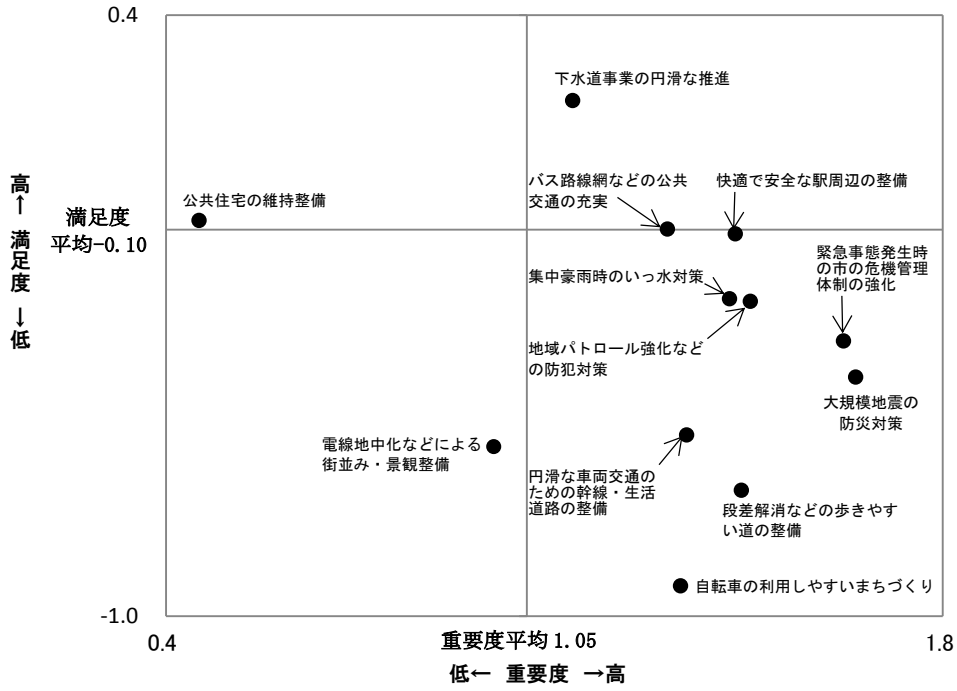
「満足度」の評価については、「分からない」が「公共住宅の維持整備」で57.3%、「緊急事態発生時の市の危機管理体制の強化」で51.5%といずれも50%を越えている。また、「重要度」の評価については、「公共住宅の維持整備」で「重要」「やや重要」の合計が平均ポイントを大きく下回っている。

<平均ポイント順位>

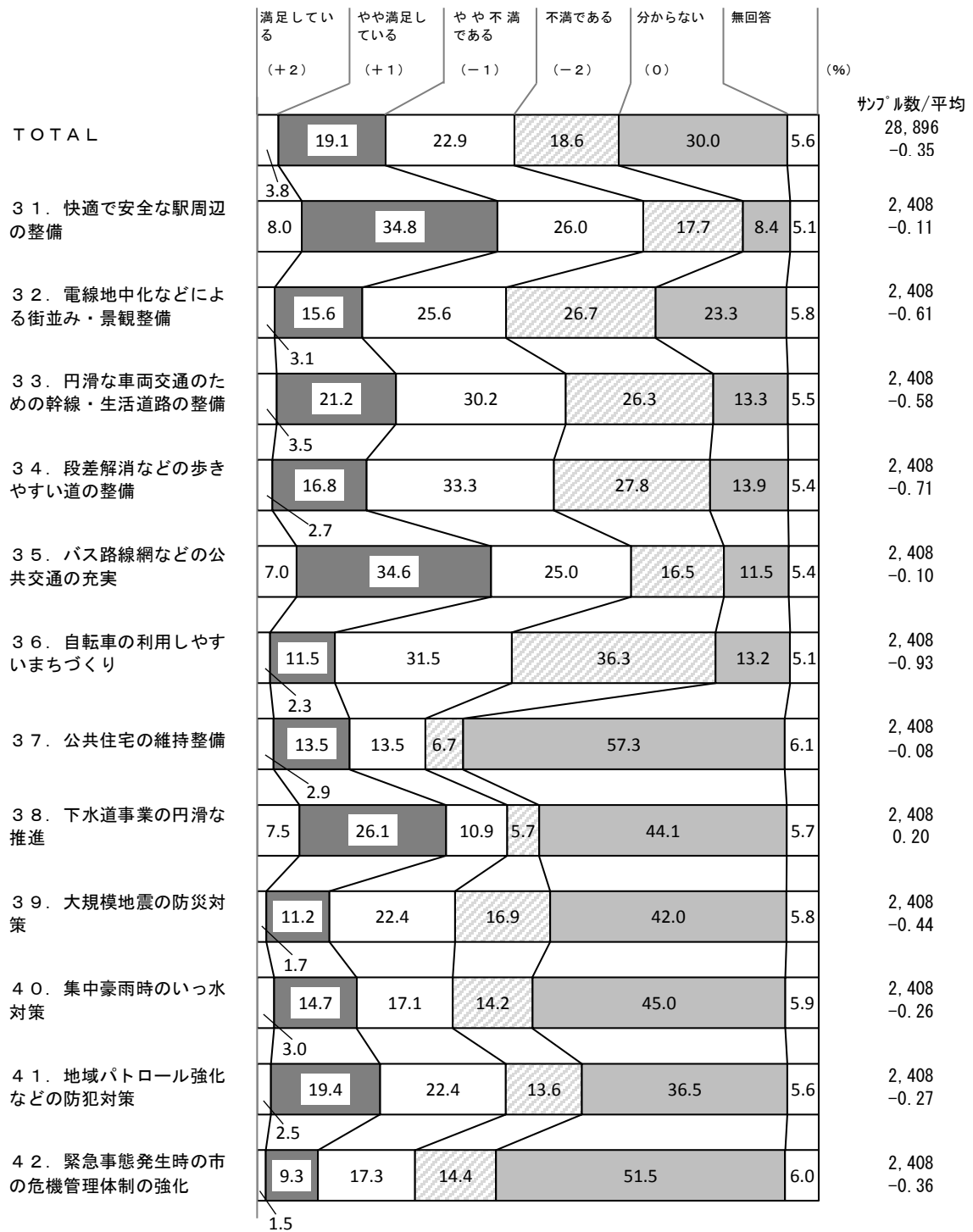
順位	現在の満足度	平均
1	下水道事業の円滑な推進	0.20
2	公共住宅の維持整備	-0.08
3	バス路線網などの公共交通の充実	-0.10
4	快適で安全な駅周辺の整備	-0.11
5	集中豪雨時のいっ水対策	-0.26
6	地域パトロール強化などの防犯対策	-0.27
7	緊急事態発生時の市の危機管理体制の強化	-0.36
8	大規模地震の防災対策	-0.44
9	円滑な車両交通のための幹線・生活道路の整備	-0.58
10	電線地中化などによる街並み・景観整備	-0.61
11	段差解消などの歩きやすい道の整備	-0.71
12	自転車の利用しやすいまちづくり	-0.93

順位	今後の重要度	平均
1	大規模地震の防災対策	1.64
2	緊急事態発生時の市の危機管理体制の強化	1.62
3	地域パトロール強化などの防犯対策	1.45
4	段差解消などの歩きやすい道の整備	1.44
5	快適で安全な駅周辺の整備	1.43
6	集中豪雨時のいっ水対策	1.42
7	円滑な車両交通のための幹線・生活道路の整備	1.34
8	自転車の利用しやすいまちづくり	1.33
9	バス路線網などの公共交通の充実	1.30
10	下水道事業の円滑な推進	1.13
11	電線地中化などによる街並み・景観整備	0.99
12	公共住宅の維持整備	0.46

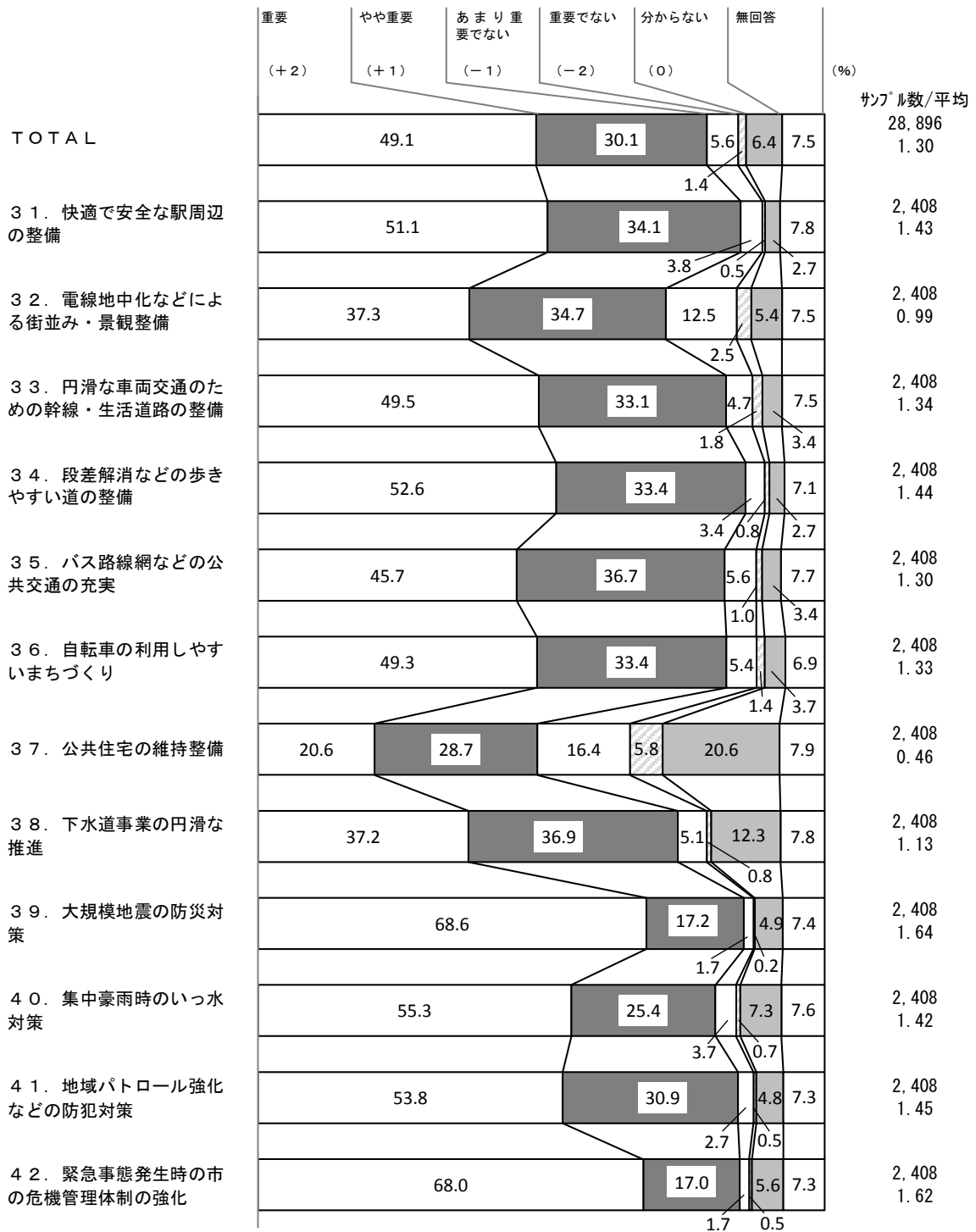
<CS分析>



<満足度>



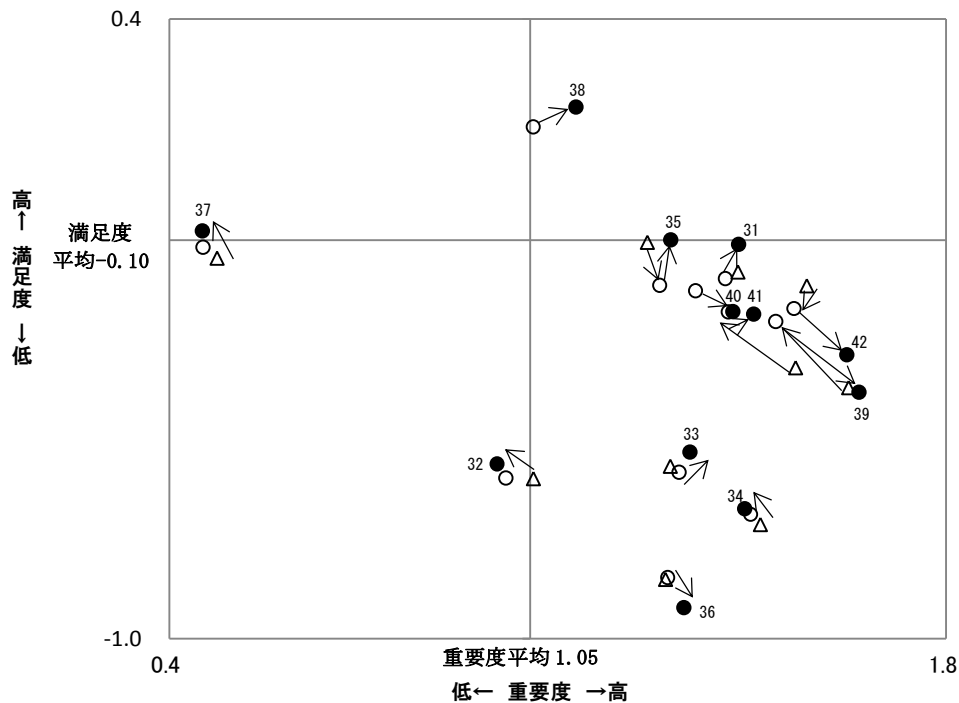
<重要度>



＜CS分析 3カ年比較＞ ※●は平成24年、○は平成22年、△は平成19年を示す。

平成24年調査と平成22年調査を比較すると、「大規模地震の防災対策」は満足度が-0.28ポイントから-0.44ポイントに下降し、重要度は1.49ポイントから1.64ポイントに上昇している。同様に、「緊急事態発生時の市の危機管理体制の強化」も満足度が-0.25ポイントから-0.36ポイントに下降し、重要度は1.53ポイントから1.64ポイントに上昇している。

※「下水道事業の円滑な推進」は平成22年新設の設問である。平成19年調査での「大規模地震、集中豪雨等の防災対策」という設問は、平成22年に「大規模地震の防災対策」「集中豪雨時のいっ水対策」に分割した。また、「緊急事態発生時の市の危機管理体制の強化」は「行政運営」の領域から「まちづくり」の領域へ移動した。



- 31：快適で安全な駅周辺の整備
- 32：電線地中化などによる街並み・景観整備
- 33：円滑な車両交通のための幹線・生活道路の整備
- 34：段差解消などの歩きやすい道の整備
- 35：バス路線網などの公共交通の充実
- 36：自転車の利用しやすいまちづくり
- 37：公共住宅の維持整備
- 38：下水道事業の円滑な推進
- 39：大規模地震の防災対策
- 40：集中豪雨時のいっ水対策
- 41：地域パトロール強化などの防犯対策
- 42：緊急事態発生時の市の危機管理体制の強化

■産業

「産業」分野内の「現在の満足度」平均ポイントでは、「地産地消の促進などによる農業の振興」が-0.06ポイントで最も高くなっている。「今後の重要度」平均ポイントでは「就職機会の提供など地域労働環境の向上支援」が0.94ポイントで最も高いが、いずれも平均ポイントを下回っている。

CS分析では、「維持分野」に「地産地消の促進などによる農業の振興」が分類され、その他の項目は「改善分野」に分類される。

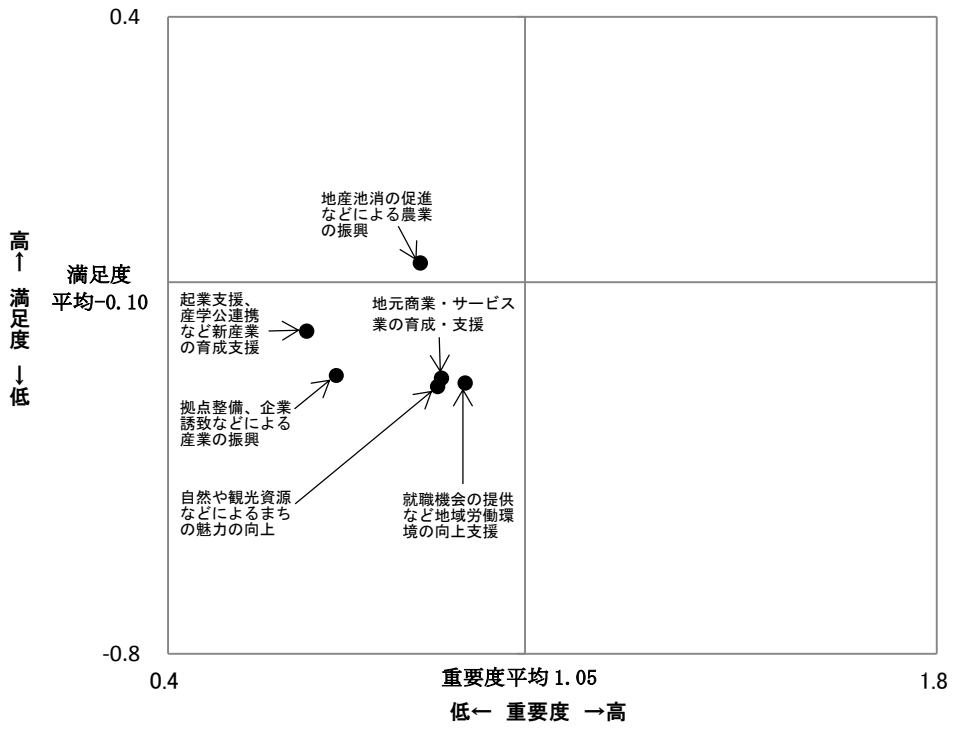
「満足度」の評価については、「自然や観光資源などによるまちの魅力の向上」以外の項目で「分からない」が50.0%を超えている。「重要度」の評価については、全ての項目で「重要」「やや重要」の合計が50.0%を超えている。

<平均ポイント順位>

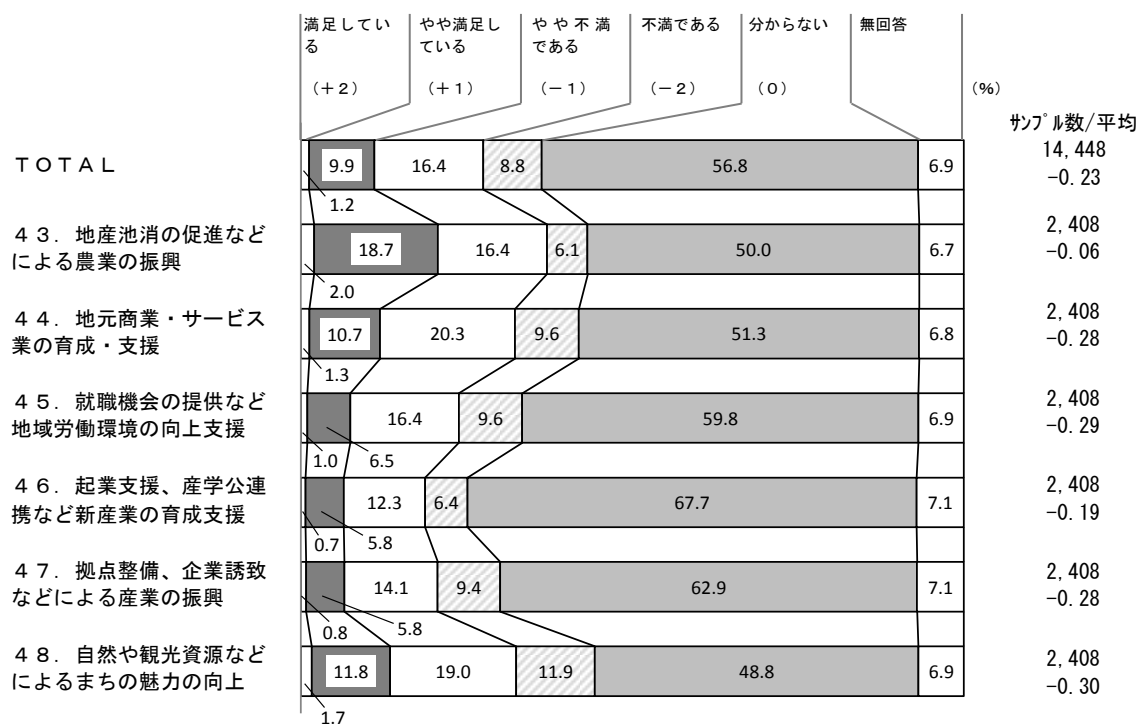
順位	現在の満足度	平均
1	地産地消の促進などによる農業の振興	-0.06
2	起業支援、産学公連携など新産業の育成支援	-0.19
3	地元商業・サービス業の育成・支援	-0.28
3	拠点整備、企業誘致などによる産業の振興	-0.28
5	就職機会の提供など地域労働環境の向上支援	-0.29
6	自然や観光資源などによるまちの魅力の向上	-0.30

順位	今後の重要度	平均
1	就職機会の提供など地域労働環境の向上支援	0.94
2	地元商業・サービス業の育成・支援	0.90
3	自然や観光資源などによるまちの魅力の向上	0.89
4	地産地消の促進などによる農業の振興	0.86
5	拠点整備、企業誘致などによる産業の振興	0.71
6	起業支援、産学公連携など新産業の育成支援	0.65

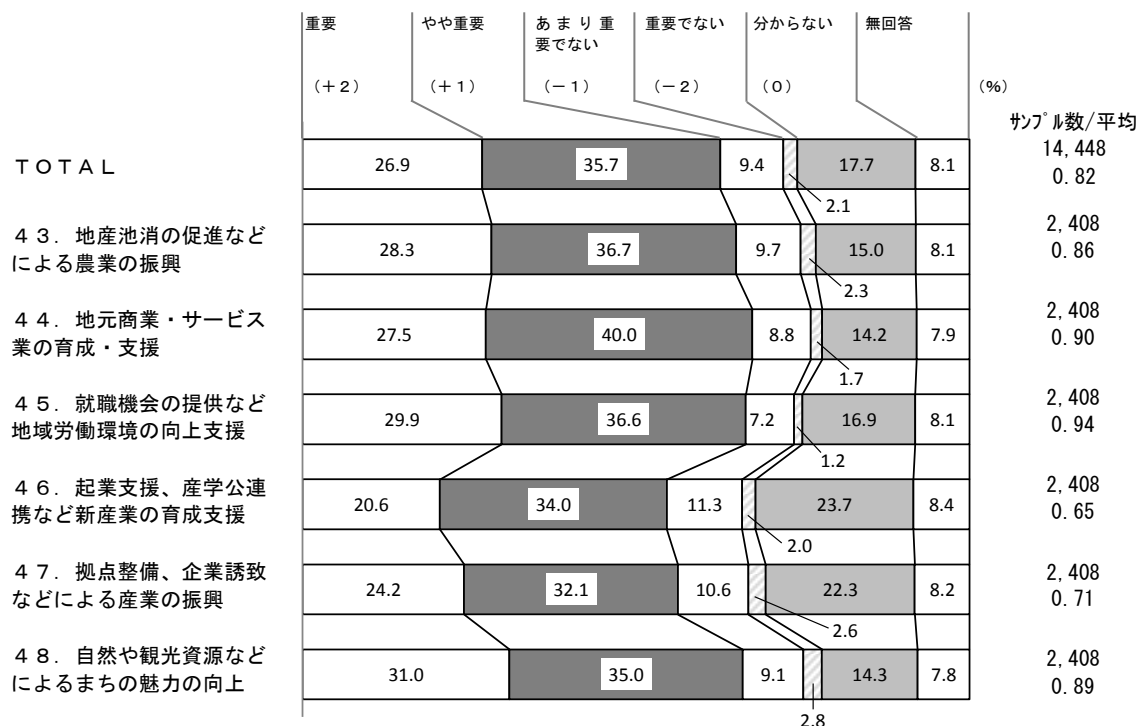
<CS分析>



<満足度>



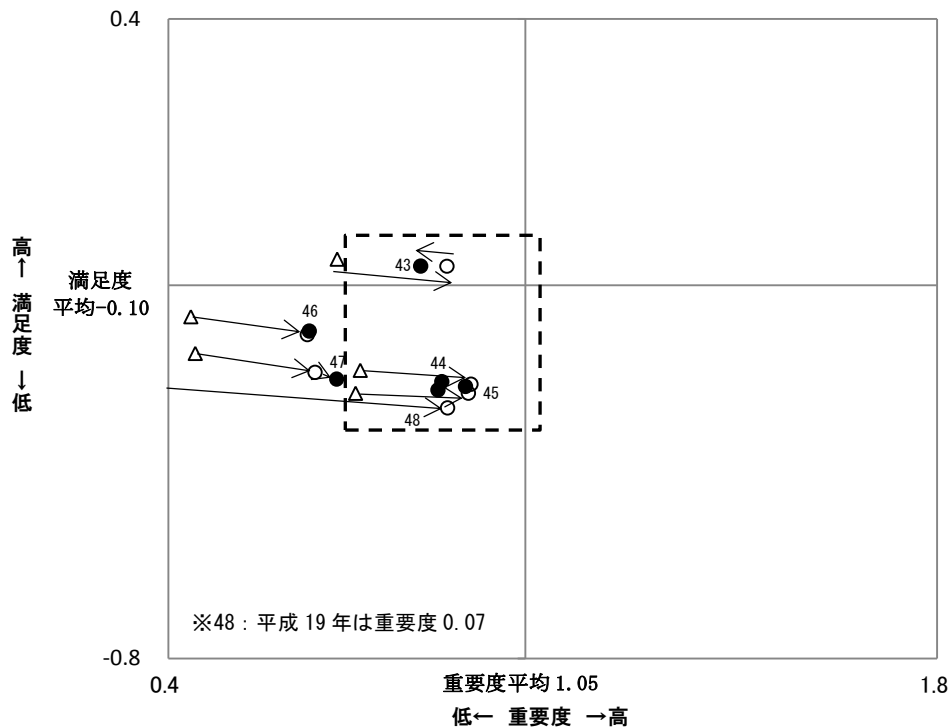
<重要度>



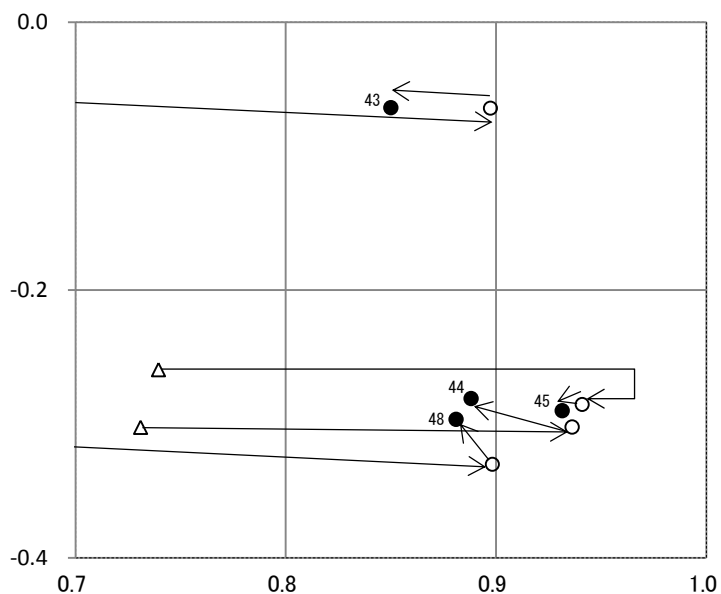
<CS分析 3カ年比較> ※●は平成24年、○は平成22年、△は平成19年を示す。

平成24年調査と平成22年調査を比較すると、「起業支援、産学公連携など新産業の育成支援」「拠点整備、企業誘致などによる産業の振興」を除き、重要度が下降している。

※平成19年「観光資源の研究などによる観光業の振興」は平成22年の「自然や観光資源などによるまちの魅力の向上」に修正した。「起業支援、産学公連携など新産業の育成支援」は平成24年と平成22年の数値がほぼ同じであるため重なっているように見える。



<CS分析2 3カ年比較 点線部拡大図>



- 43：地産池消の促進などによる農業の振興
- 44：地元商業・サービス業の育成・支援
- 45：就職機会の提供など地域労働環境の向上支援
- 46：起業支援、産学公連携など新産業の育成支援
- 47：拠点整備、企業誘致などによる産業の振興
- 48：自然や観光資源などによるまちの魅力の向上

■市民参加

「市民参加」分野内の「現在の満足度」平均ポイントでは、「市民主体のコミュニティ活動の支援」が-0.01ポイントで最も高くなっている。「今後の重要度」平均ポイントでは、「まちづくりや行政への市民参画の推進」が0.70ポイントで最も高くなっているが、いずれも平均ポイントを下回っている。

CS分析では、「維持分野」に「市民主体のコミュニティ活動の支援」「NPO活動に対する支援」「ボランティア活動への参加促進」が分類され、「改善分野」に「まちづくりや行政への市民参画の推進」が分類される。

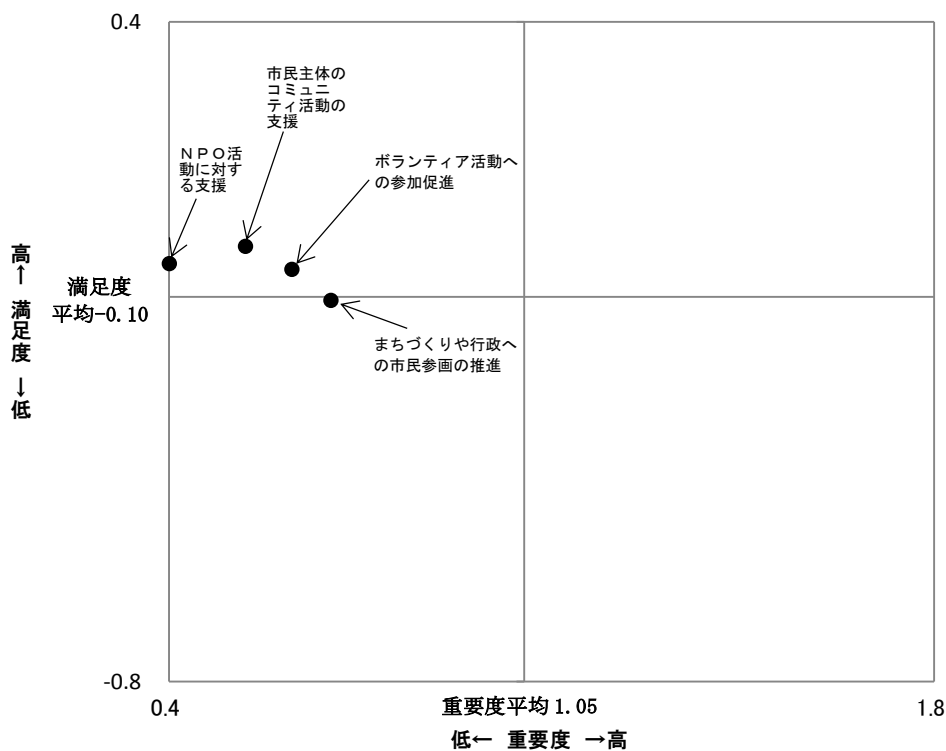
「満足度」の評価については全ての項目において「分からない」が60%を越えている。

<平均ポイント順位>

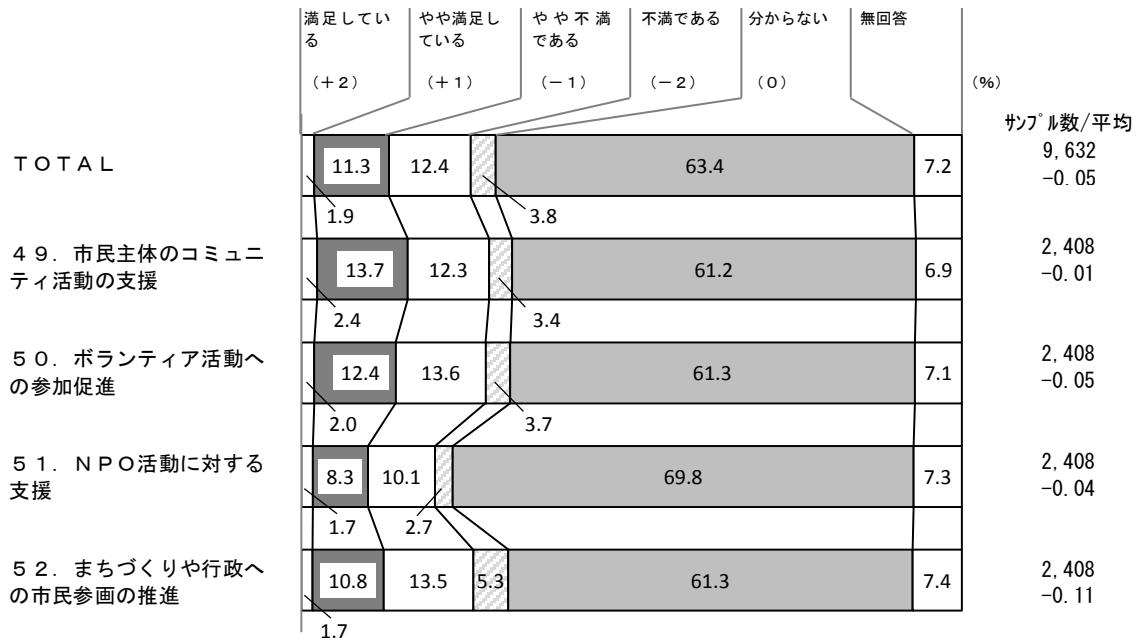
順位	現在の満足度	平均
1	市民主体のコミュニティ活動の支援	-0.01
2	NPO活動に対する支援	-0.04
3	ボランティア活動への参加促進	-0.05
4	まちづくりや行政への市民参画の推進	-0.11

順位	今後の重要度	平均
1	まちづくりや行政への市民参画の推進	0.70
2	ボランティア活動への参加促進	0.63
3	市民主体のコミュニティ活動の支援	0.54
4	NPO活動に対する支援	0.40

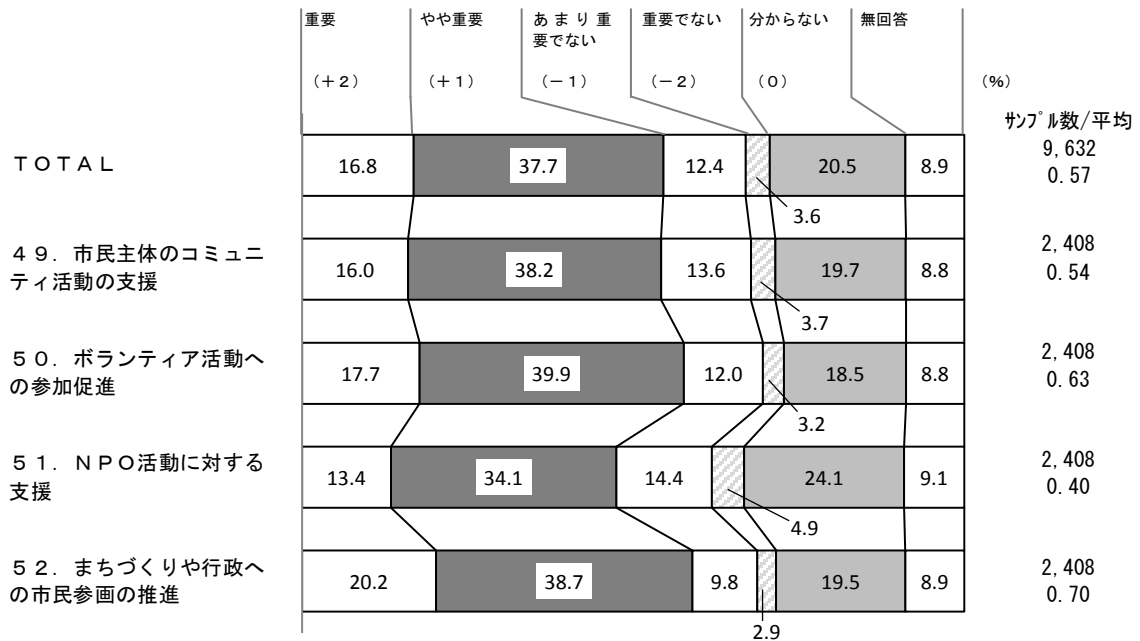
<CS分析>



<満足度>



<重要度>

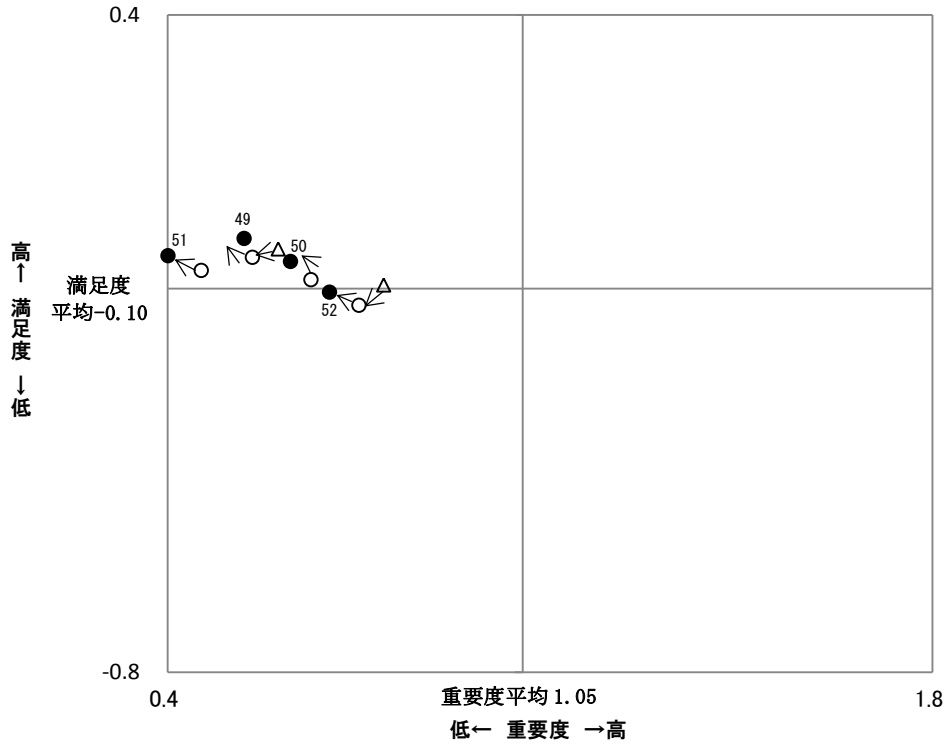


<CS分析 3カ年比較> ※●は平成24年、○は平成22年、△は平成19年を示す。

平成24年調査と平成22年調査を比較すると、全体的に満足度は上昇している傾向がある。

「市民主体のコミュニティ活動の支援」「まちづくりや行政への市民参画の推進」は平成19年調査から平成22年調査で下降したが、平成24年度調査では上昇している。

※「ボランティア活動への参加促進」と「NPO活動に対する支援」は平成22年の新設の設問である。



- 49：市民主体のコミュニティ活動の支援
- 50：ボランティア活動への参加促進
- 51：NPO活動に対する支援
- 52：まちづくりや行政への市民参画の推進

■行政運営

「行政運営」分野内の「現在の満足度」平均ポイントでは、「市報・ホームページの内容」が0.27ポイントで最も高く、「今後の重要度」平均ポイントでは、「市の窓口・電話での職員の対応」が1.30ポイントで最も高くなっている。

CS分析では、「重点維持分野」に「市報・ホームページの内容」「市の窓口・電話での職員の対応」「市の情報開示・情報公開」が分類され、「重点改善分野」に「市政のスリム化と財政基盤の強化」が分類される。

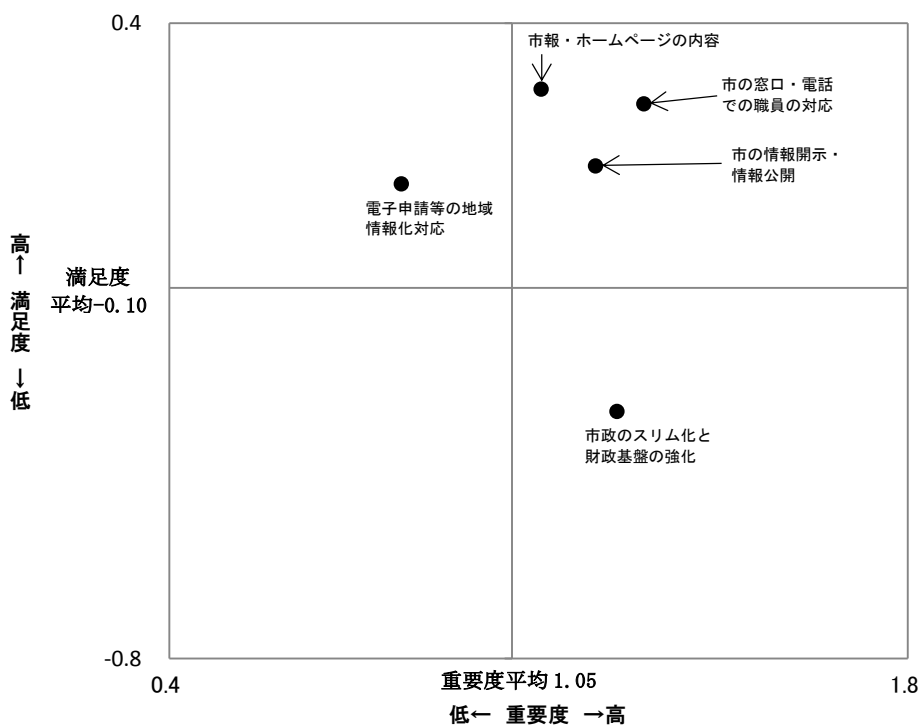
「満足度」の評価については、「分からない」が「電子申請等の地域情報化対応」で49.1%、「市政のスリム化と財政基盤の強化」で46.3%と高くなっている。

<平均ポイントの順位>

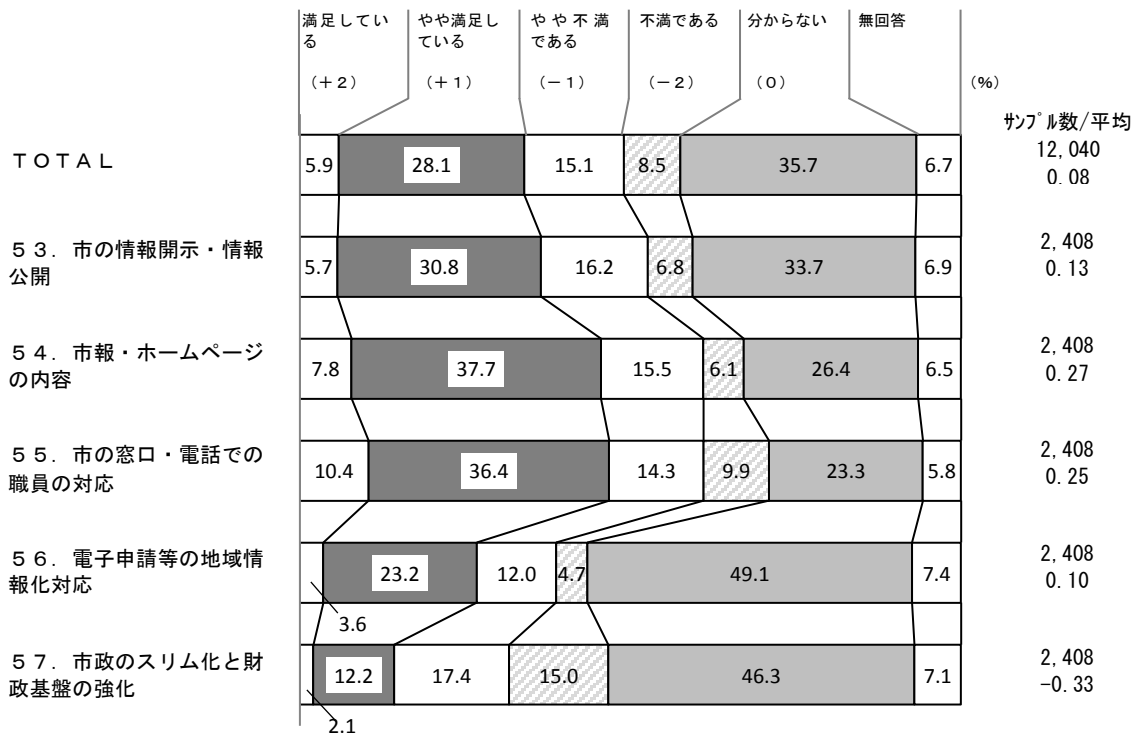
順位	現在の満足度	平均
1	市報・ホームページの内容	0.27
2	市の窓口・電話での職員の対応	0.25
3	市の情報開示・情報公開	0.13
4	電子申請等の地域情報化対応	0.10
5	市政のスリム化と財政基盤の強化	-0.33

順位	今後の重要度	平均
1	市の窓口・電話での職員の対応	1.30
2	市政のスリム化と財政基盤の強化	1.25
3	市の情報開示・情報公開	1.21
4	市報・ホームページの内容	1.11
5	電子申請等の地域情報化対応	0.84

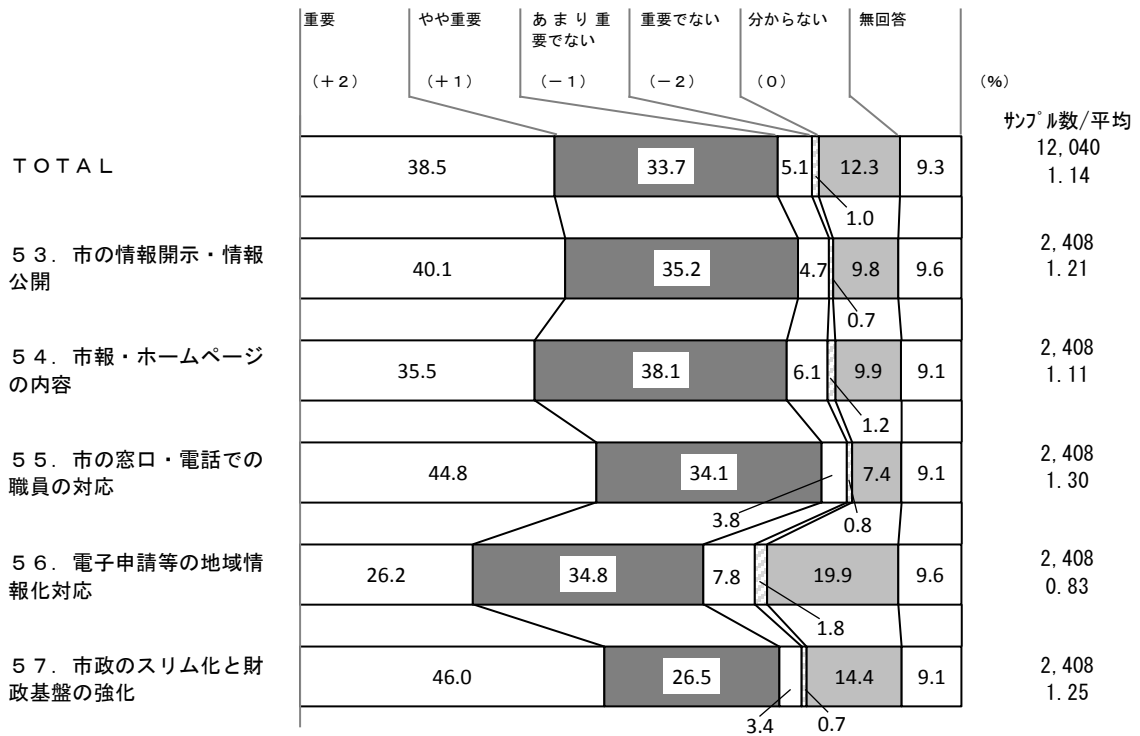
<CS分析>



<満足度>



<重要度>

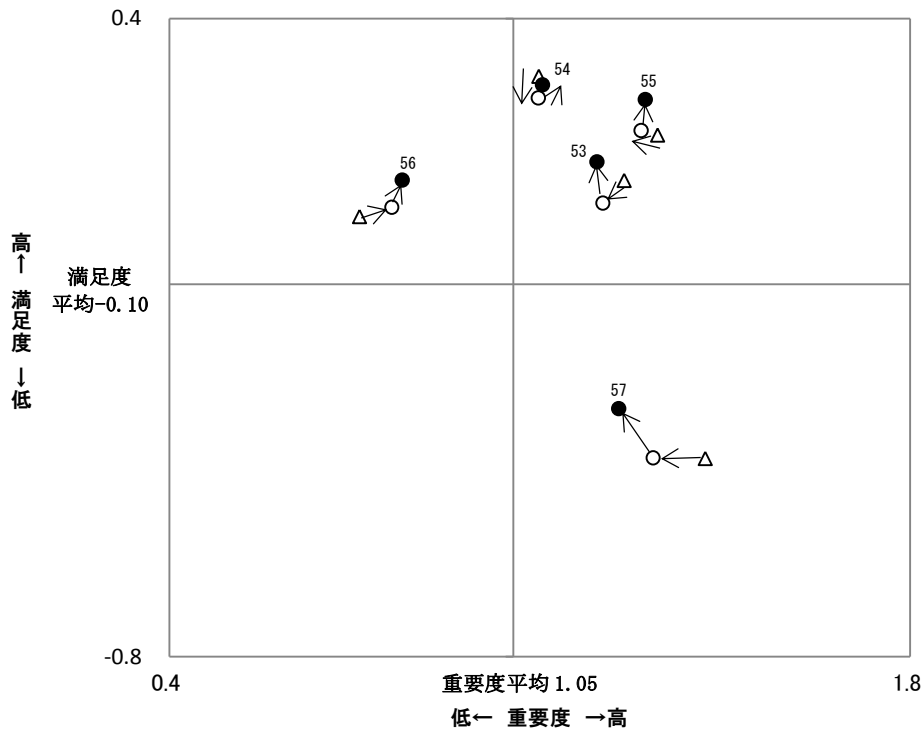


<CS分析 3カ年比較> ※●は平成24年、○は平成22年、△は平成19年を示す。

平成24年調査と平成22年調査を比較すると、全体的に満足度は上昇している傾向がある。

「市の情報開示・情報公開」及び「市報・ホームページの内容」は満足度が平成19年調査から平成22年調査で下降したが、平成24年調査では上昇している。

※平成19年に「行政運営」の項目であった「緊急事態発生時の市の危機管理体制の強化」は22年に「まちづくり」に移動した。



- 53：市の情報開示・情報公開
- 54：市報・ホームページの内容
- 55：市の窓口・電話での職員の対応
- 56：電子申請等の地域情報化対応
- 57：市政のスリム化と財政基盤の強化

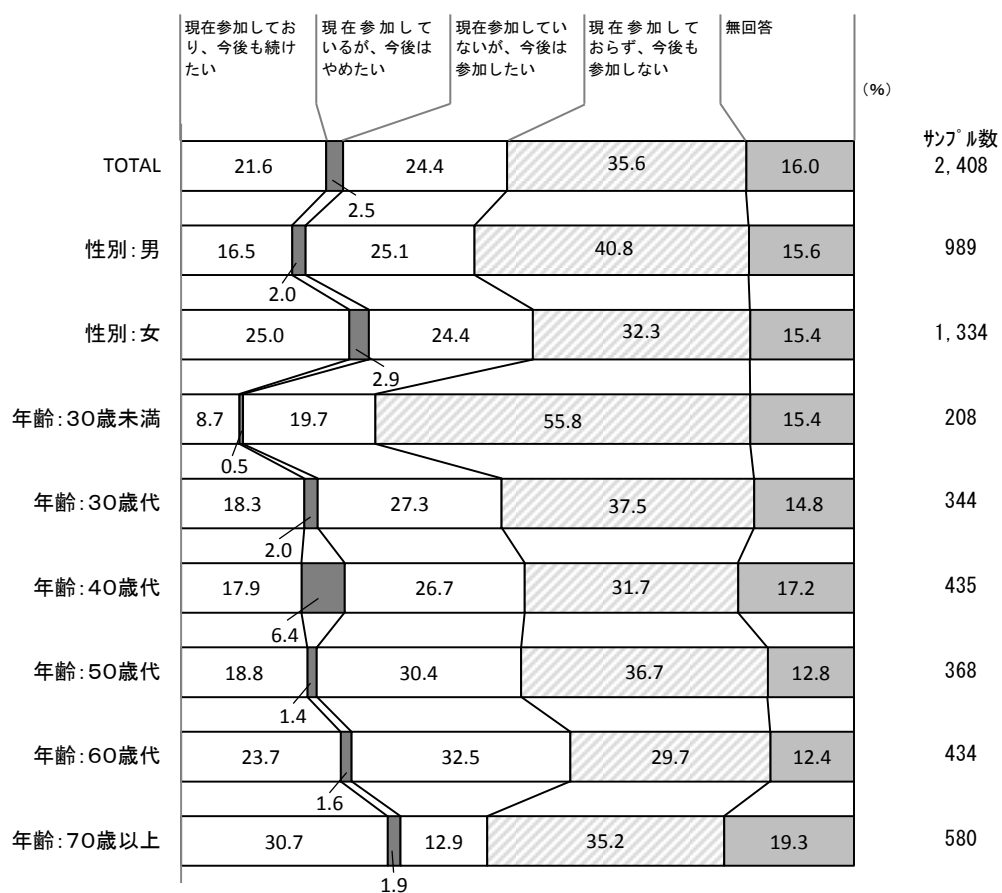
3. 地域活動と市政とのかかわりについて

【問 11】 あなたの地域活動（自治会、PTA、趣味やスポーツのサークル、グループなど）への現在の参加状況や今後の意向についてお答えください。（○は1つだけ）

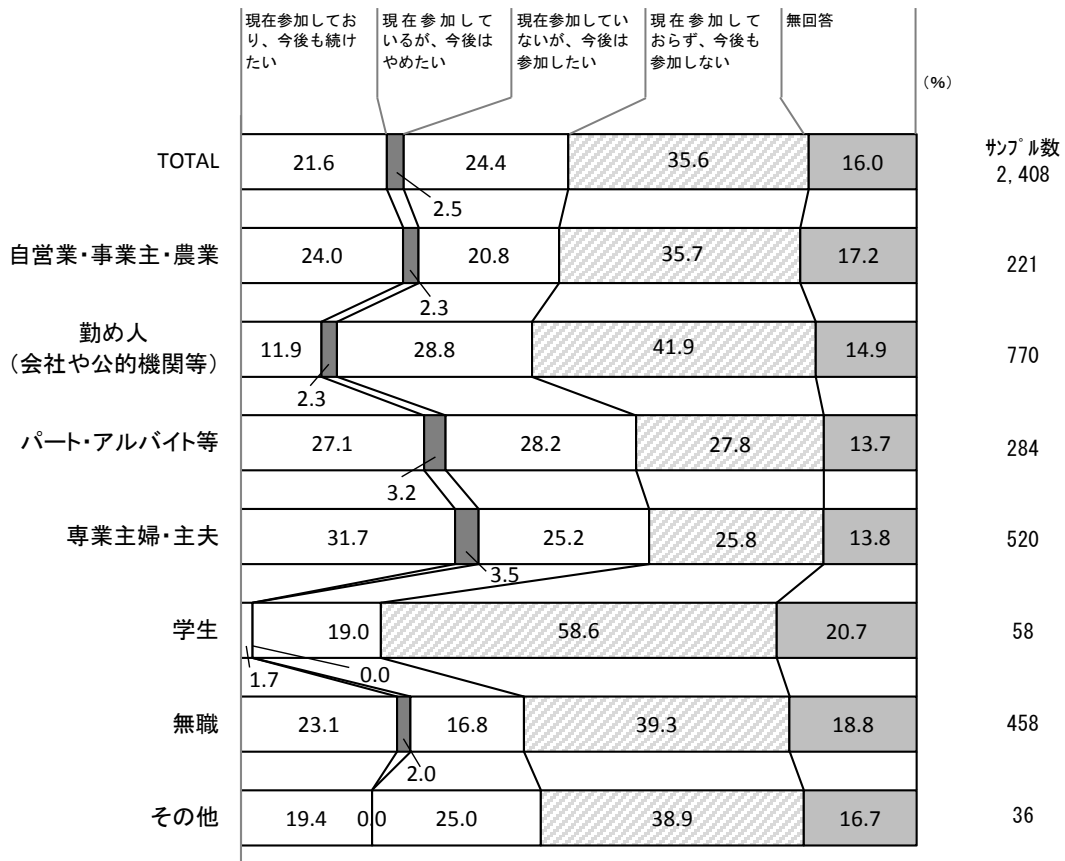
地域活動への参加状況では、「現在参加しておらず、今後も参加しない」が35.6%で最も多く、続いて「現在参加していないが、今後は参加したい」が24.4%となっている。また、「現在参加しており、今後も続けたい」が21.6%となっており、性別で見ると、「男性」に比べ「女性」の割合が多くなっている（男性16.5%、女性25.0%）。年代別で見ると、「30歳未満」では、「現在参加しておらず、今後も参加しない」が55.8%で、他と比べ多くなっている。

職業別に見ると、「専業主婦・主夫」で「現在参加しており、今後も続けたい」が31.7%で最も多くなっており、続いて「パート・アルバイト等」が27.1%となっている。一方、「学生」では、「現在参加しており、今後も続けたい」が1.7%で、他の職業に比べ少なく、また、「現在参加しておらず、今後も参加しない」が58.6%と多くなっている。

<性・年代別>



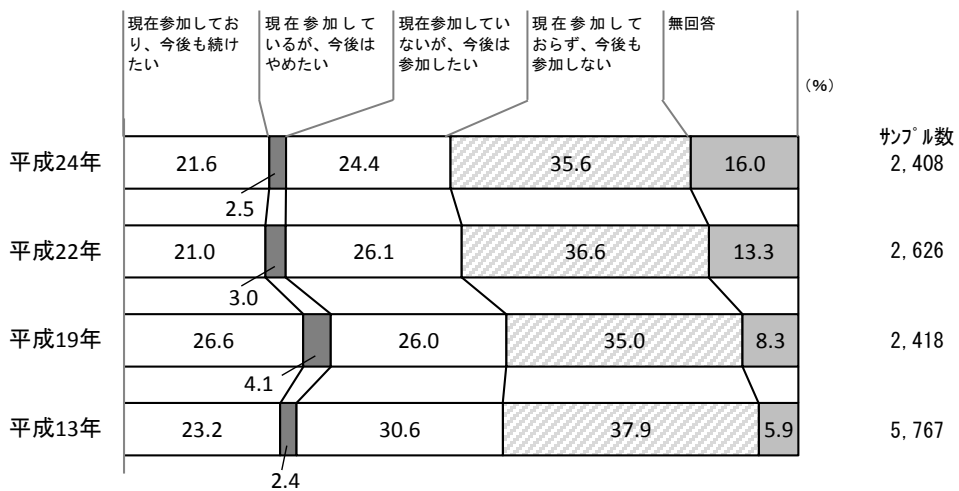
<職業別>



<経年比較>

平成24年調査では、「現在参加しており、今後も続けたい」が21.6%となっており、平成22年調査と比べ0.6ポイント多くなっている。

また、「現在参加していないが、今後は参加したい」が24.4%で、平成22年調査と比べ1.7ポイント少なくなっている。



【問12】問11で「1、2、3」とお答えした方にお聞きます。「現在、参加している地域活動（〇はいくつでも）」と、「今後、参加したい地域活動（〇は3つまで）」はどれですか。

問11で「現在参加しており、今後も続けたい」「現在参加しているが、今後はやめたい」「現在参加していないが、今後は参加したい」と答えた方は、1,166人となっている。

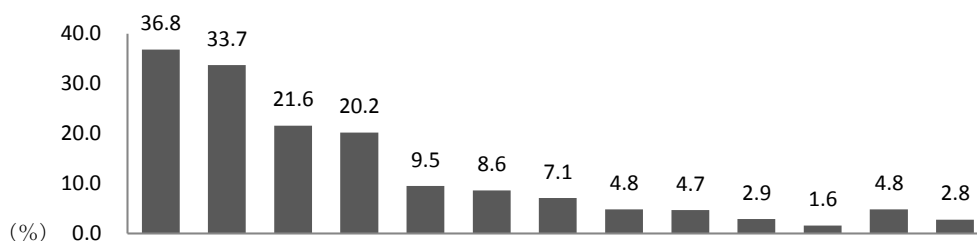
■現在参加している地域活動

「現在参加しており、今後も続けたい」「現在参加しているが、今後はやめたい」と答えた方（579人）のうち、現在、参加している地域活動の内容は、「スポーツ・レクリエーション活動」が36.8%で最も多く、続いて「自治会・町内会など」が33.7%となっている。

性別で見ると、「女性」では「PTA・父母会など」が26.1%となっており、「男性」の14.8%に比べ、11.3ポイント多くなっている。

年代別に見ると、「30歳未満」「30歳代」で、TOTAL上位2項目（「スポーツ・レクリエーション活動」「自治会・町内会など」）の割合が少なくなっている。一方、「60歳代」では、TOTAL上位2項目（「スポーツ・レクリエーション活動」「自治会・町内会など」）が年代別で比較的多くなっている。

<性・年代別>



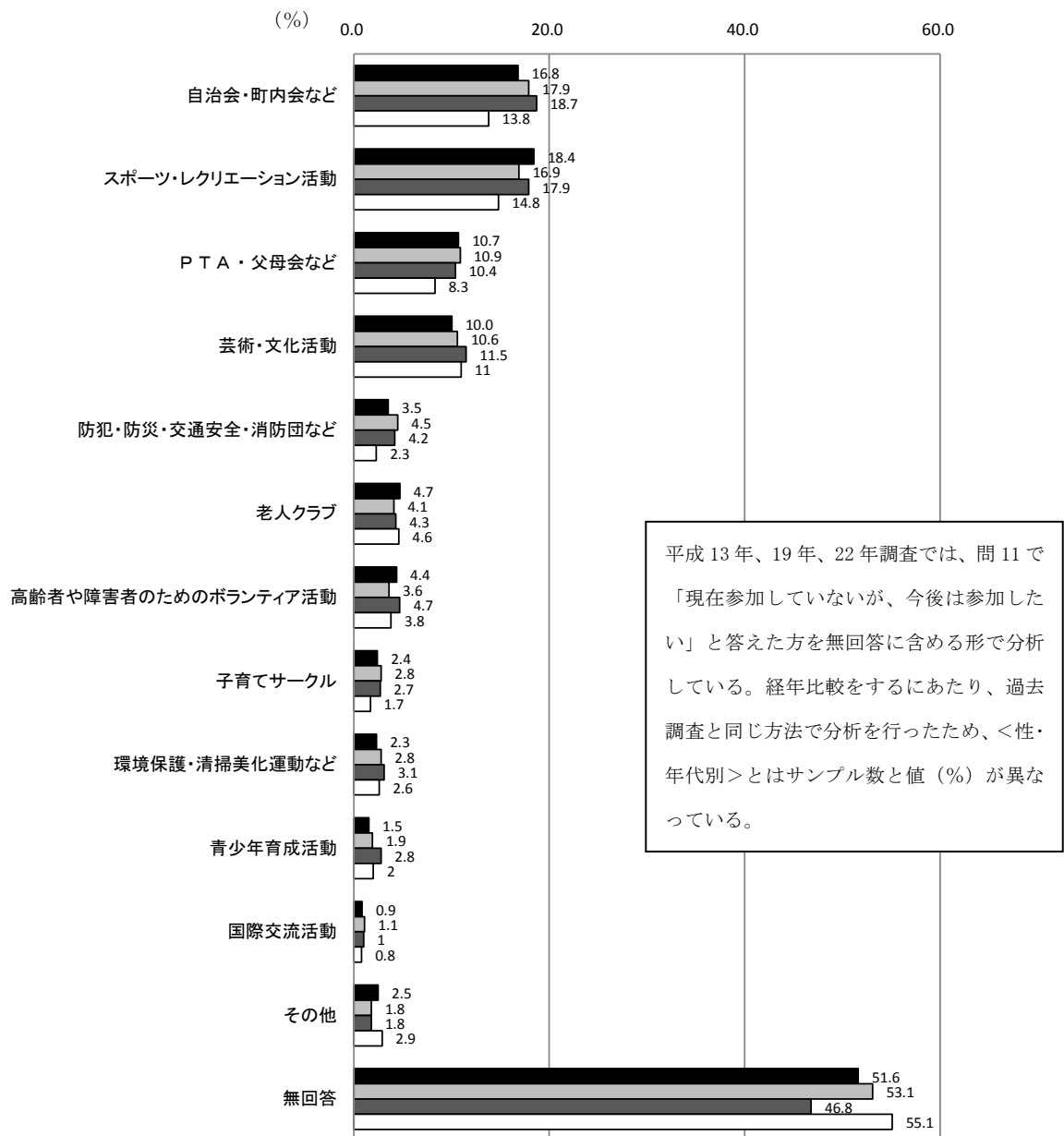
*性別・年齢	n	8	1	3	7	4	10	2	6	9	5	11	12	13
		活動スポーツ・レクリエーション	自治会・町内会など	PTA・父母会など	芸術・文化活動	老人クラブ	高齢者や障害者のためのボランティア活動	防犯・防災・交通安全・消防など	子育てサークル	環境保護・清掃美化運動など	青少年育成活動	国際交流活動	その他	無回答
0 TOTAL	579	36.8	33.7	21.6	20.2	9.5	8.6	7.1	4.8	4.7	2.9	1.6	4.8	2.8
1 性別:男	183	36.6	35.0	△ 14.8	19.1	6.6	8.2	9.8	1.6	6.0	2.7	3.3	8.7	3.3
2 性別:女	372	36.6	32.8	26.1	20.4	10.2	8.9	5.9	6.5	3.5	2.7	0.8	2.4	2.2
3 年齢:30歳未満	19	△ 26.3	△ 10.5	21.1	21.1	△ 0.0	△ 15.8	△ 0.0	△ 31.6	0.0	5.3	0.0	△ 15.9	0.0
4 年齢:30歳代	70	△ 21.4	△ 24.3	△ 55.7	△ 7.1	△ 0.0	△ 1.4	7.1	△ 15.7	2.9	4.3	0.0	2.9	1.4
5 年齢:40歳代	106	33.0	31.1	△ 64.2	△ 7.5	△ 0.9	3.8	5.7	3.8	1.9	0.9	0.9	0.9	0.9
6 年齢:50歳代	74	35.1	△ 45.9	△ 10.8	20.3	△ 1.4	9.5	△ 12.2	4.1	2.7	6.8	1.4	8.1	0.0
7 年齢:60歳代	110	△ 42.7	△ 40.0	△ 0.9	△ 28.2	11.8	△ 13.6	5.5	1.8	4.5	2.7	3.6	5.5	2.7
8 年齢:70歳以上	189	△ 43.9	32.8	△ 2.1	△ 27.0	△ 19.6	10.6	7.9	0.5	8.5	1.6	1.6	4.2	4.8

<経年比較>

平成 24 年調査では、「スポーツ・レクリエーション活動」が 18.4%で最も多くなっており、平成 22 年調査と比べて 1.5 ポイント高くなっている。

次いで、平成 24 年調査では、「自治会・町内会など」が 16.8%で平成 22 年調査と比べ 1.1 ポイント、「PTA・父母会など」が 10.7%で平成 22 年調査と比べて 0.2 ポイント低くなっている。

■ 平成24年 n=1,166 ■ 平成22年 n=1,316 ■ 平成19年 n=1,370 □ 平成13年n=3,242



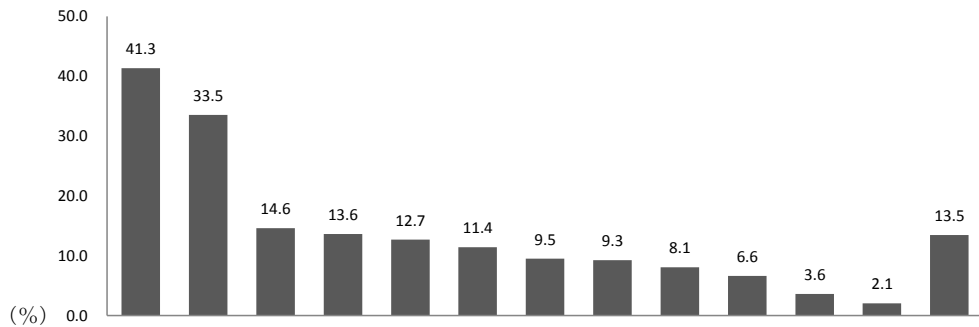
■今後、参加したい地域活動

今後、参加したい地域活動の内容は、「スポーツ・レクリエーション活動」が41.3%で最も多く、続いて「芸術・文化活動」が33.5%となっている。

性別で見ると、「男性」では「環境保護・清掃美化運動など」が16.5%となっており、「女性」の10.9%に比べ、5.6ポイント多くなっている。一方、「女性」は「芸術・文化活動」が35.7%となっており、「男性」の30.6%に比べ、5.1ポイント多くなっている。

年代別に見ると、「30歳未満」「50歳代」では「スポーツ・レクリエーション活動」「国際交流活動」の項目でTOTALに比べ5ポイント以上多くなっている。「30歳代」「40歳代」では「PTA・父母会など」の項目でTOTALに比べ5ポイント以上多くなっている。「70歳以上」では「老人クラブ」の項目でTOTALに比べ5ポイント以上多くなっている。

<性・年代別>

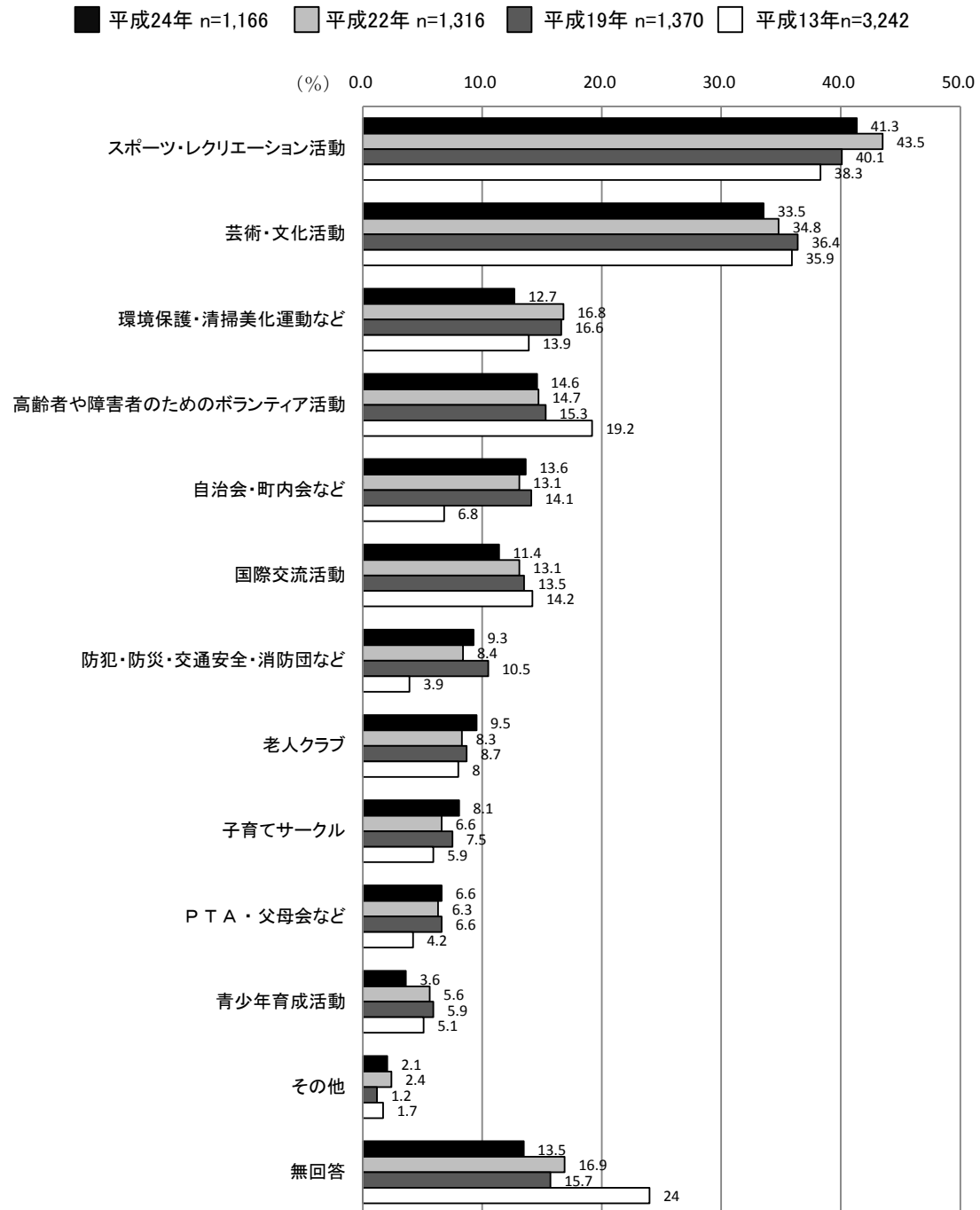


*性別・年齢	n	8	7	10	1	9	11	4	2	6	3	5	12	13
		活 ス ポ ー ツ ・ レ ク リ エ ー シ ョ ン	芸 術 ・ 文 化 活 動	高 齢 者 や 障 害 者 の た め の ボ ラ ン テ ィ ア 活 動	自 治 会 ・ 町 内 会 な ど	環 境 保 護 ・ 清 掃 美 化 運 動 な ど	国 際 交 流 活 動	老 人 ク ラ ブ	防 犯 ・ 防 災 ・ 交 通 安 全 ・ 消 防 な ど	子 育 て サ ー ク ル	P T A ・ 父 母 会 な ど	青 少 年 育 成 活 動	そ の 他	無 回 答
0 TOTAL	1,166	41.3	33.5	14.6	13.6	12.7	11.4	9.5	9.3	8.1	6.6	3.6	2.1	13.5
1 性別:男	431	43.6	30.6	11.6	14.6	16.5	11.1	10.9	12.3	5.1	3.2	5.3	3.2	15.5
2 性別:女	697	40.7	35.7	16.9	13.1	10.9	11.9	8.5	7.6	10.0	8.8	2.6	1.0	11.3
3 年齢:30歳未満	60	50.0	35.0	16.7	5.0	13.3	23.3	1.7	5.0	25.0	8.3	6.7	3.3	10.0
4 年齢:30歳代	164	43.3	28.0	11.0	9.1	9.8	12.8	0.0	7.9	29.3	18.3	3.0	0.6	15.9
5 年齢:40歳代	222	41.9	28.8	10.8	13.1	13.5	14.0	1.4	8.1	7.2	16.2	4.5	1.4	9.5
6 年齢:50歳代	186	50.0	39.8	17.7	11.8	14.0	17.2	2.2	11.3	2.7	1.1	4.3	2.2	12.9
7 年齢:60歳代	251	44.6	41.4	19.5	17.1	18.3	6.8	13.1	12.7	1.2	0.0	3.6	1.6	10.8
8 年齢:70歳以上	264	29.9	29.9	13.3	16.3	8.3	6.4	25.8	7.6	1.9	0.8	1.9	3.0	22.7

<経年比較>

平成24年調査では、「スポーツ・レクリエーション活動」が41.3%で平成22年調査と比べ2.2ポイント、「芸術・文化活動」が33.5%で平成22年調査と比べ1.3ポイント、「環境保護・清掃美化運動など」が12.7%で平成22年調査と比べ4.1ポイント少なくなっている。

一方、平成24年度調査では、「防犯・防災・交通安全・消防団など」が9.3%で平成22年度調査と比べ0.9ポイント多くなっている。



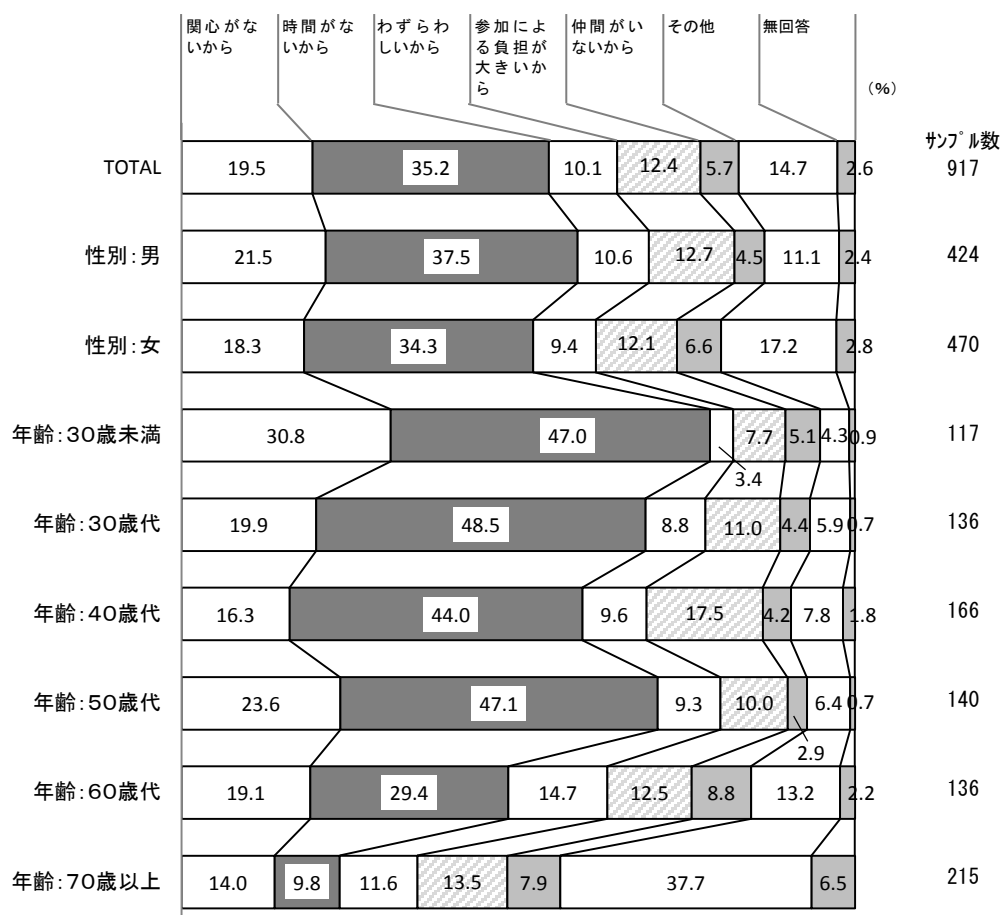
【問 13】 問 11 で「2、4」とお答えした方にお聞きします。地域活動に参加したくない（やめたい）理由は何ですか。（○は1つだけ）

問 11 で「現在参加しているが、今後はやめたい」「現在参加しておらず、今後も参加しない」と答えた方は、917 人となっている。参加したくない（やめたい）の理由としては、「時間がないから」が 35.2%で最も多く、続いて「関心がないから」が 19.5%となっている。

性別で見ると、「男性」では「関心がないから」が 21.5%、「時間がないから」が 37.5%となっており、女性に比べ、それぞれが 3.2 ポイント多くなっている。一方、「女性」では、「仲間がないから」が 6.6%となっており、「男性」（4.5%）に比べ、2.1 ポイント多くなっている。

年代別に見ると、「30 歳未満」では「関心がないから」が 30.8%、「40 歳代」では「参加による負担が大きいから」が 17.5%、「60 歳代」では、「わずらわしいから」が 14.7%となっており、他の年代に比べ、多くなっている。

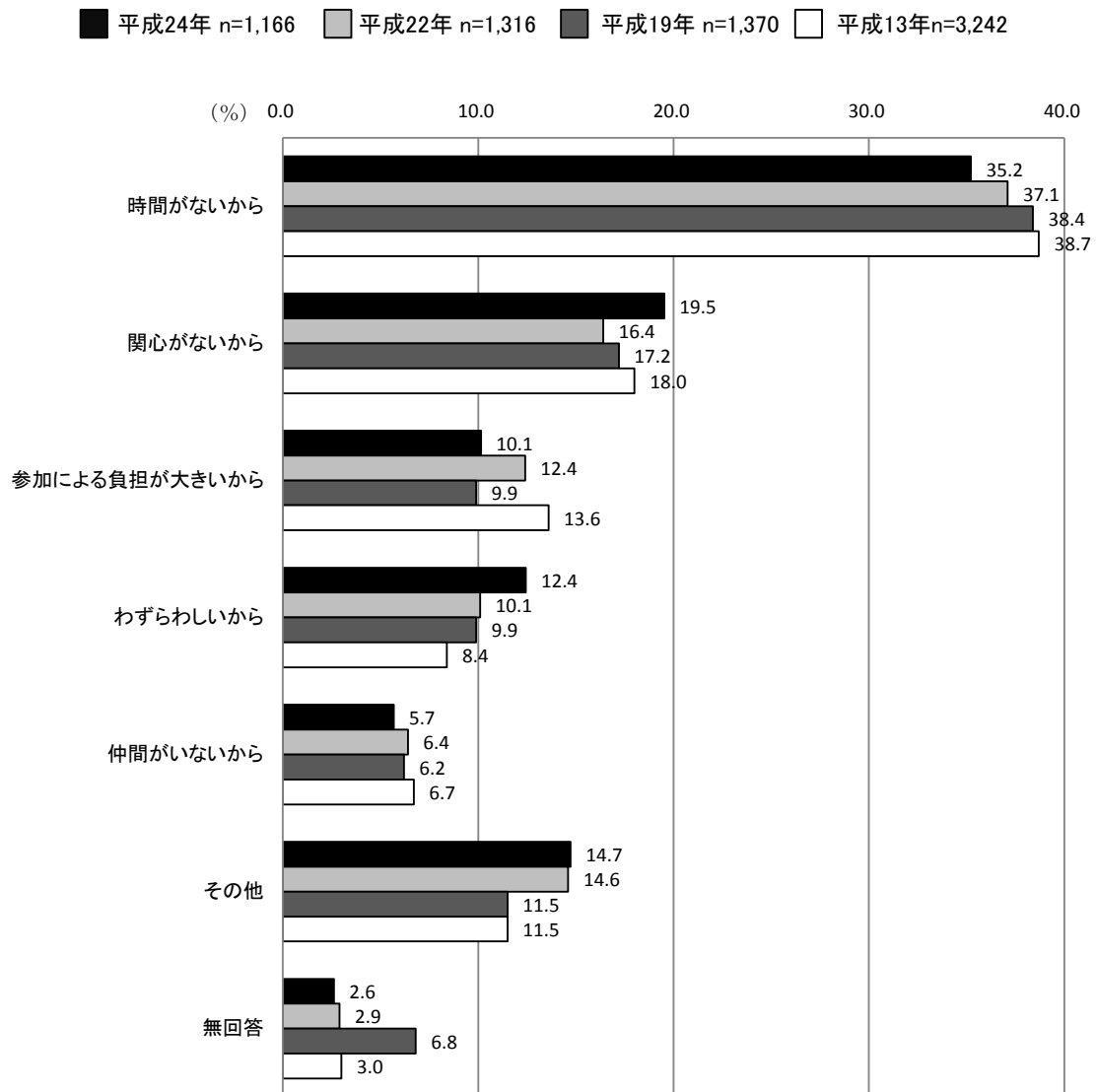
＜性・年代別＞



<経年比較>

平成24年調査では、「時間がないから」が35.2%で最も多くなっており、平成22年調査と比べ1.9ポイント少なくなっている。

次いで、平成24年調査では、「関心がないから」が19.5%で、平成22年調査と比べ3.1ポイント、「わずらわしいから」が12.4%で、平成22年調査と比べ2.3ポイント多くなっている。また、同じく平成24年調査では、「参加による負担が大きいから」が10.1%で、平成22年調査と比べ2.3ポイント少なくなっている。



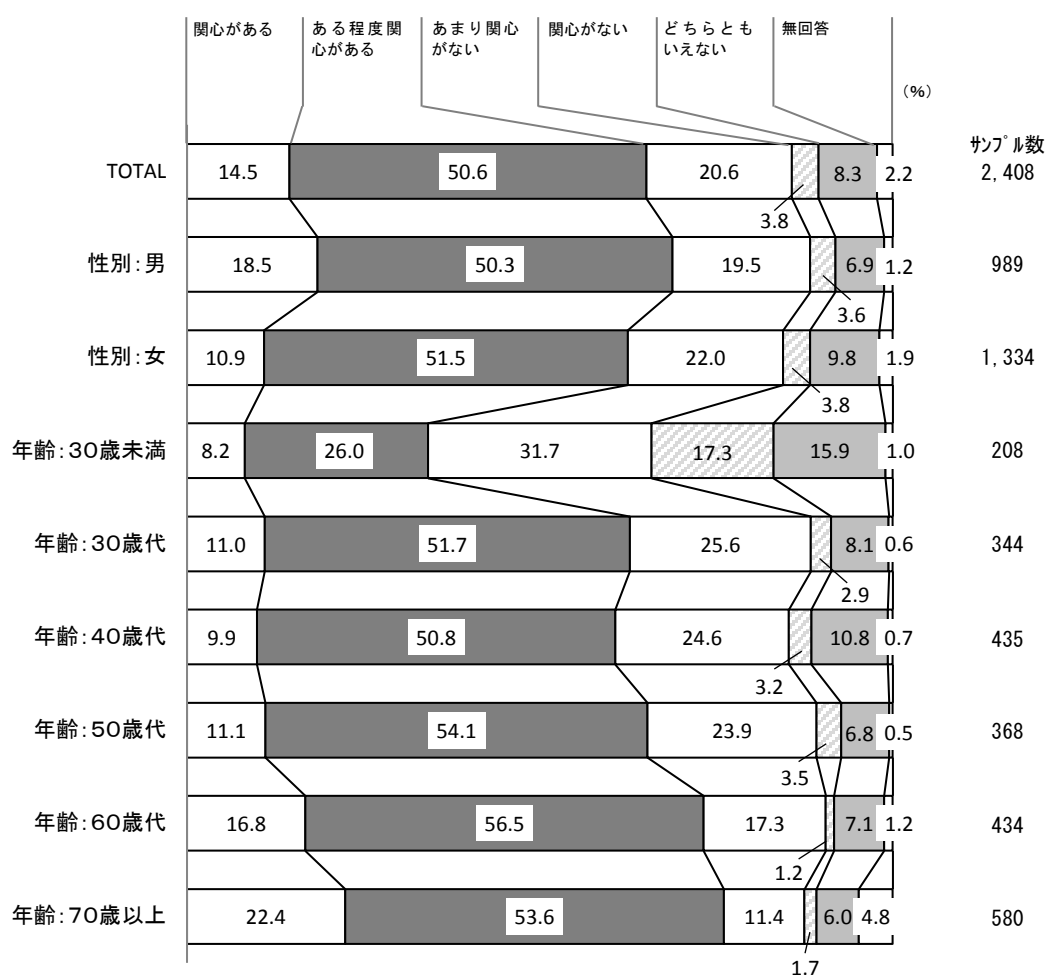
【問 14】 あなたは市政にどの程度関心をお持ちになっていますか。(○は1つだけ)

市政への関心については、「ある程度関心がある」が50.6%で最も多く、続いて「あまり関心がない」が20.6%となっている。

年代別に見ると、年代が高くなるにつれて「関心がある」が多くなっており、「70歳以上」では22.4%となっている。

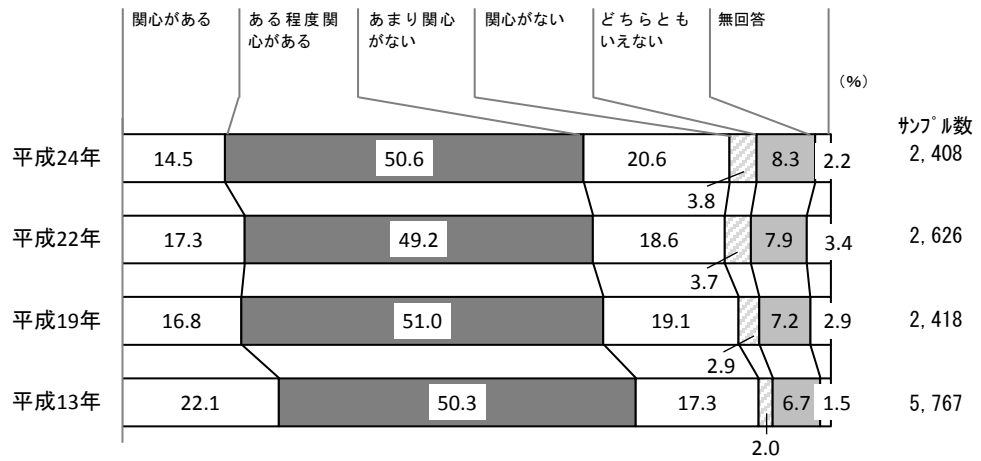
一方、「30歳未満」では「あまり関心がない」が31.7%となっており、他の年代に比べ、多くなっている。

＜性・年代別＞



<経年比較>

平成 24 年調査では、「関心がある」14.5%「ある程度関心がある」50.6%を合わせて 65.1%となっており、平成 22 年調査の「関心がある」17.3%「ある程度関心がある」49.2%を合わせた 66.5%と比較すると 1.4 ポイント少なくなっている。



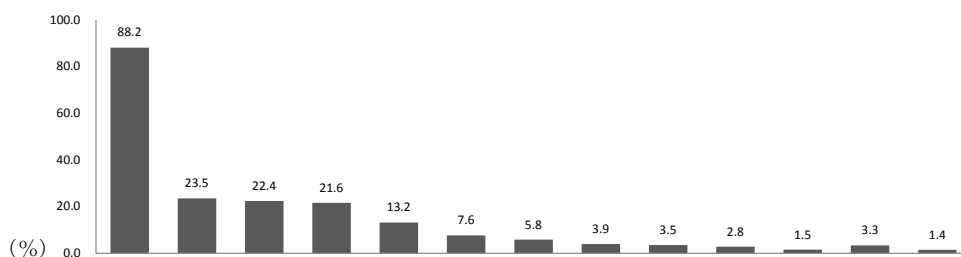
【問 15】あなたは市の行政に関する情報を何によって知ることが多いですか。(○はいくつでも)

市政の情報源では、「市報（広報西東京）」が88.2%で最も多く、続いて「市議会報」が23.5%となっている。

年代別に見ると、「30歳代」で「市のホームページ」がTOTALに比べ18.3ポイント多くなっている。また、「30歳未満」では、「市報（広報西東京）」が59.6%とTOTALに比べ28.6ポイント少なくなっており、他の年代に比べ、少なくなっている。

世帯構成別に見ると、いずれの世帯も「市報（広報西東京）」が最も多くなっているが、「三世帯世帯（親と子と孫）」では「家族や知人・近所の人のお話」が27.1%となっており、他の世帯構成に比べ、多くなっている。

＜性・年代別＞



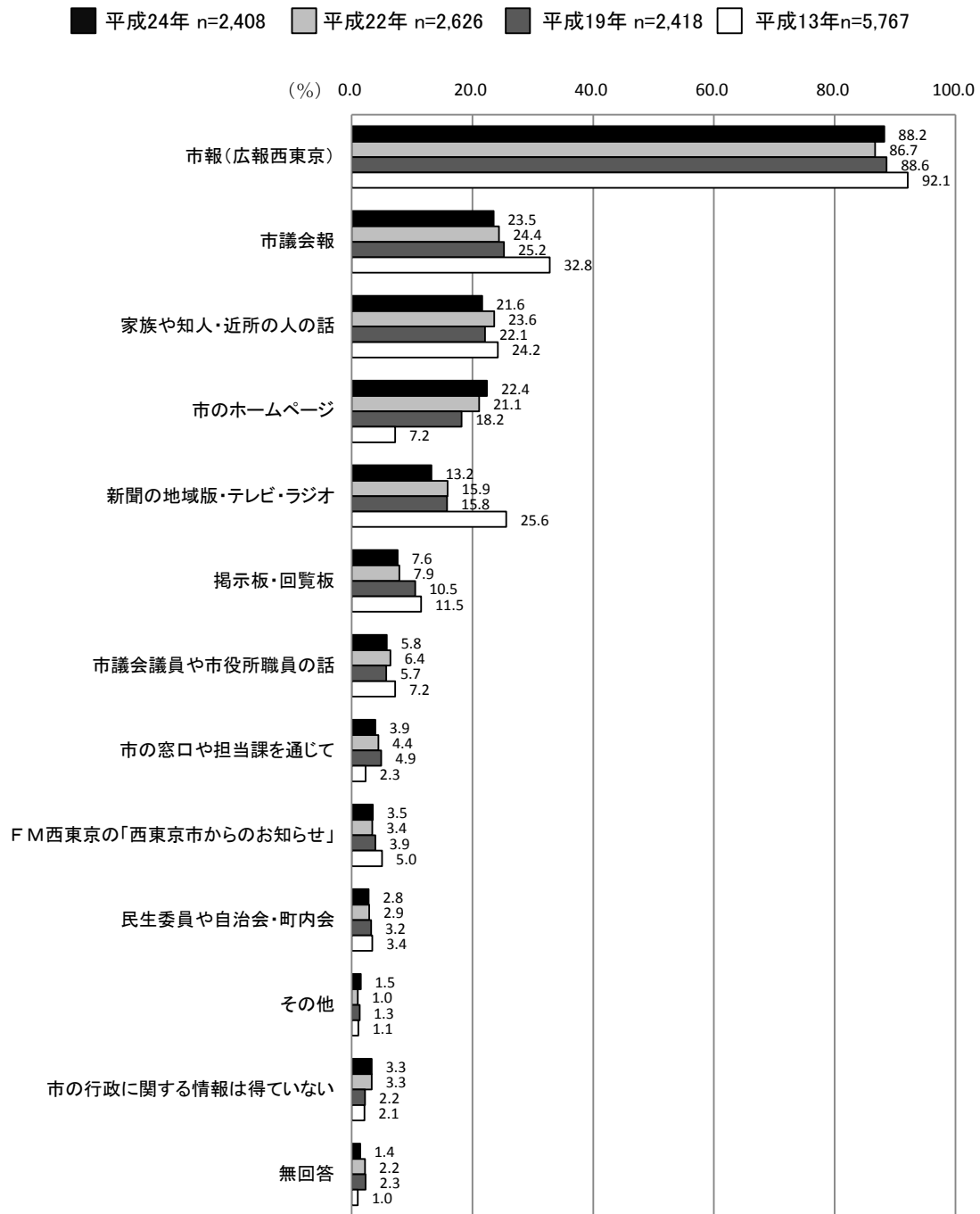
*性別・年齢	n	1	2	3	10	6	5	9	4	7	8	11	12	13
		市報（広報西東京）	市議会報	市のホームページ	家族や知人・近所の人のお話	新聞の地域版・テレビ・ラジオ	掲示板・回覧板	市議会議員や市役所職員の話	市の窓口や担当課を通じて	F M西東京の「西東京市からのお知らせ」	民生委員や自治会・町内会	その他	市の行政に関する情報は得ていない	無回答
0 TOTAL	2,408	88.2	23.5	22.4	21.6	13.2	7.6	5.8	3.9	3.5	2.8	1.5	3.3	1.4
1 性別:男	989	85.0	25.1	25.8	18.7	13.4	7.5	7.8	3.4	4.4	1.8	1.4	4.7	0.8
2 性別:女	1,334	91.2	22.1	21.0	24.1	13.0	7.3	4.3	4.2	2.6	3.5	1.6	2.5	0.9
3 年齢:30歳未満	208	△ 59.6	△ 5.3	24.5	○ 31.7	△ 8.2	5.8	1.4	2.4	3.4	0.5	1.4	○ 19.2	0.0
4 年齢:30歳代	344	84.3	△ 16.3	○ 40.7	21.8	△ 5.2	2.9	3.5	3.8	2.3	1.7	2.0	5.5	0.0
5 年齢:40歳代	435	91.0	23.9	○ 33.3	20.5	△ 8.0	4.6	5.5	3.2	1.8	1.8	2.3	2.1	0.9
6 年齢:50歳代	368	93.2	22.0	27.2	19.0	12.0	8.2	6.3	2.4	1.6	3.5	1.4	1.1	0.3
7 年齢:60歳代	434	94.2	○ 30.2	△ 13.6	19.4	18.0	9.4	7.1	4.8	4.4	2.5	0.9	1.2	0.0
8 年齢:70歳以上	580	92.1	○ 30.2	△ 7.1	22.9	○ 21.8	11.6	7.4	5.2	6.0	4.8	1.0	0.3	3.1

＜世帯構成別＞

1 単身世帯(一人で住んでいる)	257	85.6	20.2	△ 14.0	△ 12.5	14.4	7.8	4.7	3.9	4.7	3.5	1.6	5.8	1.9
2 夫婦で住んでいる	692	90.8	28.0	19.7	22.0	15.5	9.2	6.6	4.2	5.2	2.7	1.0	2.0	1.2
3 二世帯世帯(親と子)	1,194	88.5	22.1	27.2	23.8	11.8	5.9	4.8	3.8	2.3	2.8	1.7	3.4	0.5
4 三世帯世帯(親と子と孫)	140	84.3	25.0	21.4	○ 27.1	15.0	10.7	○ 12.9	5.7	3.6	2.9	1.4	3.6	2.1
5 その他	59	86.4	△ 16.9	△ 13.6	△ 11.9	○ 18.6	○ 15.3	1.7	0.0	1.7	1.7	1.7	5.1	0.0

<経年比較>

平成 24 年調査では、「市報（広報西東京）」が 88.2%であり、平成 22 年調査と比べ 1.5 ポイント多くなっている。また、「市のホームページ」が 22.4%となっており、平成 22 年調査と比べ 1.3 ポイント多くなっている。



【問 16】あなたは市からどのような情報を得たいですか。(〇はいくつでも)

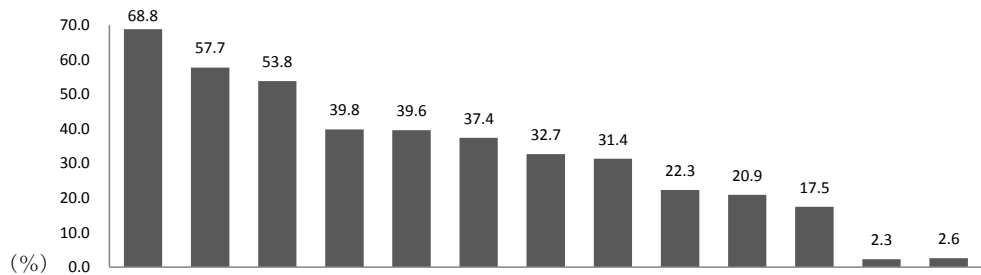
市から得たい情報では、「医療・保健などの健康に関する情報」が68.8%で最も多く、続いて「ごみ収集などの生活情報」が57.7%となっている。

性別で見ると、「男性」では「市の財政状況や予算などに関する情報」が40.7%となっており、「女性」の27.2%に比べ、13.5ポイント多くとなっている。

また、「ごみ収集などの生活情報」(男性51.0%、女性64.6%)は「男性」に比べ、「女性」が13.6ポイント、「医療・保健などの健康に関する情報」(男性63.1%、女性74.4%)は、「男性」に比べ、「女性」が11.3ポイント多くとなっている。

世帯構成別に見ると、「三世帯世帯」では、「医療・保健などの健康に関する情報」と「市民サークル・団体に関する情報」の項目でTOTALに比べ5ポイント以上少なくなっている。一方、「単身世帯」では、「ごみ収集などの生活情報」の項目ではTOTALに比べ5ポイント以上多くなっているが、11項目中5項目においてTOTALに比べ5ポイント以上少なくなっている。

＜性・年代別＞



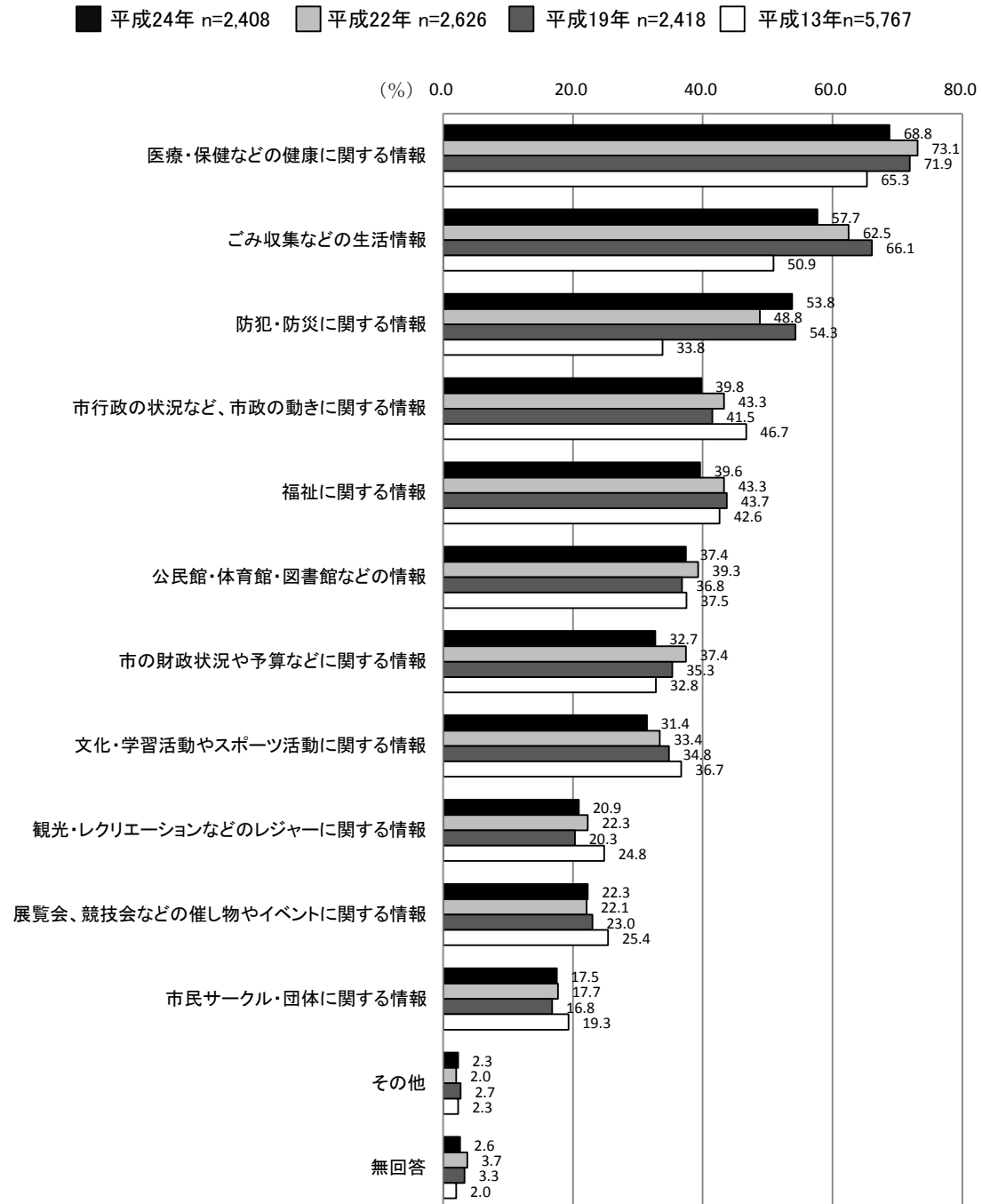
*性別・年齢	n	項目番号												
		8	11	10	1	9	3	2	4	5	6	7	12	13
0 TOTAL	2,408	68.8	57.7	53.8	39.8	39.6	37.4	32.7	31.4	22.3	20.9	17.5	2.3	2.6
1 性別:男	989	63.1	51.0	49.7	45.9	34.4	32.9	40.7	30.1	20.0	20.5	13.5	2.8	1.9
2 性別:女	1,334	74.4	64.6	58.3	35.5	44.3	41.8	27.2	33.5	24.6	21.7	20.6	2.0	1.9
3 年齢:30歳未満	208	47.6	48.1	43.8	26.9	25.0	37.5	24.5	24.5	20.7	20.7	10.6	3.4	1.9
4 年齢:30歳代	344	74.7	65.1	59.3	40.7	27.6	49.1	36.9	39.8	24.4	25.3	18.6	4.9	1.5
5 年齢:40歳代	435	68.5	66.2	63.7	40.2	34.7	44.6	34.9	40.0	24.4	23.4	17.2	0.9	0.9
6 年齢:50歳代	368	70.9	62.2	57.3	43.5	41.6	35.3	37.5	31.0	22.3	22.3	21.7	2.2	0.8
7 年齢:60歳代	434	70.7	51.8	47.7	41.2	46.1	31.8	33.2	34.3	24.0	23.0	18.2	1.4	1.2
8 年齢:70歳以上	580	71.9	53.8	50.5	40.5	50.9	31.7	28.1	22.1	19.0	14.3	16.4	2.2	5.0

＜世帯構成別＞

1 単身世帯(一人で住んでいる)	257	65.8	63.0	47.5	32.7	42.4	29.2	24.1	20.2	20.6	16.3	14.8	1.6	3.9
2 夫婦で住んでいる	692	71.7	56.4	53.9	43.4	44.1	35.8	35.8	29.5	22.3	19.7	19.5	1.7	1.9
3 二世帯世帯(親と子)	1,194	70.3	59.1	57.2	40.1	37.4	41.2	32.7	37.2	24.0	23.2	18.4	2.6	1.7
4 三世帯世帯(親と子と孫)	140	61.4	55.0	52.9	40.0	37.9	35.0	36.4	30.0	19.3	16.4	11.4	2.9	3.6
5 その他	59	62.7	50.8	37.3	33.9	33.9	33.9	28.8	11.9	10.2	23.7	5.1	5.1	1.7

<経年比較>

平成24年調査では、「防犯・防災に関する情報」が53.8%であり、平成22年調査と比べ5.0ポイント多くなっている。また、平成24年調査では「展覧会、競技会などの催し物やイベントに関する情報」が22.3%であり、平成22年調査と比べ0.2ポイント多くなっている。それ以外の項目については、平成22年調査のポイントより少なくなっている。

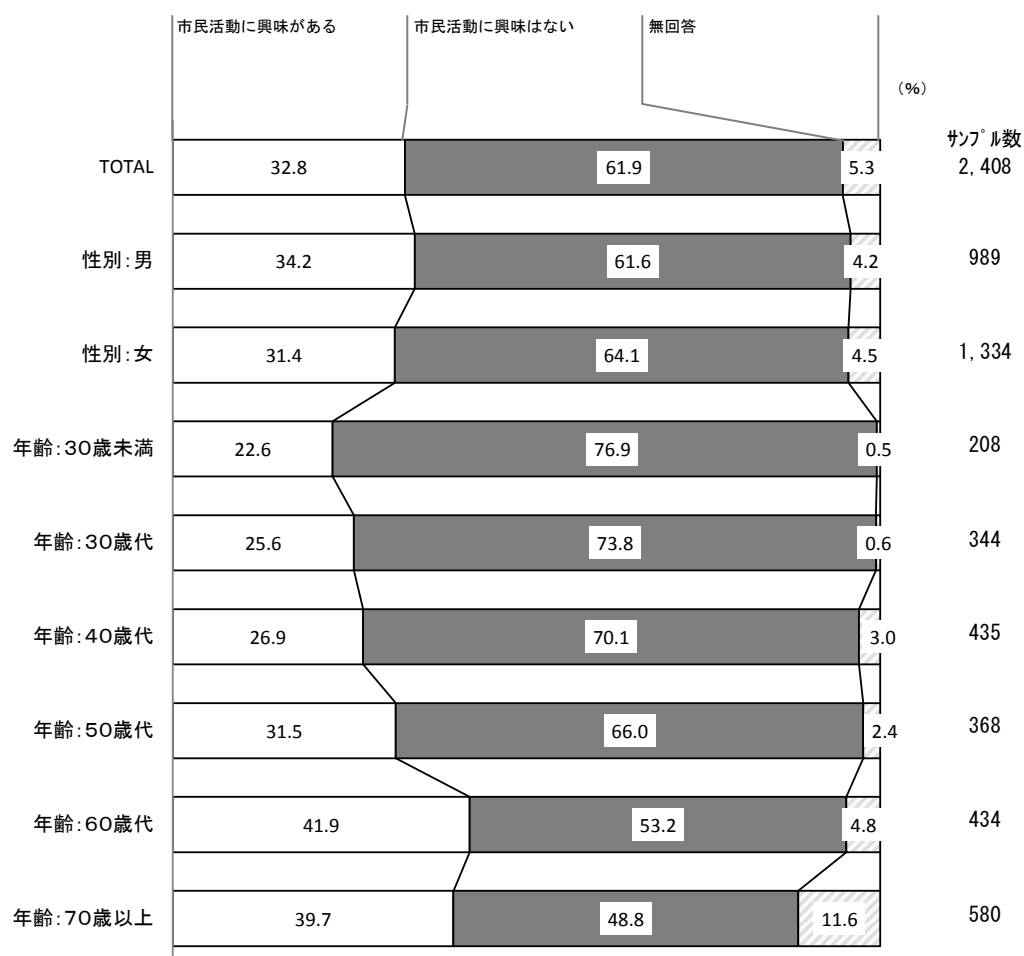


【問 17】あなたは、市民参加条例に基づく市民活動について興味がありますか。(〇は1つだけ)

市民活動への興味では、「市民活動に興味がある」が 32.8%で、「市民活動に興味がない」が 61.9%となっている。

年代別に見ると、「市民活動に興味がある」は「60歳代」「70歳以上」が多くなっている。また、反対に「市民活動に興味はない」は、「30歳未満」では76.9%、「30代」では73.8%、「40代」では70.1%と多くなっている。

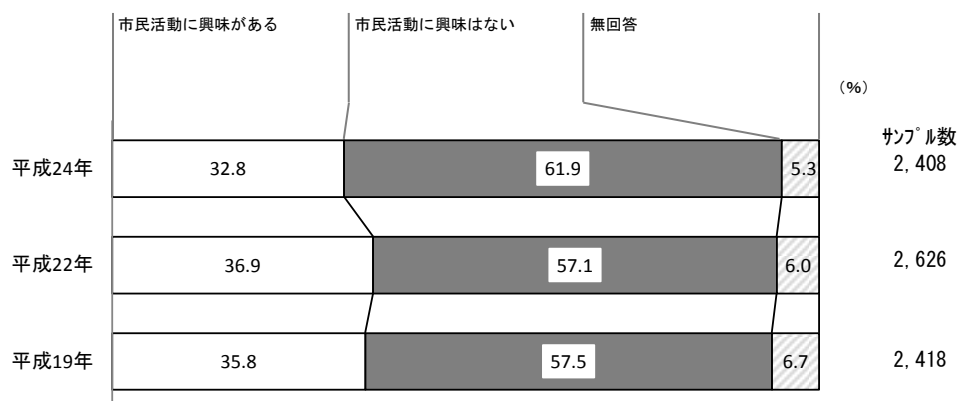
＜性・年代別＞



<経年比較>

平成24年調査では、「市民活動に興味がある」が32.8%となっており、平成22年調査と比べ、4.1ポイント少なくなっている。

また、平成24年調査では、「市民活動に興味はない」が61.9%で、平成22年調査と比べ、4.8ポイント多くなっている。



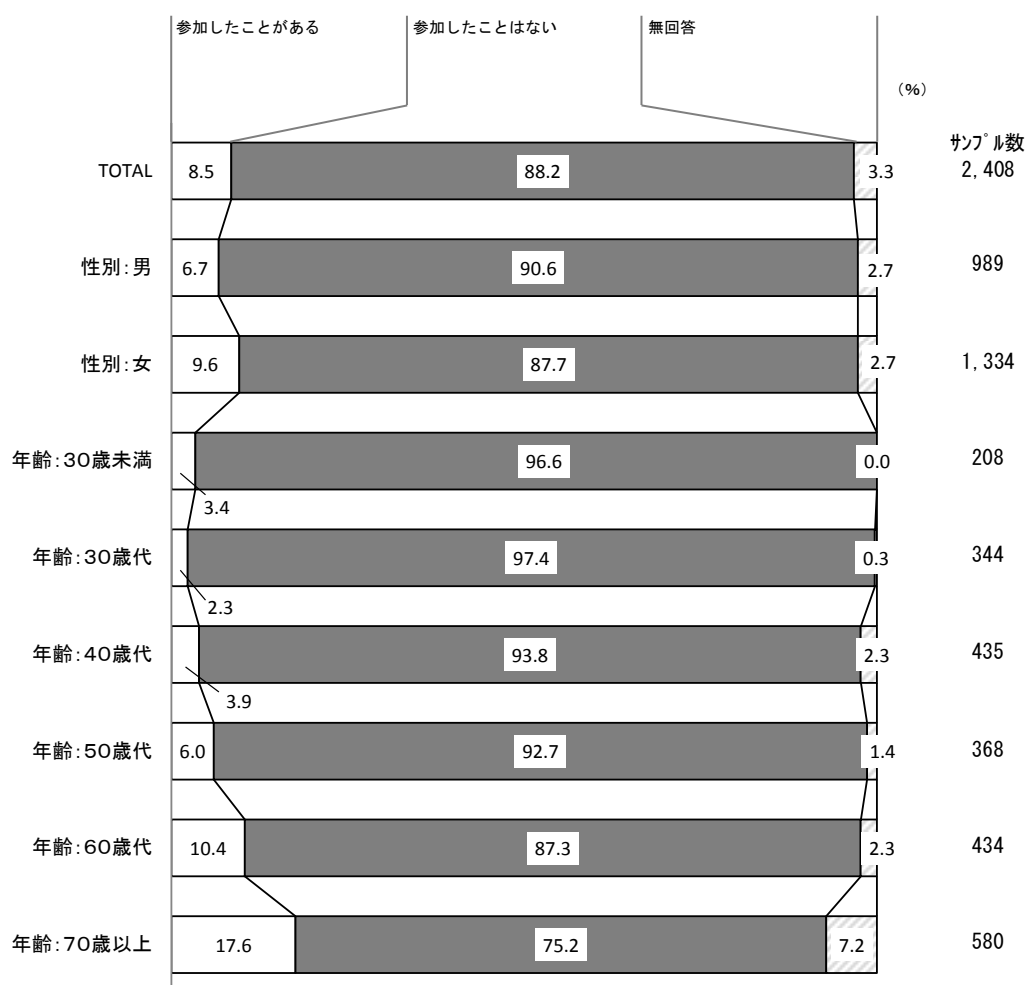
【問 18】あなたは、市民参加条例に基づく市民活動に参加したことがありますか。
(〇は1つだけ)

市民活動への参加では、「参加したことがある」が8.5%、「参加したことはない」が88.2%となっている。

性別で見ると、「参加したことがある」が、「男性」で6.7%、「女性」で9.6%となっている。

年代別に見ると、「参加したことがある」は「30歳代」以降、年代が高くなるにつれて多くなっている。

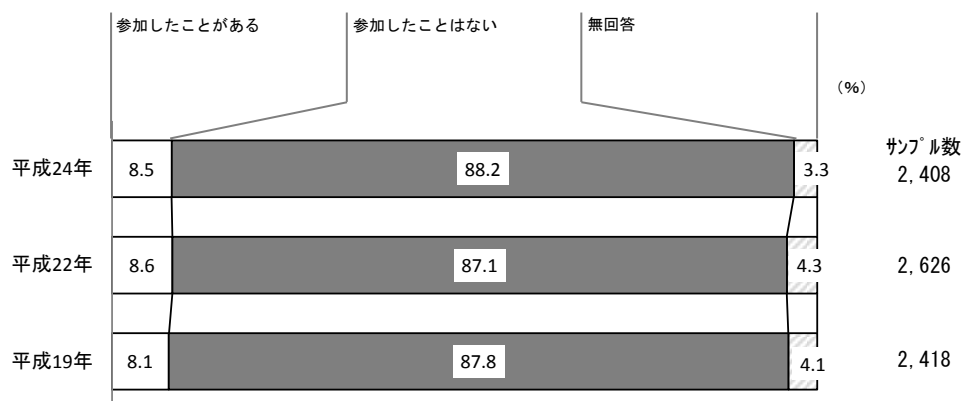
<性・年代別>



<経年比較>

平成 24 年調査では、「参加したことがある」が 8.5%となっており、平成 22 年調査と比べ、0.1 ポイント少なくなっている。

また、平成 24 年調査では、「参加したことはない」が 88.2%で、平成 22 年調査と比べ、1.1 ポイント多くなっている。



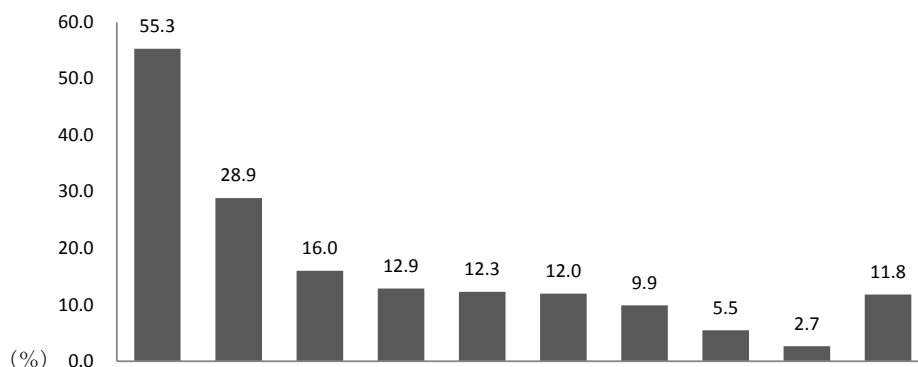
【問 19】 市政への参加方法として、あなたご自身に望ましい方法は何ですか。(〇はいくつでも)

市政への参加方法では、「アンケート調査や投票を通じて意見を表明する」が55.3%で最も多く、続いて「逐次、インターネットや電話、窓口などで意見を述べる」が28.9%となっている。

年代別に見ると、「30歳未満」「30歳代」「40歳代」「50歳代」で「逐次、インターネットや電話、窓口などで意見を述べる」が、TOTALに比べ5ポイント以上多くなっている。また、「30歳未満」「30代」で「アンケート調査や投票を通じて意見を表明する」が、TOTALに比べ5ポイント以上多くなっている。一方、「70歳以上」では、「逐次、インターネットや電話、窓口などで意見を述べる」が7.2%と大変少なくなっている。

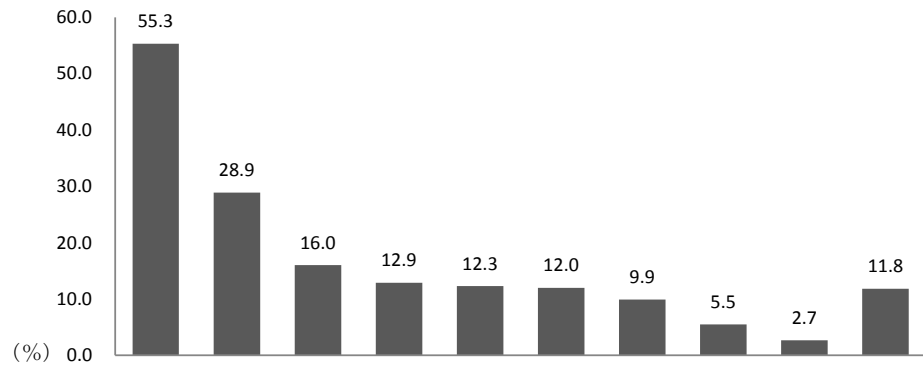
職業別に見ると、「勤め人（会社や公的機関等）」で、「逐次、インターネットや電話、窓口などで意見を述べる」がTOTALに比べ10ポイント以上多くなっている。

＜性・年代別＞



*性別・年齢		n	8	7	1	2	4	6	3	5	9	10
			てアンケート調査や投票を通じて意見を表明する	話逐次、インターネットや電話、窓口などで意見を述べる	く市民が自主的にグループをつくり、提言や陳情を行う	言市民が自主的に、個人で提言や陳情を行う	提行政の求めに応じ、個人で提言を行う	意見が主権者の説明会などで意見を述べる	で行政の求めに応じ、グループで提言を行う	なり、行政が主権者の組織の委員として提言を行う	その他	無回答
0	TOTAL	2,408	55.3	28.9	16.0	12.9	12.3	12.0	9.9	5.5	2.7	11.8
1	性別:男	989	51.3	33.2	18.1	18.0	15.2	13.0	9.9	7.1	2.4	9.8
2	性別:女	1,334	59.6	26.9	14.5	9.4	10.6	11.7	9.8	4.5	2.8	11.4
3	年齢:30歳未満	208	61.5	37.5	10.6	9.6	11.1	11.5	10.1	4.8	2.4	5.8
4	年齢:30歳代	344	65.7	43.0	16.6	12.8	11.3	11.0	7.0	6.4	1.5	3.5
5	年齢:40歳代	435	59.1	49.2	18.2	12.9	13.6	11.0	6.7	7.4	2.5	4.1
6	年齢:50歳代	368	59.2	35.3	16.6	13.9	9.0	13.6	9.0	5.2	3.3	8.7
7	年齢:60歳代	434	53.0	18.4	16.6	14.1	12.9	14.3	12.9	6.0	1.6	11.5
8	年齢:70歳以上	580	45.9	7.2	15.9	13.4	14.7	11.0	12.1	3.6	3.8	24.0

<職業別>

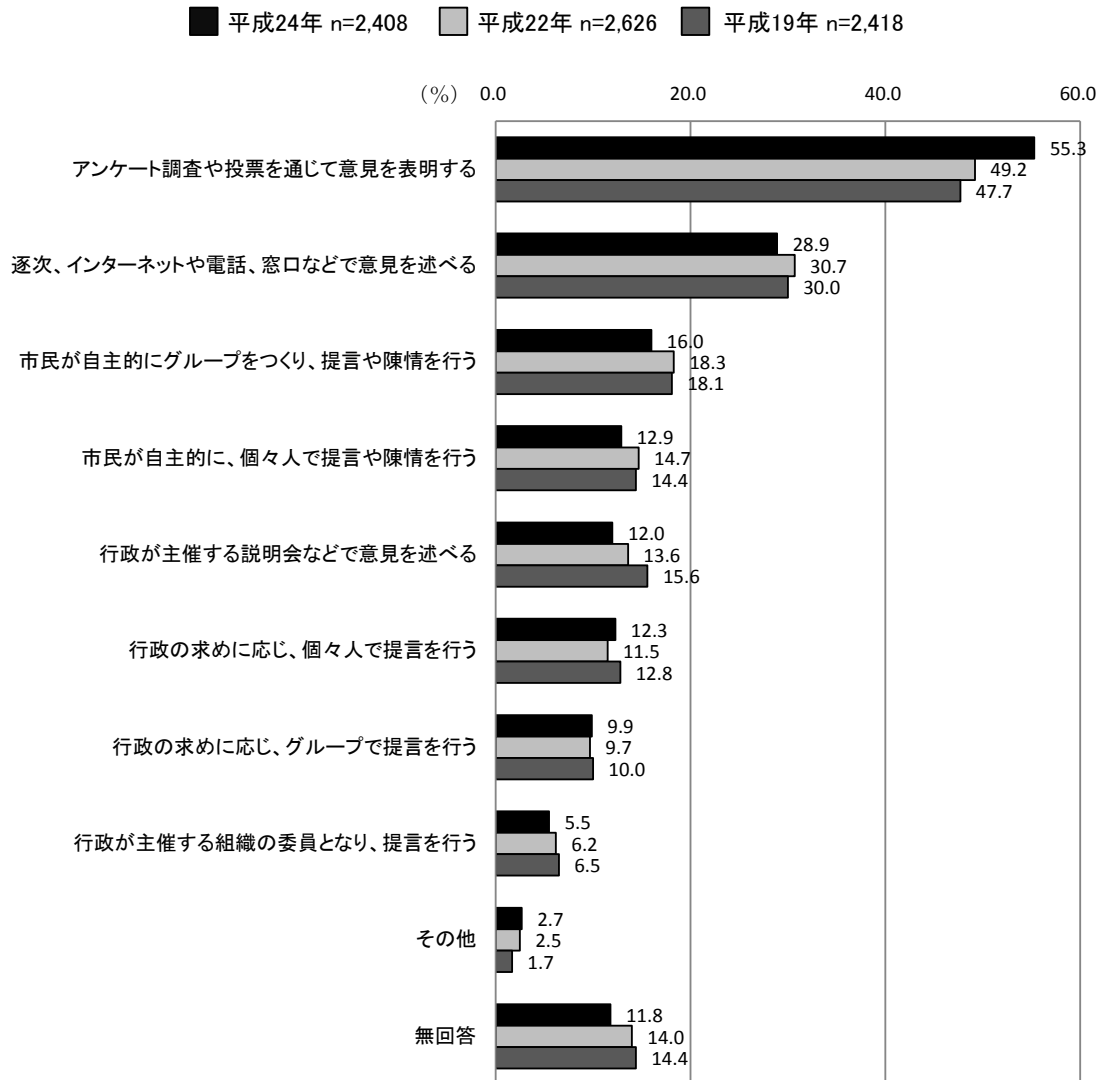


		8	7	1	2	4	6	3	5	9	10	
		アンケート調査や投票を通じて意見を表明する	逐次、窓口などでインターネットや電話	市民が自主的にグループをつく	市民が自主的に、個人で提	行政の求めに応じ、個人で提	行政が主催する説明会などで意見を述べる	行政の求めに応じ、グループ	行政が主催する組織の委員となり、提言を行う	その他	無回答	
*職業	n											
0	TOTAL	2,408	55.3	28.9	16.0	12.9	12.3	12.0	9.9	5.5	2.7	11.8
1	自営業・事業主・農業	221	△ 47.5	29.0	○ 24.0	○ 19.9	13.1	10.9	10.4	9.0	4.1	10.4
2	勤め人(会社や公的機関等)	770	56.6	○ 41.8	15.8	13.1	11.4	13.6	8.3	6.6	2.1	△ 5.6
3	パート・アルバイト等	284	○ 61.3	32.4	14.8	11.3	11.6	11.6	10.6	5.6	2.5	7.7
4	専業主婦・主夫	520	○ 61.9	△ 21.9	15.2	9.0	9.8	10.8	11.3	3.7	1.2	13.5
5	学生	58	○ 62.1	32.8	△ 10.3	17.2	10.3	10.3	8.6	5.2	3.4	6.9
6	無職	458	△ 50.0	△ 14.8	15.3	15.3	16.2	12.2	10.0	3.7	4.4	○ 18.8
7	その他	36	△ 38.9	△ 16.7	○ 22.2	○ 19.4	○ 25.0	13.9	13.9	5.6	5.6	16.7

<経年比較>

平成 24 年調査では、「アンケート調査や投票を通じて意見を表明する」が 55.3%となっており、平成 22 年調査と比べ、6.1 ポイント多くなっている。

また、平成 24 年調査では、「行政が主催する説明会などで意見を述べる」が 12.0%で、平成 22 年調査と比べ、1.6 ポイント少なくなっている。



4. 本庁舎の統合整備について

【問 20】あなたは、現在の2庁舎体制（田無庁舎、保谷庁舎）についてどのように感じていますか。（○は1つだけ）

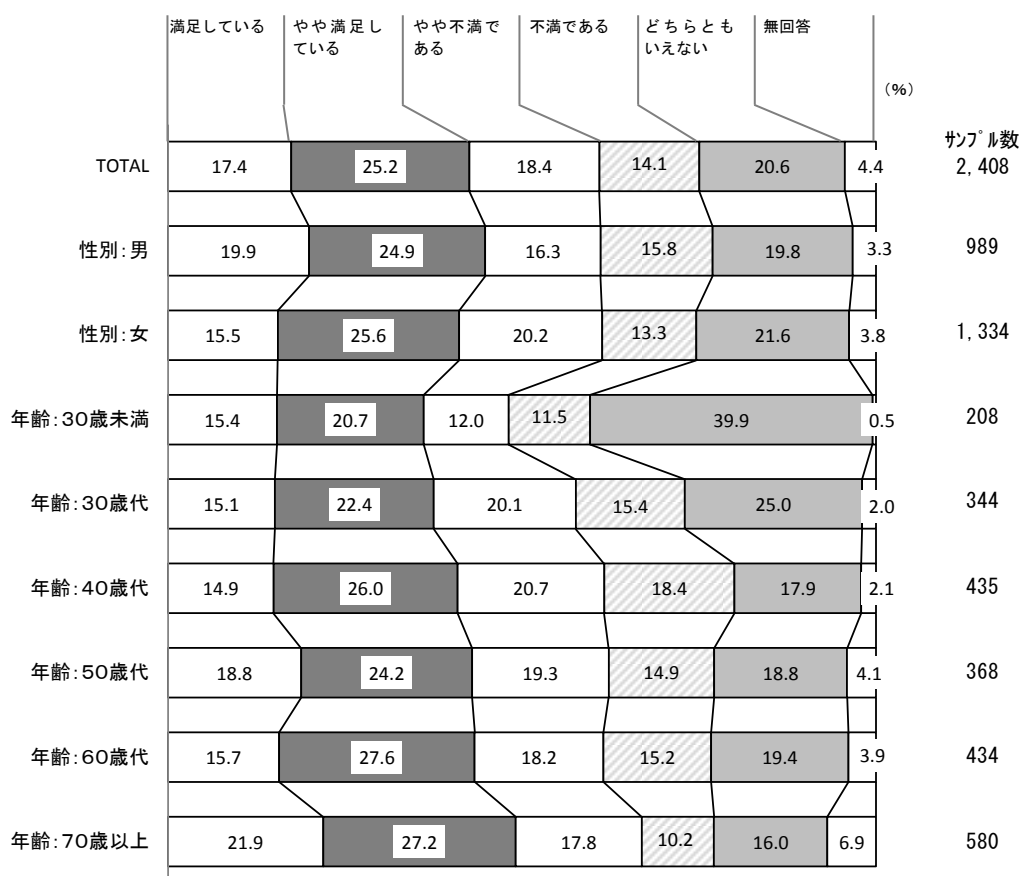
2庁舎体制の評価では、「やや満足している」が25.2%で、「満足している」(17.4%)と合わせると42.6%となっており、「やや不満である」(18.4%)、「不満である」(14.1%)を合わせた32.5%より10.1ポイント高くなっている。

性別で見ると、「男性」のほうが「女性」に比べ、満足している割合が多い（男性は「満足している」(19.9%)「やや満足している」(24.9%)を合わせて44.8%となる。女性は「満足している」(15.5%)、「やや満足している」(25.6%)を合わせて41.1%となっている）。

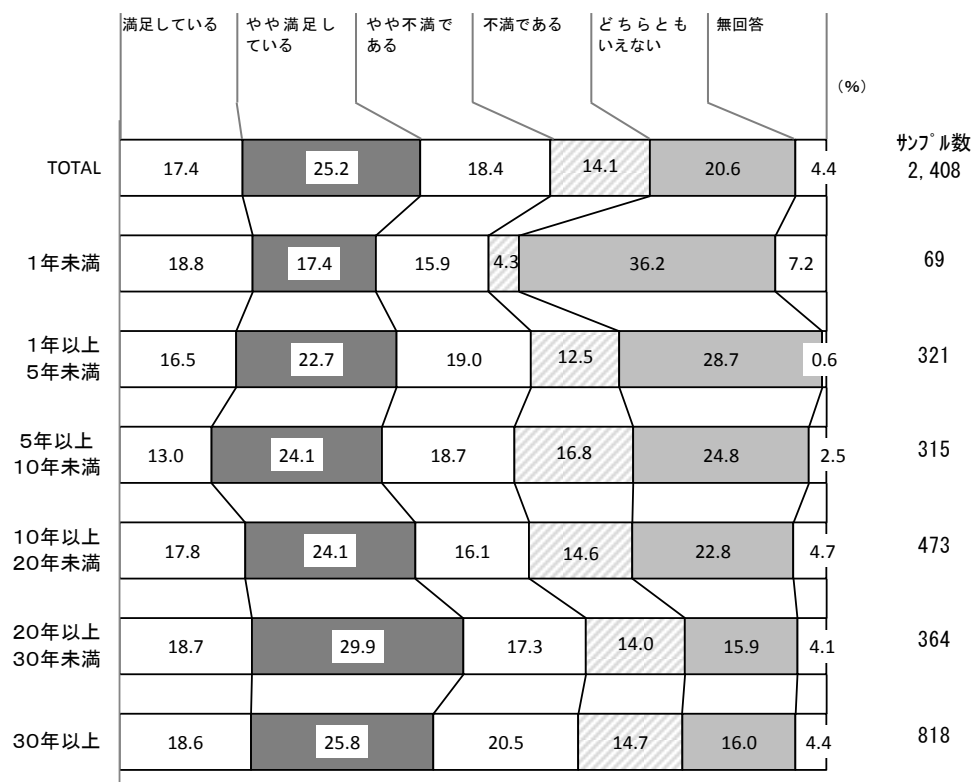
年代別に見ると、「70歳以上」では「満足している」(21.9%)「やや満足している」(27.2%)を合わせて49.1%となっており、最も多くなっている。

居住年数別で見ると、「20年以上30年未満」では、「満足している」(18.7%)、「やや満足している」(29.9%)の割合が最も多く、「1年未満」では「どちらともいえない」が36.2%となっており、他と比べてかなり多くなっている。

<性・年齢別>



<居住年数別>



【問 21】あなたが現在の2庁舎体制で満足していることや不満であることは何ですか。

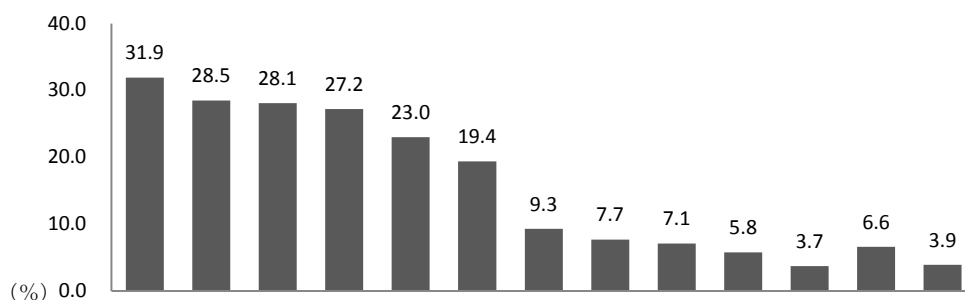
(〇は3つまで)

2庁舎体制で満足していることや不満であることに関しては、「庁舎にかかる維持管理経費や職員配置等のコストの増大」が31.9%で最も多く、続いて「どちらの庁舎に行ってもいいのかわかりにくい」が28.5%となっている。

性別で見ると、「男性」では「庁舎にかかる維持管理経費や職員配置等のコストの増大」が36.2%となっており、「女性」の28.9%に比べ、7.3ポイント多くなっている。また、「どちらの庁舎に行ってもいいのかわかりにくい」(男性26.8%、女性30.5%)は女性が3.7ポイント多くなっている。

居住年数別に見ると、「5年未満」では、「庁舎にかかる維持管理経費や職員配置等のコストの増大」の項目でTOTALに比べ5ポイント以上少なくなっている。一方、「5年以上10年未満」では、「どちらの庁舎に行ってもいいのかわかりにくい」の項目でTOTALに比べ5ポイント以上多くなっている。

<性・年代別>



*性別・年齢	n	8	5	2	3	4	10	9	6	7	1	11	12	13
		庁舎にかかる維持管理経費や職員配置等のコストの増大	どちらの庁舎に行ってもいいのかわかりにくい	2つの庁舎で基本的な市民サービスが受けられる	庁舎までの距離が近い	1つの庁舎で用件が終わらない	特に不便や不満はない	職員の庁舎間移動にともなう業務効率の低下	一方の庁舎にしかない窓口に対する苦情等	災害発生時などの迅速な対応ができない	地域における市民感情への配慮	その他	わからない	無回答
0 TOTAL	2,408	31.9	28.5	28.1	27.2	23.0	19.4	9.3	7.7	7.1	5.8	3.7	6.6	3.9
1 性別: 男	989	36.2	26.8	30.3	28.5	18.6	21.7	11.5	7.8	6.5	6.2	2.9	5.6	2.9
2 性別: 女	1,334	28.9	30.5	26.7	26.5	26.7	17.7	7.1	7.6	7.5	5.6	4.5	7.6	3.3
3 年齢: 30歳未満	208	18.3	24.0	△ 23.1	25.5	△ 13.0	18.8	4.3	4.3	6.3	8.2	3.8	○ 21.2	0.5
4 年齢: 30歳代	344	27.6	31.1	29.1	27.9	○ 31.1	15.4	5.5	10.2	4.7	4.1	6.1	6.1	0.9
5 年齢: 40歳代	435	34.7	○ 34.5	27.4	27.1	○ 30.8	15.6	8.7	7.6	4.1	3.7	2.8	4.6	2.1
6 年齢: 50歳代	368	○ 39.1	31.0	32.3	27.7	22.8	15.2	○ 14.4	8.7	7.1	3.8	4.6	4.9	1.6
7 年齢: 60歳代	434	○ 39.4	29.0	30.4	30.4	19.8	20.5	12.2	6.5	9.2	7.6	2.3	4.1	2.5
8 年齢: 70歳以上	580	△ 26.7	△ 23.1	25.9	24.8	19.1	26.9	7.8	7.8	9.7	7.6	3.6	6.6	8.4

<居住年数別>

1 5年未満	390	△ 23.3	27.2	27.2	26.4	25.6	19.2	5.4	5.4	4.4	2.6	4.9	○ 13.1	2.3
2 5年以上10年未満	315	34.6	○ 36.2	23.5	23.5	25.7	15.2	7.9	9.5	6.7	4.8	4.1	7.0	2.9
3 10年以上	1,655	33.4	27.9	29.4	28.1	22.1	20.4	10.2	7.9	7.8	6.8	3.4	5.2	3.6

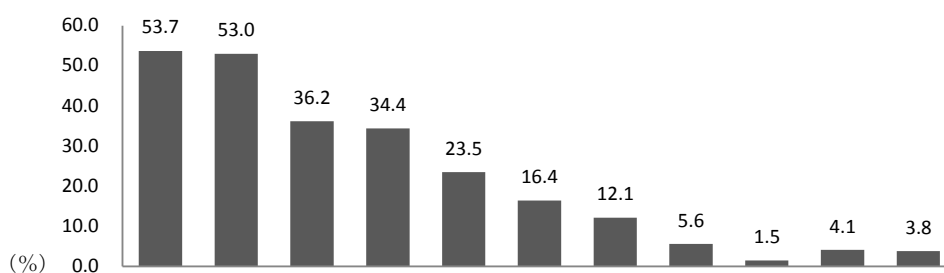
【問 22】 庁舎の統合整備を検討するにあたり、あなたが重視しなければならないと感じていることは何ですか。(〇は3つまで)

庁舎の統合整備を検討するにあたり重視すべき点に関しては、「市民サービスの向上（手続きや相談の一元化等）」が 53.7%で最も多く、続いて「行政コストの効率化（維持管理コスト、職員配置の効率化）」が 53.0%となっている。

性別で見ると、「男性」では「行政コストの効率化（維持管理コスト、職員配置の効率化）」が 59.6%となっており、「女性」の 49.0%に比べ、10.6ポイント多くなっている。また、「交通の利便性」（男性 31.4%、女性 40.2%）は女性が 8.8ポイント多くなっている。

居住年数別に見ると、「5年未満」では、「交通の利便性」の項目でTOTALに比べ5ポイント以上多くなっている。一方、「5年以上10年未満」では、「行政コストの効率化（維持管理コスト、職員配置の効率化）」の項目でTOTALに比べ5ポイント以上多くなっている。

＜性・年代別＞



*性別・年齢	n	2	1	7	5	8	6	4	3	9	10	11
		市民サービスの向上 (手続きや相談の一元化等)	行政コストの効率化 (維持管理コスト、職員配置)	交通の利便性	財政的な負担の軽減	庁舎の場所	既存庁舎の有効活用	市民意見の反映	庁舎建物の老朽化への対応	その他	わからない	無回答
0 TOTAL	2,408	53.7	53.0	36.2	34.4	23.5	16.4	12.1	5.6	1.5	4.1	3.8
1 性別:男	989	53.4	59.6	31.4	38.9	20.1	17.4	12.4	4.9	2.0	3.1	2.9
2 性別:女	1,334	55.2	49.0	40.2	32.0	26.0	15.8	12.2	5.9	1.1	4.9	2.8
3 年齢:30歳未満	208	49.5	48.1	39.9	26.0	21.2	13.0	16.3	7.7	1.9	11.1	0.0
4 年齢:30歳代	344	58.1	49.7	41.9	31.4	31.1	11.9	14.2	6.1	0.3	4.4	0.6
5 年齢:40歳代	435	57.0	57.9	34.0	36.1	24.4	17.2	12.0	5.7	2.8	1.8	1.8
6 年齢:50歳代	368	59.0	62.8	35.1	38.6	21.7	14.9	9.8	6.5	1.1	1.6	1.1
7 年齢:60歳代	434	53.0	55.5	34.8	41.5	21.9	20.5	12.7	3.5	1.4	2.5	2.5
8 年齢:70歳以上	580	49.5	46.6	35.7	31.2	21.0	17.9	11.0	5.2	1.4	5.9	8.4

＜居住年数別＞

1 5年未満	390	55.6	48.2	43.3	27.4	25.9	14.4	12.8	6.7	0.5	6.4	1.3
2 5年以上10年未満	315	55.9	60.3	36.5	39.7	22.2	13.3	11.4	4.4	0.6	3.8	1.9
3 10年以上	1,655	53.5	53.4	34.8	35.4	23.0	17.6	12.1	5.4	1.9	3.6	3.7

5. 防災対策について

【問 23】あなたは災害（震災）が発生した場合に、どのようなことが心配ですか？

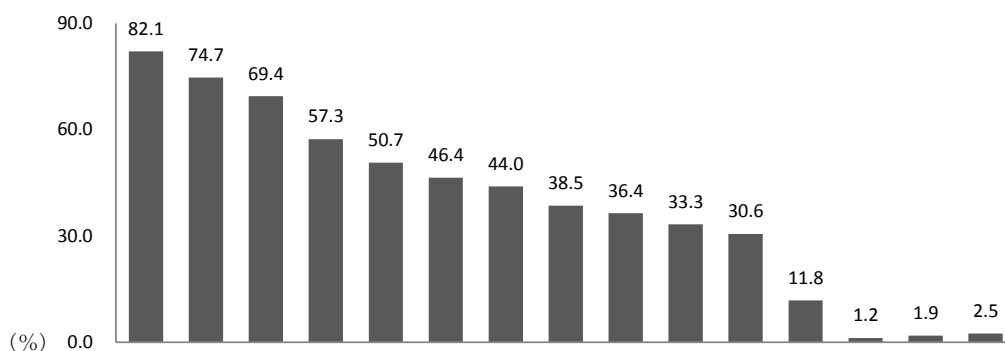
（〇はいくつでも）

震災発生時の心配に関しては、「水道や電気等のライフラインの確保」が 82.1%で最も多く、続いて「家族の安否の確認方法」が 74.7%となっている。

年代別で見ると、「70歳以上」では 15 項目中、7 項目で TOTAL に比べ 5 ポイント以上少なくなっているが、「介護や治療、応急手当てを受けられないこと」「避難の手助けをしている人が身近にいない」の項目では TOTAL に比べ 5 ポイント以上多くなっている。

居住年数別に見ると、「5年未満」では、「食料品等の確保」「通信手段の混乱・不通」「交通機関の麻痺」「帰宅困難時の対応策」の項目で TOTAL に比べ 5 ポイント以上多くなっている。一方、「5年以上10年未満」では、「家族の安否の確認方法」「食料品等の確保」「通信手段の混乱・不通」「交通機関の麻痺」「道路の渋滞や寸断、不通」の項目で TOTAL に比べ 5 ポイント以上多くなっている。

<性・年代別>



*性別・年齢	n	2	1	3	5	4	7	6	9	8	12	10	11	13	14	15
		水道や電気等のライフラインの確保	家族の安否の確認方法	食料品等の確保	家屋の倒壊・損傷	通信手段の混乱・不通	避難場所の確保	災害情報などに関する情報の入手	交通機関の麻痺	道路の渋滞や寸断、不通	帰宅困難時の対応策	介護や治療、応急手当てを受けられないこと	避難に手助けをしている人が身近にいない	特に心配なことはない	その他	無回答
0 TOTAL	2,408	82.1	74.7	69.4	57.3	50.7	46.4	44.0	38.5	36.4	33.3	30.6	11.8	1.2	1.9	2.5
1 性別:男	989	81.6	72.1	70.5	56.7	46.2	43.3	39.3	36.9	35.9	30.8	28.3	9.1	1.8	1.7	2.1
2 性別:女	1,334	83.7	77.4	69.9	58.8	54.7	49.7	48.7	40.1	37.5	35.5	32.5	13.6	0.7	2.0	1.6
3 年齢:30歳未満	208	81.3	76.4	78.4	55.3	65.4	48.6	44.7	53.4	40.9	46.2	34.6	13.0	1.4	4.3	0.0
4 年齢:30歳代	344	88.7	84.9	79.9	61.6	59.3	50.3	48.5	45.3	41.3	41.3	28.2	10.5	0.3	1.7	0.0
5 年齢:40歳代	435	87.1	80.0	75.2	55.2	52.0	43.4	45.5	43.7	41.4	39.1	25.5	7.8	0.2	2.5	1.6
6 年齢:50歳代	368	85.3	80.4	68.5	62.5	56.3	45.9	51.4	41.3	40.5	41.6	28.8	8.4	1.1	1.6	1.1
7 年齢:60歳代	434	81.3	70.0	61.8	58.5	47.7	48.2	44.0	35.3	34.6	28.8	27.9	9.7	1.4	0.9	2.3
8 年齢:70歳以上	580	75.3	65.5	63.4	54.7	39.3	46.0	36.9	26.0	27.4	17.9	38.4	18.4	2.4	1.4	4.1

<居住年数別>

1 5年未満	390	84.1	76.2	74.9	55.9	59.2	49.2	44.9	43.8	41.3	43.1	28.5	13.3	0.5	2.6	1.0
2 5年以上10年未満	315	86.7	80.3	75.6	53.0	55.9	48.3	46.3	48.9	42.9	37.5	26.3	10.2	1.3	0.6	1.3
3 10年以上	1,655	81.5	74.0	67.4	59.0	48.2	46.0	43.9	35.3	34.2	30.5	32.1	11.5	1.4	1.9	2.1

【問 24】あなたは災害発生時に備えてどのような準備をしておりますか？

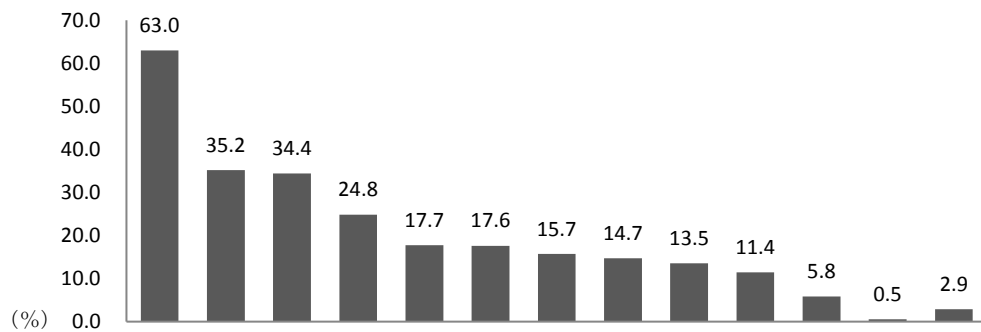
(〇はいくつでも)

災害発生時の備えに対する準備に関しては、「食料品・飲料水・防災グッズの準備」が63.0%で最も多く、続いて「避難場所ルートの確認」が35.2%となっている。

年代別で見ると、「30歳未満」「30歳代」「40歳代」で「会社や学校からの帰宅ルートの確認」の項目でTOTALに比べ5ポイント以上多くなっている。一方、「70歳以上」では「家具の固定・ガラスの拡散対策」「貴重品などを持ち出せるような準備」「普段からの近所づきあい」の項目でTOTALに比べ5ポイント以上多くなっている。

居住年数別に見ると、「5年未満」では、「避難場所ルートの確認」「普段からの近所づきあい」の項目でTOTALに比べ5ポイント以上少なくなっている。一方、「5年以上10年未満」では、「貴重品などを持ち出せるような準備」の項目でTOTALに比べ5ポイント以上少なくなっており、「会社や学校からの帰宅ルートの確認」の項目でTOTALに比べ5ポイント以上多くなっている。

<性・年代別>



*性別・年齢	n	2	1	4	5	9	8	6	11	3	7	10	12	13
		の食料品・飲料水・防災グッズ	避難場所ルートの確認	家具の固定・ガラスの拡散対策	貴重品などを持ち出せるような準備	普段からの近所づきあい	会社や学校からの帰宅ルートの確認	消火備品等の確保	特に何もしていない	災害時の情報収集の確認	建物の耐震対策	防災訓練等への積極的な参加	その他	無回答
0 TOTAL	2,408	63.0	35.2	34.4	24.8	17.7	17.6	15.7	14.7	13.5	11.4	5.8	0.5	2.9
1 性別:男	989	60.9	34.7	32.4	22.0	14.6	18.4	13.9	16.4	16.4	10.7	5.3	0.7	2.4
2 性別:女	1,334	66.1	36.3	36.5	26.5	20.0	17.4	17.0	13.4	11.4	12.2	6.2	0.4	1.7
3 年齢:30歳未満	208	△ 50.5	30.8	△ 24.5	22.6	△ 7.2	△ 27.4	△ 8.2	△ 20.2	14.9	10.6	3.4	0.0	0.0
4 年齢:30歳代	344	66.9	33.1	33.7	△ 18.0	15.4	△ 24.7	11.6	12.5	13.7	11.6	5.2	0.3	0.6
5 年齢:40歳代	435	67.8	33.1	33.8	△ 17.9	14.7	△ 29.2	14.3	13.1	12.4	13.6	6.2	0.9	1.1
6 年齢:50歳代	368	67.4	37.2	31.8	20.7	13.9	21.7	16.0	11.7	12.2	10.6	6.5	0.3	2.2
7 年齢:60歳代	434	63.6	38.9	35.7	26.3	21.4	△ 11.5	18.0	15.0	15.7	11.3	7.4	0.5	2.1
8 年齢:70歳以上	580	60.3	36.7	△ 40.0	△ 36.7	△ 25.3	△ 3.6	20.2	17.1	13.6	10.9	5.3	0.9	4.8

<居住年数別>

1 5年未満	390	65.4	△ 29.2	32.3	23.8	△ 9.7	20.8	12.6	15.9	13.8	9.0	4.9	0.5	1.3
2 5年以上10年未満	315	66.7	33.0	30.8	△ 19.4	15.2	△ 27.0	14.6	13.0	12.4	11.7	8.9	0.3	1.6
3 10年以上	1,655	62.5	37.5	35.8	26.2	20.2	15.3	16.7	14.8	13.8	12.0	5.6	0.6	2.4

【問 25】あなたは市からどのような防災情報を得たいですか？

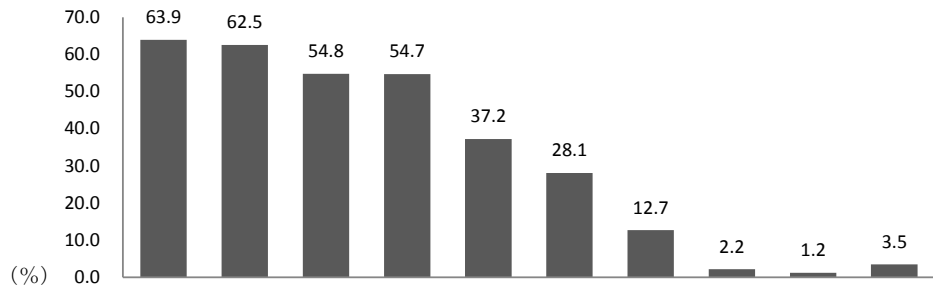
(〇はいくつでも)

市から得たい防災情報に関しては、「食料等の備蓄について」が63.9%で最も多く、続いて「災害時に関する情報提供や広報について」が62.5%となっている。

性別で見ると、「女性」では「災害時の医療救護体制について」が60.3%となっており、「男性」の48.9%に比べ、11.4ポイント多くなっている。

年代別で見ると、「30歳未満」「30歳代」「40歳代」「50歳代」では「災害時要援護者（高齢者等）の支援対策について」の項目でTOTALに比べ5ポイント以上少なくなっている一方で、「70歳以上」では20ポイント以上多くなっている。

<性・年代別>



	*性別・年齢	n	3	1	6	2	7	5	4	8	9	10
			食料等の備蓄について	災害時に関する情報提供や	災害時の医療救護体制につ	避難場所や避難ルート	市内の被災想定（家屋倒壊や火災発生等）について	災害時要援護者（高齢者等）の支援対策について	防災訓練などの意識啓発に	特に何も無い	その他	無回答
0	TOTAL	2,408	63.9	62.5	54.8	54.7	37.2	28.1	12.7	2.2	1.2	3.5
1	性別:男	989	65.1	61.0	△ 48.9	51.4	33.2	26.1	11.7	3.3	1.4	3.1
2	性別:女	1,334	64.0	65.4	○ 60.3	58.2	41.2	30.1	14.0	1.3	1.1	2.2
3	年齢:30歳未満	208	○ 71.6	△ 57.2	△ 45.7	57.7	○ 44.7	△ 17.3	13.9	3.8	1.0	0.5
4	年齢:30歳代	344	○ 69.8	65.1	60.8	○ 42.4	△ 16.9	13.7	1.7	1.2	0.3	
5	年齢:40歳代	435	68.0	66.0	54.0	51.3	42.1	△ 18.9	12.2	1.4	1.1	1.4
6	年齢:50歳代	368	63.9	66.6	57.6	56.3	37.2	△ 22.6	11.7	1.9	1.4	1.9
7	年齢:60歳代	434	△ 57.4	64.3	57.1	54.8	38.5	26.5	14.1	2.3	0.9	3.0
8	年齢:70歳以上	580	60.5	59.0	56.0	53.3	△ 27.8	○ 51.2	12.6	2.6	1.6	6.9

<居住年数別>

1	5年未満	390	67.9	62.3	54.1	○ 62.1	○ 42.6	△ 17.7	14.6	0.8	0.8	0.8
2	5年以上10年未満	315	66.3	66.3	55.2	56.2	39.0	△ 18.7	13.7	2.9	1.3	1.9
3	10年以上	1,655	62.9	62.7	55.7	53.3	36.0	32.6	12.4	2.4	1.3	3.4

【自由記述】 これまでお聞きしたこと以外に、ご意見がございましたらご自由にお書きください。

自由記述欄に記入した人は519人、記入率は21.6%となっている。

記述内容について9つの分野に分類（複数分類）したところ、「まちづくり」が148件で最も多く、続いて「行政運営」が134件、「環境」が36件となっている。

「まちづくり」については、駅前や道路の整備、跡地等の開発行為についての意見、暮らしの安全を確保する防災・防犯体制への意見などがあげられている。

「行政運営」については、税金の使い方や効率化、職員の量と質についての意見、合併や庁舎統合についての意見などがあげられている。

「環境」については、ごみの分別や戸別収集、有料化についての意見、公園の管理についての意見、緑化に対する意見などがあげられている。

「子ども」については、子どもに対する学校教育やしつけのあり方、子育て支援についての意見、保育園の待機児童の問題に対する意見などがあげられている。

「保健福祉」については、高齢者福祉のあり方や医療費についての意見、生活保護についての意見などがあげられている。

「芸術文化」については、図書館やスポーツ施設の利用時間、内容の拡充、新たな施設整備についての意見などがあげられている。

「市民参加」については、市民力の活用や市民協働の必要性についての意見、町内会等のコミュニティについての意見などがあげられている。

「産業」については、大規模小売店の整備や商店街の活性化についての意見、市としての魅力の向上についての意見などがあげられている。

「社会・平等」については、国際交流についての意見などがあげられている。

「その他」については、アンケート調査票やアンケートをすることそのものについての意見などがあげられている。

<分野別記述件数>

順位	分野	件数
1	まちづくり	148
2	行政運営	134
3	環境	36
4	子ども	33
5	保健福祉	27
6	芸術文化	18
7	市民参加	14
8	産業	9
9	社会・平等	1
	その他	99